

東京地方裁判所檢事  
法學士

乙骨半二君講述

# 犯罪檢察學

完

大正  
2. 4. 9  
製本

明治大學出版部發行

寄贈本



# 犯罪檢察學目次

## 緒言

丁  
一

## 第一章 檢察機關

二

## 第二章 犯罪檢舉ノ方法

一五

### 第一節 個人識別法

一六

第一款 戶籍

一八

第二款 前科者名簿

二四

第三款 寫真

二八

第四款 幾何學的個人識別法

三七

第五款 人身測定法

三八

第六款 指紋法

四四

### 第二節 犯罪事實證明法

六二

第一款 總論

六二

目次

一



# 犯罪檢察學目次

緒言	一
第一章 檢察機關	二
第二章 犯罪檢舉ノ方法	一五
第一節 個人識別法	一六
第一款 戶籍	一八
第二款 前科者名簿	二四
第三款 寫真	二八
第四款 幾何學的個人識別法	三七
第五款 人身測定法	三八
第六款 指紋法	四四
第二節 犯罪事實證明法	六二
第一款 總論	六二



第一項	日時	六三
第二項	場所	七〇
第三項	手段	七四
第二款	各論	八〇
第一項	殺人犯	八四
第二項	強盜犯	八七
第三項	竊盜犯但忍明巢土藏破邯鄲置引搔拂萬引掏摸	九〇
第四項	贓物犯	九七
第五項	詐欺恐喝橫領	一〇〇
第六項	貨幣偽造其ノ他ノ諸偽造犯	一一一
第七項	猥褻罪並ニ少年犯罪	一一六
第八項	雜犯	一二八
<b>第三節 採證上ノ注意</b>		
第一款	被告人ノ供述	一二四
第二款	證言	一三三

第三款	鑑定	一四二
第四款	檢證	一四八
第五款	物證	一五四

# 犯罪檢察學目次

目次



# 犯罪檢察學

東京地方裁判所檢察士

乙骨半二君講述

## 緒言

吾輩ハ本論ニ入ルニ先チ少シク犯罪檢察學ナルモノ、研究目的ヲ述ヘヤウト思フ抑モ犯罪ニ關シテハ如何ナル行爲ヲ捕ヘテ犯罪ト爲スカ又一一定ノ犯罪ニ對シテ如何ナル制裁ヲ科スベキカヲ研究スル必要ガアル而シテ之レヲ研究スル所ノ學問ヲ刑法學ト云フノデアアル倍テ又刑法學ニ於テ犯罪ノ種類ト之レニ科スベキ制裁即チ刑罰ヲ定メテモ愈ヨ或ル罪ヲ犯シタ者ノアル時分ニ其ノ犯罪人ニ對シテ刑ヲ適用スルニハ如何ナル手續ニ依リ如何ナル機關ガ之レヲ取扱フベキカヲ研究シナケレハナラヌ而シテ之レガ研究ヲ爲ス所ノ學問ヲ刑事訴訟法學ト云フテ居ル併シ此ノ刑法學ト刑事訴訟法學トハ如何程細密ニ犯罪處罰ノ方法ヲ研究シタカラト言ウテモ或ル人が如何ナル犯罪ヲ犯シタルカ又或ル犯罪ガ何人ニ依



リテ犯サレタカト云フコトガ分ラネバ何ニモナラナイト思フ此ノ犯罪ヲ査察シ  
犯人ヲ檢舉スル國家ノ活働ヲ檢察事務ト名附クルノデアル吾人ハ此ノ犯罪ヲ査  
察シ犯人ヲ檢舉スルニハ如何ナル機關ヲ要シ其ノ機關ノ組織ハ如何ナルモノデ  
アルカ又檢察事務ヲ實行スルニハ如何ナル設備ヲ爲シ又如何ナル方法ヲ採ルベ  
カキカヲ研究シナケレバナラヌ犯罪檢察學ノ目的ハ即チ是ニ在ルノデアアル

## 第一章 察機關

檢察事務ノ最高機關ハ司法大臣デアアル而シテ其ノ監督系統ヲ逐ウテ列舉スレバ  
其ノ次ハ檢察總長、檢察正、檢察、司法警察官ト云フ順序ニナル巡查憲兵卒ハ  
檢察機關其ノモノデハナイガ其ノ補助機關デアアル

檢察總長ハ大審院、檢察局ノ長官、檢察長ハ各控訴院、檢察局ノ長官、檢察正ハ各地方  
裁判所、檢察局ノ長官デアアルコトハ各人ノ知ル所デアアルガ司法警察官トハ如何ナ  
ルモノヲ云フカト云フコトハ間々知ラナイ人ガアルヤウデアアル司法警察官トハ  
何ヲ指スカト云フコトハ刑事訴訟法第四十七條ニ明定シテアル其ノ規定ニ依ル

### 一 警視總監

二 各地方長官(東京府知事ヲ除ク)

三 警視、警部長、警部、警部補

四 憲兵將校、下士

五 島司

六 郡長

七 林務官

八 市町村長

九 船舶内ノ犯罪ニ付テハ船長

等ニナツテ居ル其ノ中デ警視總監及各地方長官(東京府知事ヲ除ク)ハ犯罪ノ搜查  
ニ付テハ地方裁判所、檢察ト同一ノ權ヲ有スルモノトシテアル同一ト云フノデア  
ルカラ之レ等ノ司法警察官丈ハ他ノ司法警察官ト違ツテ搜查上ノ事ニ付テ檢察  
ノ指揮監督ノ下ニ立タナイト云フコトニナル併シ檢察正以上ノ檢察事務ノ長官  
ノ指揮監督ノ下ニ立ツコトハ勿論デアアル又地方裁判所、檢察ト同一ノ權ヲ有スト  
アツテモ夫レハ搜查ニ付テハアツテ公訴ヲ提起シタリ公判ニ立會ツタリスルコ



トハ警視總監等ニハ出来ナイノデアル  
 右ニ述ブル所ハ原則デアル。巡查部長ハ警部代理トシテ司法警察官ノ職權ヲ行フ  
 コトガ出来又検事ノ配置シアラサル區裁判所ニ於テハ司法警察官ガ區裁判所檢  
 事ノ事務ヲ扱フ場合カアル。此カル場合ニハ警部ガ公訴ヲ提起シ公判ニ立會フノ  
 デアル。

明治三十年七月内務省訓令第十六號巡查配置及勤務概則ニ依レバ巡查ヲ分チテ  
 巡查部長、内勤巡查、外勤巡查、特務巡查、刑事巡查、教習中ノ巡查ノ六種ニシテアル。何  
 レノ巡查モ司法警察官ノ命ヲ受ケレバ檢察事務ノ補助機關トシテ活働シナケレ  
 バナラナイ。就中刑事巡查ハ専ラ司法警察官ノ補助ヲ爲スコトヲ任務トスル丈ノ  
 コトデアル。

司法警察官ハ概ネ一面ニ於テ行政執行官デアツテ一定ノ行政區劃内ニ於テ職權  
 ヲ行フモノデアル。而シテ司法警察官ガ其ノ職權ヲ行ヒ得ル管轄區域ハ其ノ行政  
 區劃ト一致シテ居ル。

現在東京府下ニ在ル行政警察官署ノ數ハ市内ニ於テ水上トモ入レテ七十五個所  
 郡部ニ於テ八個所合計八十三個所アル。今其ノ名稱ヲ掲ゲルト市内ニハ麴町(舊麴

町)紀尾井、九段坂、日比谷、錦町(舊神田)、小川、萬世橋、西神田、外神田、東神田、久松(舊日本橋)  
 箱崎、横山、堀留、新場橋、築地、舊京橋、明石、靈巖島、京橋、舊京橋分署、三十間堀、月島、愛宕、舊  
 芝、芝口、西久保、新堀、三田、高輪、白金、鳥居坂(舊麻布)、本村、霞町、赤坂、舊赤坂、青山、四谷、舊四  
 谷、四谷見附、神樂坂、舊牛込、築土、早稻田、市ヶ谷、宮坂、舊小石川、小日向、大塚、白山、林町、本  
 富士、舊本郷、眞砂、追分、千駄木、駒込、上野、舊下谷、入谷、坂本、竹町、金杉、谷中、象潟(舊淺草)、馬  
 道、日本堤、向柳原、合羽橋、南元町、七軒町、今戶、相生、舊本所、三ノ橋、吉岡、太平、原庭、向島、西  
 平野、舊深川、高橋、永代橋、扇橋、洲崎、東京水上ノ各警察署アリ。郡部ニハ品川、新宿、板橋、  
 千住、小松川、八王子、府中、青梅ノ各警察署ガアル。而シテ之レ等ノ各警察署ハ夫レ々  
 々各自ノ管轄區域ヲ有シテ居ル。之レニ就テハ明治四十三年十二月十七日(土曜日)  
 官報第八二四八號所載ノ同日附内務省告示第四百一十一號ヲ參照スルコトニシテ  
 貫ハウ例ヘハ何町ト云フ中ニモ何番地マテハ甲ノ警察署何番地迄ハ乙ノ警察署  
 ノ管轄ニ屬スルト云フヤウニ随分細密ナル管轄區域ノ定メニナツテ居ル。而シテ  
 前陳各警察署長ハ其ノ管内ニ於テ司法警察權ヲ有シテ居ルノデアル。  
 司法警察官ノ管轄區域ハ行政上ノ管轄區域ト一致スヘキモノナルコト並ニ司法  
 警察官ハ其ノ管轄區域内ニ於テノ職權ヲ行フヘキモノナルコトハ司法警察官



執務心得(明治二十六年九月司法省民刑局甲第七十四號)ノ規定スル所ニ依ツテ明カデアアル即チ心得ノ第十條ニハ

司法警察官ハ其ノ行政上ノ管轄區域内ニ於テ職務ヲ行フヲ例トス  
ト謂ウテアル之レ即チ司法警察官ノ土地ニ對スル權限ノ原則ヲ示シタモノデア  
ル併シ若シ此ノ原則ヲ嚴格ニ守ルトキハ犯罪ノ搜查檢舉ノ上ニ於テ機宜ヲ失ス  
ルノ虞ガアル故ニ同條ニハ其ノ規定ニ續イテ但シ書ヲ以テ例外規定ヲ設ケテ居  
ル即チ

但シ假豫審處分ヲ除ク外時宜ニ依リ他ノ管轄區域内ニ於テモ之レヲ行フコ  
トヲ得

ト規定シテアル之レニ依テ見ルト假豫審處分ヲ爲スコト丈ハ決シテ他管内ニ於  
テスルヲ許サナイノデアアル之レハ何故カト云ヘバ假豫審處分ヲ爲スニ當リテハ  
刑事訴訟法ニ從ヒ一定ノ形式ヲ備ヘタル書類ヲ作成スル必要ガアツテ若シ作成  
者ガ管轄權ヲ有スル地域外ニ於テ之等ノ書類ヲ作成スルトキハ其レ等ノ書類(例  
ヘバ檢證調書訊問調書ノ如シ)ハ無効ノ書類トシテ證據力ヲ失フ場合ガアルカラ  
デアアル

凡ソ管轄ナルモノハ官署ガ權力ヲ行ヒ得ヘキ畛域デアアルカラ苟モ之レガ定メア  
ル以上ハ可成之レヲ遵奉シナケレバナラナイ假令時宜ニ依リ管外ニ於テ職務ヲ  
行ヒ得ベキ旨ノ規定ガアレバトテ濫リニ他ノ管轄内ニ立入ツテ職務ヲ行フベキ  
モノデハナイ他管ニ於テ職務ヲ行フコトハ例外デアアルト云フコトヲ忘レテハナ  
ラナイ既ニ例外デアアル以上ハ避ケ得可キ限リハ之レガ適用ヲ避ケナケレバナラ  
ナイ言ヒ換ヘレハ時宜ニ依リト云フ言葉ノ解釋ヲ謹マナケレバナラナイ時宜ト  
云フノハ隨意ト云フコトデハナイ機宜ヲ失セザル必要上ト云ウ意義ニ解セネバ  
ナラナイ左マデ急迫ナル事情ガナイ場合ニハ必ス他管ノ司法警察官ニ向ツテ共  
助ヲ求ムベキモノデアアル唯共助即チ囑託等ノ手續ヲ採ルトキハ時機ヲ失スルノ  
虞アルガ如キ場合ニハ已ムヲ得ス他管ニ立入りテモ職務ヲ行フコトヲ許スマデ  
ハアル  
併シ茲ニ注意スベキハ他管ニ於テ犯サレタル犯罪ニ付テ告訴告發ヲ受ケタルガ  
如キ場合ニ管轄カ異ナルノ故ヲ以テ受理ヲ拒ンデハナラナイ此カル場合ニハ直  
チニ之レヲ受理シ之レヲ遲滞ナク管轄司法警察官ニ移牒スベキモノデアアル吾人  
ガ往々耳ニスル所ニ依ルト此カル場合ニ警察官ノ處スル方法ガ妥當ヲ缺ク場合



執務心得(明治二十六年九月司法省民刑局甲第七十四號)ノ規定スル所ニ依ツテ明カデアアル即チ心得ノ第十條ニハ

司法警察官ハ其ノ行政上ノ管轄區域内ニ於テ職務ヲ行フヲ例トス  
ト謂ウテアル之レ即チ司法警察官ノ土地ニ對スル權限ノ原則ヲ示シタモノデア  
ル併シ若シ此ノ原則ヲ嚴格ニ守ルトキハ犯罪ノ搜查檢舉ノ上ニ於テ機宜ヲ失ス  
ルノ虞ガアル故ニ同條ニハ其ノ規定ニ續イテ但シ書ヲ以テ例外規定ヲ設ケテ居  
ル即チ

但シ假豫審處分ヲ除ク外時宜ニ依リ他ノ管轄區域内ニ於テモ之レヲ行フコ  
トヲ得

ト規定シテアル之レニ依テ見ルト假豫審處分ヲ爲スコト丈ハ決シテ他管内ニ於  
テスルヲ許サナイノデアアル之レハ何故カト云ヘバ假豫審處分ヲ爲スニ當リテハ  
刑事訴訟法ニ從ヒ一定ノ形式ヲ備ヘタル書類ヲ作成スル必要ガアツテ若シ作成  
者ガ管轄權ヲ有スル地域外ニ於テ之等ノ書類ヲ作成スルトキハ其レ等ノ書類例  
ヘバ檢證調書訊問調書ノ如シハ無効ノ書類トシテ證據力ヲ失フ場合ガアルカラ  
デアアル

凡ソ管轄ナルモノハ官署ガ權力ヲ行ヒ得ヘキ畛域デアアルカラ苟モ之レガ定メア  
ル以上ハ可成之レヲ遵奉シナケレバナラナイ假令時宜ニ依リ管外ニ於テ職務ヲ  
行ヒ得ベキ旨ノ規定ガアレバトテ濫リニ他ノ管轄内ニ立入ツテ職務ヲ行フベキ  
モノデハナイ他管ニ於テ職務ヲ行フコトハ例外デアアルト云フコトヲ忘レテハナ  
ラナイ既ニ例外デアアル以上ハ避ケ得可キ限リハ之レガ適用ヲ避ケナケレバナラ  
ナイ言ヒ換ヘレハ時宜ニ依リト云フ言葉ノ解釋ヲ謹マナケレバナラナイ時宜ト  
云フノハ隨意ト云フコトデハナイ機宜ヲ失セザル必要上ト云ウ意義ニ解セネバ  
ナラナイ左マデ急迫ナル事情ガナイ場合ニハ必ス他管ノ司法警察官ニ向ツテ共  
助ヲ求ムベキモノデアアル唯共助即チ囑託等ノ手續ヲ採ルトキハ時機ヲ失スルノ  
虞アルガ如キ場合ニハ已ムヲ得ス他管ニ立入りテモ職務ヲ行フコトヲ許スマデ  
ハアル  
併シ茲ニ注意スベキハ他管ニ於テ犯サレタル犯罪ニ付テ告訴告發ヲ受ケタルガ  
如キ場合ニ管轄カ異ナルノ故ヲ以テ受理ヲ拒ンデハナラナイ此カル場合ニハ直  
チニ之レヲ受理シ之レヲ遲滯ナク管轄司法警察官ニ移牒スベキモノデアアル吾人  
ガ往々耳ニスル所ニ依ルト此カル場合ニ警察官ノ處スル方法ガ妥當ヲ缺ク場合



ガアルヤウデアル例へバ某區某町某番地ノ某家ニ於テ暴行ヲ逞ウスル者ガアル  
ノデ其ノ家人ハ取敢ヘス最寄ノ交番所ニ急訴ニ及ンデモ立番勤務ノ巡查ハ往々  
同家所在地ハ他ノ司法警察官署ノ管轄ニ屬スルヲ故ヲ以テ出張ヲ拒ミ管轄警察  
官署ニ訴ヘ出ツベシト命ズルコトガアル此ノ如キ扱ヒ振リハ管轄ヲ墨守スルノ  
弊害ト云ハナケレバナラナイ併シ訴ヲ爲シタル者ハ保護ヲ受ケズニ止ムベキデ  
ナイカラ再ヒ比較的遠隔セル管轄警察官署ノ交番所ナリ本署ナリニ訴ヘ出ヅル  
ノデアル而シテ漸ク管轄警察署ノ警官ガ現場ニ出張シタ時分ニハ加害者ハ暴行  
ヲ遂ゲテ既ニ現場ヨリ逃ゲ去ツテ居ツタト云フコトニナル此ノ如キ場合コソ急  
訴ヲ受ケタル警官ハ即時現場ニ出張シテ時宜ニ依ル職務執行トシテ應急ノ處分  
ヲ爲シ一面自己ノ所屬警察官署ニ報告シテ管轄警察官署ニ移牒スルノ手續ニ出  
ツベキモノデアル單ニ管轄ガ異ナルノ故ヲ以テ事件ノ受理ヲ拒ムノハ不當ノ甚  
シキモノテアル受理ト管轄トハ別個ノ問題ト見ナケレバナラナイ  
右ハ不當ニ受理ヲ拒ム場合ノ一例デアアルガ之レト正反對ニ不當ニ犯罪事件ノ管  
轄ヲ奪ハントシテ爭フ場合ガアル例へバ某管内ニ強盜事件ガアツテ其ノ當時管  
轄司法警察官ハ被害現場ノ檢證手續等ヲ爲シ爾來犯人ノ檢舉ニ着手シテ居タノ

八

デアアル然ルニ犯人ハ偶々他管ニ於テ捕ヘラレ逐一罪狀ヲ自白シタトセヨ此カル  
場合ニハ其ノ自白ガ事實ト符合スルヤ否ヤヲ取調ブルニハ犯罪ノアツタ土地ノ  
警察官署ノ方ガ便宜ガ多イコトハ明カデアアル從テ同署ニ逮捕竝ニ自白ノ事實ヲ  
照會シテ書類ノ送致ヲ受クルカ又ハ犯人ヲ同署ニ引渡スカ二途ノ中最モ便宜ニ  
適ヒタル方法ヲ擇ムベキデアアル然ルニ吾人ノ往々耳ニスル所ニ依レバ犯人ヲ逮  
捕シタル官署ニ於テハ秘密ノ裏ニ自己ノ手ヲ以テ被害者ノ取調ヲ爲シ以テ犯人  
檢舉ノ功ヲ己レニ收メントスルガ如キ弊アリト云ウニ至リテハ實ニ遺憾千萬ノ  
事デハナイカ被害當時周密ナル調査ヲ爲シタルコトモ此カル危險ナル犯人ヲ逮  
捕シタルコトモ共ニ社會ニ對スル功勞トシテ軒輊ハナイノデアアル功勞ト云フモ  
ノハ各自ノ働ノ程度ニ正比例スベキモノデアアル然ルニ此ノ自然ノ理ニ叛イテ自  
己ノ働ニ過ギタル功ヲ街ハントシ他人ノ功ヲ奪ハントスルカ如キハ實ニ陋劣ナ  
ル心事ト云ハナケレバナラナイ檢察事務ニ從事スル者ハ何卒此ノ如キ卑劣ナル  
根性ヲ去リタイモノデアアル各自ノ職務ハ公務デアアル公務ヲ行フニ當リテハ法規  
ノ範圍内ニ於テ最モ公益ニ適ヒ最モ便利ト認メラレタル方法ニ從フベキモノデ  
アル公務ヲ帶ブル者ノ功勞ハ不可分ノモノデアアル連帶的ノモノデアアル否功勞名



利ナル觀念ガアル爲メニ私心ガ起ルノデアアル此カル觀念ヲ去ツテ献身的ニ職務ニ從ヘバ事務ノ效果ハ著シク顯ハレルデアラウ茲ニ至ルト公務ニ從フモノニ對シテ賞與規程ヲ設クルコトハ甚ダ考ヘモノデアラウト思フ假リニ之レヲ存スルヲ相當トシテモ賞與ニ値スル功勞ノ認定標準ヲ設クルニハ十分ニ考量ヲ要スルコト、思フ例ヘバ巡查ニ對スル賞與ノ標準トシテ輕罪犯人ノ令狀ヲ執行シタルモノハ幾何ノ賞ヲ與ヘ重罪犯人ノ令狀ヲ執行シタルモノハ若干ノ賞ヲ給スト云フガ如キ定メヲ爲ストキハ或ハ捕ヘタル犯人ヲ他管ニ引渡スコト相當ナル場合ニ之レカ引渡ヲ拒ムカ如キ弊ヲ生スルノデアアル之レ等ハ些細ノ事ニ似テ識者ノ最モ留意スベキ點デアアル

以上述べアル所ハ土地ニ對スル管轄權デアアルガ事物ニ對スル管轄ニ付テハ捜査官ニハ別ニ何等ノ吟域ハナイ要スルニ總テノ犯罪ニ就テ捜査檢舉ノ權能ヲ持ツテ居ル唯ダ近來警視廳ニ於テハ執務ノ便宜上犯罪ノ種類ニ依リ部署ヲ定メテ居ル澳地利維納府ノ警視廳ニ於テモ夙ニ此ノ如キ方法ヲ採ツテ居ル我警視廳ニ於テハ明治四十四年四月一日以來司法警察事務ヲ行フ所ノ第一部刑事課ヲ左ノ三係ニ分チ課長ニハ警視係長ニハ警部ヲ以テ之レニ充テ、居ル

第一 庶務係

第二 鑑識係

第三 捜査係

庶務係ハ讀ンテ字ノ如ク刑事課限リノ庶務ヲ扱ツテ課務ヲ整理シテ居ル鑑識係トハ諸般ノ鑑定個人ノ識別ヲ主タル目的トシテ居ル而シテ同係ニハ寫眞隊ノ設備ガアリ不完全ナガラモ必要ニ隨ツテ現場其ノ他ノ撮影ニ從事スルコトガ出來ル個人識別ノ爲メニハ指紋原票犯罪者名籍索引票ノ設備ガアル捜査係ノ事務ハ犯罪ノ捜査犯人ノ檢舉ヲ專一トシテ居ル而シテ此ノ捜査係ノ内ニ左ノ如キ主任ヲ設ケ警部ヲ以テ之レニ充テ其ノ部下ニ一定ノ員數ノ刑事巡查ヲ配付シテアル即チ

- 一 殺人犯捜査主任(定員警部一名刑事巡查六名)
- 二 強盜犯捜査主任(定員警部一名刑事巡查六名)
- 三 竊盜犯(但忍明巢土藏破)捜査主任(定員警部一名刑事巡查八名)
- 四 竊盜犯(但邯鄲)置引搔拂萬引捜査主任(定員三ニ同シ)
- 五 贓物ニ關スル犯罪捜査主任(定員三ニ同シ)



- 六 詐欺、恐喝、横領告訴發事件捜査主任(定員警部二名刑事巡查十名)
  - 七 贋造貨幣其ノ他諸偽造犯捜査主任(定員警部一名刑事巡查六名)
  - 八 竊盜(拘摸)犯捜査主任(定員警部一名刑事巡查六名)
  - 九 猥褻行爲、不良少年犯罪捜査主任(定員警部一名刑事巡查六名)
  - 十 他府縣囑託其ノ他ノ犯罪捜査主任(定員警部一名刑事巡查四名)
  - 十一 令狀執行及所在不明者捜査主任(十同シ)
- 等ノ分擔ガアルノデアル而シテ右ノ外ニモ捜査係長直屬ノ刑事巡查ノ定員五名丈アル此ノ分擔法ハ永ク續クル間ニハ必ズ顯著ナル效果ヲ顯ハスコトデアラウ何トナレバ人ニハ夫レ々々長所ト短所ガアツテ文書偽造行使詐欺ト云フヤウナ智能的犯罪ノ檢舉ニ不得意ナル者モ拘摸犯ノ捜査ニハ適任ナル者ガアリ從ツテ適材ヲ適處ニ置イテ愈其ノ獨特ノ長處ヲ發揮シ之レヲ練磨セシムルノ利益ガアルカラデアアル

刑事課ノ右事務分配法ハ誠ニ混沌タルモノデ追々改良ヲ加ヘラルベキモノデアラウガ兎ニ角現ニ行ハレツ、アル分配法デアルカラ吾輩ハ大體ニ於テ此ノ現實ノ施設ニ因ミテ此ノ講義ノ順序ヲ立テ、見ル考デアアル故ニ右主任分擔種目ノ名稱ニ關シテハ追々説明スル機會ガアルカラ今ハ略シテ置クコトニスル之レデ管轄ノコトハ大體説述シタガ尙檢察機關ノ階級竝ニ其ノ效果ヲ一言スル必要ガアルト思フ抑モ檢察機關ハ上司法大臣ニ初マリ下司法警察官及其ノ補助機關ニ終リ上級ノモノハ下級ノモノニ對シ順次ニ指揮監督ノ權ヲ有スルモノデアアル監督權ヲ有スルモノハ下官ニ對シ指揮監督ヲ爲スノミナラス又自カラ下官ノ職務ヲ直接ニ行ヒ得ルコトガ通例デアアルガ唯一ツ檢事ノ刑事訴訟ニ關與スル權丈ハ司法大臣ニ於テ直接ニ行フコトハ出來ナイ司法大臣ハ檢事ニ對シ公訴ノ提起又ハ不起訴ノ處分ニ關シテ訓令スルコトハ出來ルガ大臣自カラ公訴ヲ提起スル譯ニハ行カナイ裁判ニ立會ウコトハ出來ナイ公訴ヲ提起シ刑事訴訟ニ關與スルコトハ檢事ニノミ出來ル職權デアアル唯裁判所構成法第十八條ニ依リ例外トシテ區裁判所檢事ノ事務ニ付テハ其ノ地ノ警察官憲兵將校下士又ハ林務官ニ於テモ亦之レヲ行フコトヲ得ベク其ノ他司法大臣ハ適當ト認ムル場合ニハ區裁判所刑事試補又ハ郡市町村ノ長ヲシテ檢事ヲ代理セシムルコトガ出來ル

下官ハ上官ニ對シ絶對的ニ服從ノ義務アルコトハ行政法上ノ鐵案デアアル人或ハ下官ト雖モ上官ガ上官自身ノ權限ニ屬セザル事項又ハ下官ノ權限ニ屬セザル事



項ニ付キ命令ヲ發シタ場合ニハ之レニ服從スル義務ガ無イト論ズル者モアルヤ  
 ウデアルガ之レハ間違ツタ話ダト思フ何故カト云ヘバ權限ノ有無ヲ判定スルコ  
 トモ亦畢竟上官ノ命令權ノ一部ヲ爲スモノデアラカラ下官ニ於テ之レガ審査權  
 アジト云フハ結局上下ノ關係ヲ顛倒スル次第デアツテ全ク指揮監督ノ權ヲ無視  
 スル結果ニ陥ルカラデアル

上級機關ハ其ノ權力ノ大ナル點ニ於テ誠ニ重要ナルモノニハ相違ナイカ上級機  
 關ニ適材ヲ得タノミデハ犯罪ノ檢舉ニ付テ實功ヲ舉ゲルコトハ出來ナイ總テ上  
 級機關ノ衝ニ當ル者ノ員數ハ極メテ小ナイノテアルカラ千百ノ犯罪ヲ自カラ搜  
 査檢舉スルコトハ到底不可能デアル故ニ勢下級ノ機關ノ力ニ俟タナケレバナラ  
 ナイ此ノ意味カラ觀察スルト補助機關タル巡查憲兵卒ハ實ニ重切ナル機關ト云  
 フベキテアル各國ガ特ニ刑事巡查ナルモノヲ置クノハ即チ補助機關ノ效能ヲ認  
 メ之レニ教育ヲ施シ以テ益々成績ヲ舉ゲヤウトスルニ外ナラナイノデアアル

歐羅巴先進國ニ於ケル司法警察官竝ニ刑事巡查ノ養成方法ハ刑事ニ關スル實體  
 法竝ニ手續法等ノ學問的研究ヨリモ寧ろ實地的敎習ニ重キヲ措イテ居ル從テ刑  
 事參考品陳列館ヲ設ケ犯人犯處犯罪借用物件被害ノ模様等ニ關スル實物模型寫

等ヲ眞陳列シ例ヘバ盜犯ノ使用スル器具ハ如何ナルモノデアアルカ之レヲ使用シ  
 タル痕跡ハ如何ナル工合ニ印象サレルカ鮮血ハ時ノ經過ニ隨ツテ如何ニ變色シ  
 テ行クカ如何ナル兇器ハ何程ノ創痕ヲ遺スモノデアラウカ偽造紙幣偽造貨幣ニ  
 ハ如何ナルモノガアツテ又之レガ偽造器械ハ如何ナルモノデアアルカ偽筆ハ何レ  
 位マデ眞正ノ筆跡ヲ模倣出來ルダラウカヲ一目シテ悟リ得ルヤウニ設備シ殊ニ  
 實際人心ヲ聳動シタ案件ニ關スル證據品ヲ保存シテ時ノ係官ノ苦心ヲ追想セシ  
 メ又他日執務ノ參考ニ供セシメテアル我國ニ於テモ警視廳ニ警察陳列室法科大  
 學ニ刑事參考室醫科大學ニ法醫學參考室等ノ設ケラレタノハ結構デアアルガ何レ  
 モ規模ガ少サクテ内容モ不完全デアアル之レハ何トカシテ整頓シテ研究者ノ便ニ  
 供スルヤウニシタイモノデアアル殊ニ最モ望マシイノハ注目ヲ惹イタ事件ニ關ス  
 ル資料ニハ事ノ發端ヨリ捜査上ノ曲折發展頓挫ヲ詳カニ叙シテ永ク傳ヘ後進者  
 ノ參考ニ供スルヤウニシテ見タイト思フ

## 第二章 犯罪檢舉ノ方法

犯罪トハ其ノ何罪タルニ論ナク常ニ特定人カ法令ニ於テ特定ノ刑罰ヲ加フベキ



コトヲ宣明シテ禁ジ若クハ命ジタル所ニ違フコトヲ指稱スルノデアアル夫レデア  
 ルカラ犯罪ヲ檢舉スルニハ少クトモ二方面ノ證據ヲ捉エルコトガ必要デアアル言  
 ヒ換レバ犯シタカ其人ヲ特定スル必要ガアルシ又人が特定セラレタトシテ更  
 ニ其人ガ如何ナル行爲即チ作爲不作爲ヲ敢テシタカト云フコトヲ決定シナケ  
 レハナラナイ而シテ人ヲ特定スルニハ人ヲ識別スルコトガ必要ニナル又作爲ヲ  
 決定スルニハ一定ノ事跡ヲ證明スル必要ヲ生スル由テ吾輩ハ本章ヲ分カツテ二  
 ツト爲シ個人識別法ト犯罪事實證明法トノ説明ヲ致サウト思フ

### 第一節 個人識別法

犯罪ハ人ヲ離レテ存在スルモノデナイ尙モ犯罪アリトスレバ必ス之レヲ犯シタ  
 人カナケレハナラヌ其處デ其ノ犯人ヲ檢舉スルニハ先犯サレタ罪ノ調査ヲ爲シ  
 ドイシテモ此ク此クノ人カ犯シタニ違ヒナイト云フ當リヲ附ケ借テ其ノ者ハ此  
 ノ人デアルト云フコトヲ證明シナケレバナラナイ夫レニハ假定セラレタル犯人  
 ト特定ノ實在人ト同一デアルト云フ證據ヲ示サナケレバナラナイ此ノ識別ヲ爲  
 スニハ種々ノ手段ガアル例ヘバ或ル家ニ竊盜ガ這入ツタ併シ幸ニシテ犯人ノ姓

名ヲ知レル人ガ其ノ現行ヲ目撃シテ居タノデ伊野一郎ガ犯人デアアルコトガ分ツ  
 テ居ルカラ其ノ男ヲ捕ヘテ見タ其ノ男ハ自カラ伊野一郎デアルト名乗レバ夫レ  
 デ此ノ男ガ其ノ竊盜犯人デアルト断定ガ出來ル之レハ姓名ニ依ツテ人ヲ識別シ  
 得ル場合デアアル併シ同ジ例ニ依テ其ノ犯罪ノ現行ヲ目撃シタ人が犯人ノ姓名ヲ  
 知ラナイガ其人相ヲ熟視シタト云フ場合デアレバ其人相ニ依ツテ犯人ヲ物  
 色シ之レニ該當スルモノヲ捕ヘテ目撃シタル人ニ示シテ個人ノ異同ヲ識別スル  
 モ亦一ノ方法デアアル

犯人ガ姓名ヲ偽ハラズ人相ヲ變裝スルコトガナケレバ左ノミ困難ヲ感ジナイノ  
 デアルガ罪跡ヲ蔽フコトノ巧ミナ者ヤ殊ニ累犯者ニナルト勉メテ人カラ何ノ某  
 ナリト識別セラル、コトヲ避ケルモノデアアル此カルモノニ對シテハ個人ノ同一  
 ヲ證スル方法ニ付テ色々ノ研究ガ遂ゲラレテ居ル人身測定法トカ指紋法トカ云  
 フノガ其ノ内デ最モ有效ナルモノデアアル

個人識別ノ必要ハ必シモ犯罪人ノ識別ニ限ラレテ居ル譯デハナイ時トシテハ犯  
 罪ニ因ル被害者ノ何人デアアルカヲ知ル必要ヲ生ズル場合ガアル例ヘバ彼ノ首無  
 事件トシテ都人士ノ耳目ヲ聳動シタルガ如キ案件ニ於テハ首無死體ガ果シテ何



人デアツタカト云フコトガ判明シナケレバ犯人檢舉ノ端緒サヘモ得ラレナイコトニナルノデアアル

### 第一款 戸籍

交通ノ發達シナカツタ時代ニハ人々ハ居ヲ遷スコトガ非常ニ不便デアツタカラ多クノ人ハ大抵一定ノ地方ニ土着シテ居タモノデアアル隨テ家ナル觀念ヲ守ルコトガ頗ル鞏固ナモノデアツタカラ此ノ如キ時代ニ在ツテハ人ノ異同ヲ識別スルコトハ必シモ困難ナ譯デハナイ例ヘバ一面郷黨若クハ隣佑ノ面識ニ依リテ目的人ノ氏名ヲ識別シ一面同人ノ家族間ニ於ケル地位並ニ同人ノ身分上ノ履歷ヲ明カナラシムベキ臺帳ヲ設備シテ之レニ便宜ナル索引ヲ附シテ置ケバ何時デモ特定人ノ何人ナルカヲ識別スルコトハ容易デアアル今假リニ氏名ヲ詳カニセザル他殺ノ死體ヲ發見シタリトスルモ民衆土着ノ時代ニ於テハ忽チ死者生前ノ相識者ニ依リテ死者ノ何人ナルカヲ識別シ得ル機會ニ乏シクナイデアアラウ若シ偶々相識者ナシトスルモ戸籍ニ基イテ失踪者ノ有無ヲ取調べ之レヲ手掛トシテモ被害者ノ何人ナルカヲ識別スルコトガ出來ヤウ故ニ何レノ國ニ於テモ交通不便ノ時代ニハ人ノ死亡其ノ他ノ移動ヲ役場若クハ寺院ニ届出デシメ其ノ届出ニ基イテ

戸口ノ臺帳ヲ作製シ之レヲ利用シテ個人ヲ識別シテ居タノデアアル是レ即チ戸籍ノ制度デアアル

戸籍ノ制度ハ犯罪檢舉ノ便ニ供スルガ爲メニ起ツタモノデハナイ之レハ寧ろ吾人々類ガ一ノ團結ヲ爲シ進ンデーノ國家ヲ形ツタリ他ノ團體他ノ國家ト對抗シテ自己ノ存在ヲ全ウシテ行ク必要上設ケラレタモノデアアル換言スレバ自己ノ團體内ニ於テ治者被治者ノ分ヲ定メ被治者ハ治者ノ裁量ニ依リテ自國ノ存在ヲ保障スル爲メニ必要ナル實力ヲ供給シ資本ヲ醸出シナケレバナラナクナリ之レヲ遺算ナク決行シテ行クニハ常ニ國勢ヲ明カニシ何レノ地方ニハ幾何ノ租稅負擔ニ堪ユル者ガアルカ何レノ家ニハ何人ノ壯丁ガ現存スルカヲ豫知シナケレバナラナイ戸籍ノ制度ハ結局此ノ目的カラ案出セラレタモノト見ルベキデアアル併シ此ノ戸籍ノ制度ハ一面ニ於テ各個人ノ法律上ノ地位ヲ確定スルノ效果ヲ生ズル例ヘバ戸籍ニ依テ一家族内ニ於ケル權力者タリ服從者タリ扶養ヲ受クル權利者タリ之レヲ爲ス義務者タル關係ガ定マリ又ハ相續ノ順位等ガ決セラル、ノデアアルシ又一面ニ於テハ各個人ノ動靜ヲ視察スルノ基礎トシテ檢察事務ノ上ニ多大ノ效用ヲ顯ハシテ居ルノデアアル



戸籍ノ制度ハ一國ノ爲政上誠ニ重切ナルモノデアラカラ國家ハ戸籍ニ就キテハ法令上一定ノ效力ヲ保タシメ人ノ身分ニ關スル事項ハ戸籍ノ原本ニ記載シテアル所ヲ以テ一應眞實ナルモノト推定シ反對ノ確證ヲ舉ゲ一定ノ手續ヲ履踐シテ原本ニ於ケル記載ノ變更ヲ受ケタル後ニアラザレハ戸籍ノ原本ニ記載スル所ト異リタル事實ヲ以テ眞實ナリト主張スルコトヲ許サナイノデアアル而シテ若シ戸籍ニ關スル届出ヲ爲スコトヲ懈怠シ若クハ故意ニ虛偽ノ届出ヲ爲シ戸籍ノ效用ヲ妨ゲントスル者ニ對シテハ夫レ々々制裁ヲ加ヘ以テ戸籍ノ真正ヲ保障シテ居ル戸籍ノ制度ハ此ク重要ナルモノデアツテ且ツ檢察事務ヲ行フニ就テ多大ノ便宜ヲ供シテ居ルモノデアラカラ此ノ學科ヲ研究スルニ當テハ我國ノ戸籍ノ制度ハ如何ニナツテ居ルカト一ト通り説明ヲ爲ス必要ガアルト思フ

我國ノ戸籍ニ關スル現行法ハ明治三十一年六月十五日法律第十二號戸籍法デア  
ル此ノ法律ニ依ルト戸籍ノ制度ヲ二様ニ規定シテ居ル一ハ身分登記ニ關スル規  
定テ他ハ戸籍ニ關スル規定デアアル身分登記ト云フノハ各個人ノ出生、死亡、婚姻、  
組等ノ如キ移動ニ關スル事項ヲ公證スル爲メニ之レヲ一ノ原簿ニ登錄スルコト  
デアアル而シテ此ノ原簿ヲ身分登記簿ト稱シテ居ル戸籍ト云フノハ一家ノ戸主及

ヒ家族ノ本籍其ノ他其ノ家ニ屬スル人々ノ間ニ於ケル相互ノ續柄ヲ記載シタル  
モノ、コトデアアル

身分登記並ニ戸籍ニ關スル事務ハ市町村長若クハ區長ガ戸籍吏ト云フ資格ヲ國  
家ノ事務トシテ管掌スルコトニナツテ居ル而シテ此ノ戸籍吏ノ事務ハ區裁判所  
ノ單獨判事又ハ監督判事ガ其ノ監督ヲシテ行キ司法大臣、控訴院長、地方裁判所長  
ハ各自其ノ部下並ニ戸籍吏ニ對シテ直接間接ニ身分登記及戸籍ニ關スル事務ヲ  
監督シテ居ル

身分登記簿ニハ戸籍吏ノ管轄内ニ本籍ヲ有スル者若クハ登記ニ依テ其管轄内ニ  
加入シ又ハ之レヨリ離脱スベキ者ノ身分ニ關スル登記簿ト戸籍吏ノ管轄内ニ本  
籍ヲ有セザル者ノ身分ニ關スル登記簿トノ二種類ガアル此等ノ登記簿ハ正副二  
本ヲ備ヘナケレバナナイコトニナツテ居ル而シテ正本ノ方ハ戸籍役場ニ於テ  
永久保存スルコトニシテアル身分登記簿ハ何人デモ手数料サヘ納メレバ之レガ  
閱覽ヲ爲スコトカ出來ルシ又謄本抄本ノ下付ヲ受クルコトモ出來ル閱覽手数料  
ハ一回十錢ヲ謄本抄本下付ノ手数料ハ一葉毎ニ十錢ヲ納メナケレバナナイ  
戸籍簿ハ本籍地ノ地番號ノ順序ニ從ツテ作製スルモノデ一戸毎ニ正副二本ヲ備



ヘルコトニナツテ居ル之レガ閱覽並ニ謄本抄本ノ下付請求ニ付テハ身分登記ニ就テ述ベタ所ト同様デアアル戸籍簿ニハ左ノ事項ヲ記載スル定メニナツテ居ル

一、戸主、前戸主及家族ノ氏名

二、戸主ノ族稱及本籍地(但家族カ族稱ヲ有スル場合ニ於テハ家族ニ就イテモ亦其ノ族稱ヲ記載シナケレバナラヌ)

三、戸主及家族ノ出生ノ年月日

四、戸主又ハ家族ト爲リタル原因及年月日(但シ出生ニ因ツテ家族トナリタル者ニ就イテハ此ノ記載ヲ爲スニ及バナイ)

五、戸主並ニ家族ノ父母ノ氏名及ビ其ノ父母ト戸主又ハ家族トノ續柄

六、戸主ト前戸主トノ續柄及家族ト戸主トノ續柄(但家族ノ中他家ヨリ入りテ他ノ家族ト配偶者ト爲リタル者又ハ他ノ家族ヲ經テ戸主トノ親族關係ヲ有スル者ニ就イテハ其ノ者ト戸主トノ續柄ヲモ記載スルコトヲ要ス)

七、他家ヨリ入りテ戸主又ハ家族トナリタル者ニ就イテハ其ノ原籍地、原籍ノ戸主ノ氏名族稱及ヒ其ノ戸主ト戸主又ハ家族トナリタル者トノ續柄

八、他家ヨリ入りテ家族トナリタル者ニシテ他ノ家族トノ親族關係ヲ有スル者ニ就イテハ其ノ者ト他ノ家族トノ續柄

九、戸主又ハ家族ノ身分ノ變更及ヒ其ノ原因並ニ年月日

十、後見人アル者ニ付テハ後見人ノ氏名住所及後見人ノ就職並ニ任務ノ終了ノ年月日

夫レカラ又戸主及家族ノ氏名ヲ戸籍簿ニ記載スルニハ左ノ順序ニ從フコトニシテアル

一、戸主

二、戸主ノ直系尊屬

三、戸主ノ配偶者

四、戸主ノ直系卑屬及ヒ其ノ配偶者

五、戸主ノ傍系親屬及ヒ其ノ配偶者

六、戸主ノ親族ニアラザル者

而シテ直系尊屬ノ間デハ親等ノ遠イ者ノ方ヲ先キニ記載シ直系卑屬又ハ傍系親屬ノ間デハ親等ノ近イ者ノ方ヲ先キニ記載スルノヲ例トシテ居ル尙又直系尊屬直系卑屬若クハ傍系親屬ノ間デハ親等ノ同ジキ場合ニハ親族間ノ



順位ニ從ツテ記載シ其ノ親族間ノ順位モ同ジデアルトキハ出生ノ前後ニ依ツテ其ノ順位ヲ定メルノデアアル而シテ最後ニ一言スベキハ此等ノ規則ハ戸主ノ親屬ニ非ザルモノ、記載ヲ爲スニ當ツテモ亦之レヲ準用セラレテ居ルコトデアアル  
 特定人ガ處刑ヲ受ケルト罰金以上ノ刑ニ付テハ檢事局ヨリ其ノ者ノ本籍地ノ戶籍吏ニ對シテ受刑ノ年月日、裁判所名、罪名、刑罰等ヲ通知シテ居ル夫故檢察ノ必要上戸籍吏ニ照會スレバ特定人ガ本籍並ニ氏名ヲ偽ラザル限リハ其ノ本籍地戸籍吏ヨリ其ノ者ノ前科有無ノ回答ヲ得ラル、ノデアアル

### 第二款 前科者名簿

特定人ニ前科ガ有ルカ無イカヲ知ルコトハ犯罪ノ檢察上頗ル必要ナコトデアアル而シテ其ノ必要ヲ感ズル場合ヲ大別スルトニツニナル其ノ一ツハ茲ニ一人ノ犯罪嫌疑者ガアルトシテ其ノ者ノ既往ニ於ケル履歷ニ依ツテ罪ノ有無ヲ斷ズルコトガ出來ル場合デアアル一例ヲ以テ説明スレバ茲ニ一人ノ偽造貨幣ヲ使用シタ者ガアル併シ偽造貨幣ト知ツテ使用シタルモノデアアルカドカ判然シナイ而シテ本人ハ勿論情ヲ知ラズニ使ツタモノダト辯解シテ居ル場合ニ其ノ者ノ前科有無ヲ調ヘテ見ルト前ニモ貨幣偽造等ノ處刑ヲ受ケタモノデアアルコトガ分ツタトス

レバ今回モ亦不正行爲ヲ敢テシタラウト云フ見當モ付キ檢察方針モ大ニ發展スルデアラウ

前科ノ有無ヲ知ルコトハ刑罰ノ量定ヲ爲ス上ニ於テモ亦大ニ必要ヲ感ズルノデアアル永年ノ經驗ニ依レバ各國ノ監獄ハ主トシテ累犯者ヲ以テ充タサレテ居ル彼等ハ刑ヲ終ツテ出獄スレバ直チニ罪ヲ繰返スヲ常トシテ居ル此カル奴輩ニ輕キ刑罰ヲ科シテモ何ニモナラヌ否彼等ニ對シテハ刑罰ハ威嚇ノ效力ヲ失ツテ居ルノデアアル茲ニ於テカ各國ハ概ネ累犯者ニ對シテハ刑ヲ加重シ成ルベク永ク彼等ヲ社會ヨリ遮斷スルノ策ヲ採ルニ至ツタノデアアル我が現行刑法ニ於テモ此ノ點ガ一ツノ改正要綱ニナツテ居ルノデアアル故ニ檢察事務ニ從事スル者ハ前科ノ發見ニ付テハ常ニ意ヲ留メナケレバナラナイ

然ルニ國家ガ前科者ニ臨ムコト嚴酷ナル丈前科者ハ前科ノ包藏ニ力ヲ盡スハ見易キノ理デアアル故ニ國家ハ豫メ特定人ガ前科者某ト同一人ナリヤ否ヤヲ識別スルニ便スベキ設備ヲシテ置ク必要ガアル前科者名簿ナルモノハ其ノ必要ニ應ゼンガ爲メニ設ケラレタル武器デアアル此ノ前科者名簿ノ一ハ司法省ノ犯罪人名簿デアアル司法省ガ明治二十五年一月以來全國ノ各裁判所ヲシテ其ノ言渡シタル刑



事判決ニ付キ各被告人ノ氏名、年齢、身分、職業、住所、原籍、罪名、刑名、判決ノ對席缺席缺席判決ニ付テハ其ノ確定又ハ未確定ヲモ記述シテ居ル言渡及ビ確定ノ年月日ヲ通知サセテ之レヲ受刑者氏名ノいろは順ニ排列編成シ之レニ索引ヲ付シテ完成シ更ニ之レヲ印刷シテ毎年各裁判所検事局ニ配付シテ居タノハ即チ夫レデアル此ノ司法省ノ犯罪人名簿ノ外ニモ殆ト之レト同一ナル前科名簿ナルモノガ各檢事局限リテ出來テ居ル

以上ハ各裁判所檢事局ニ設備シアルモノデアアルガ警視廳ニハ犯罪人名籍索引票ト稱スルモノヲ設備シテ在ル之レハ同廳ニ於テ明治十八年以來引續キ調製シ來レルモノデ之レニハ同廳管内ニ於テ檢舉セラレ裁判ニ付セラレタル犯罪者ノ氏名、年齢、身分、職業、原籍、出生地、判決裁判所、處分、年月日、結果、綽號、偽名、人相、特徴等ヲ一定ノ票札ニ記載シ姓名ノいろは順ニ從ツテ函中ニ藏シテ置ク檢事局ニ備附ノ名簿ニ比スレバ嘗テ犯罪嫌疑ヲ受ケテ無罪若クハ免訴トナリタルモノナリヤ否ヤヲモ知リ得ル利アリ且票札トナシ二十又數年來ノモノヲ總テいろは順ニシアル爲メ一年毎ニ索引ヲ付シタル司法省ノ犯罪人名簿ヨリ索出ノ便ノ多イコトハ勿論デアアル唯警視廳管内ニノミ限ラレテ居ルカラ東京以外デ犯サレタ既往犯罪ヲ

發見スルニ由ナイノハ遺憾デアアル

茲ニ序ヲ以テ一言シタイノハ近來輕微ナル犯罪ニ付テハ釋放トカ不起訴トカ云フ便宜處分ガ實行サレテ相當ニ良好ノ結果ガ收メテ居ルヤウデアアルガ之レ等ノ恩典ニ浴シタ者ハ形式ノ上ニ於テハ前科者デハナイガ實質ノ上カラ云ヘバ前科者モ同様ノ危險性アル人間デアアルカラ一ノ地方デ恩典ニ浴シタモノガ他ノ地方ヘ行ツテ同様ノ罪ヲ犯シタ時分直チニ其ノ不都合ガ分ルヤウ各地ノ間ニ脈絡ヲ着ケル必要ガアル之レニ付テハ如何ナル方法ヲ採ルノガ最モ簡便デ且有効ナルカ研究シタイコトデアアル今假リニ甲區ニ於テ某飲食店デ十錢二十錢ノ無錢飲食ヲシテ捕ヘラレ事態輕微ナリトシテ説諭デ免サレタ者ガ丙區ニ於テ再ビ同様ノ罪ヲ犯シ同ジク免サレ此クシテ江戸中ヲ順線リニ喰イ倒シテ歩クモノアリトセヨ之レハ決シテ免スベキモノデハナイ然ルニ之レニ類スルコトハ決シテ無イトハ云ヘナイ夫レ故之レニ對スル方策ヲ完全ニシテ置カナケレバナラナイ夫レニハ單ニ前科名簿ノミデナク之レニ合併シテナリ又ハ獨立シテナリ夫レハ何レデモ便宜ニ從フトシテ全國ニ於ケル起訴猶豫者名簿ヲ作成シテ置クノガ宜敷カラウト思フ



前科者名簿ハ真正ノ姓名ヲ名乗ラレタ場合デナケレバ效能ガナイ若シ執拗ナル  
 犯罪者ガアツテドーシテモ眞ノ姓名ヲ語ラナイ時分ニハ前科者名簿又ハ戶籍デ  
 ハ人ノ識別ヲスルコトハ出來ナイコトニナル此カル場合ニハ第三款以下ニ述ブ  
 ル所ノ手段ニ依ラナケレバナラナイ併シ此カル必要ニ迫ラル、コトハ比較的少  
 數ノ場合デアツテ多クハ結局犯人ノ眞ノ姓名ハ發見セラル、ノデアアルカラ個人  
 識別ノ方法トシテハ前款ニ述ベタル戶籍ト本款ノ前科者名簿トハ猶ホ日々多大  
 ナル效用ヲ爲シツ、アルモノデ今後トテモ決シテ其ノ編成ヲ忽セニスベキモノ  
 デナイト思フ否之レ等ノ設備ハ益々改良ヲ加ヘテ完成ヲ期スベキデアアル

### 第三款 寫 眞

戶籍トカ前科者名簿トカ云フモノハ特定人ノ異同又ハ特定犯罪者ノ經歷ヲ知ル  
 上ニ於テ顯著ナル效驗ヲ現ハスモノデハアルガ之レハ捜査ノ端緒タル特定人若  
 シクハ檢舉ノ目的タル犯人ノ氏名ガ判明シ居ル場合ニ於テノミ效用ヲ爲スモノデ  
 アツテ若シ殺人事件ノ被害者ノ氏名ガ分明ナラザル場合トカ又ハ犯罪者カ眞ノ  
 氏名ヲ語ラザル場合等ニ於テハ何ノ便宜ヲモ與ヘナイコトニナル此カル場合ニ  
 ハ被害者ノ死屍ヲ目前ニ控ヘナガラ其ノ何人デアアルカ、分ラナイ爲メ其ノ人ノ

周圍ニハ如何ナル事情ガ纏綿シテ居タノデアラウカ如何ナル原因ノ爲メニ此ノ  
 被害ヲ見ルニ至ツタノデアラウカ捜査ノ端緒ヲ捉ヘルコトガ出來ナイ一人ノ犯  
 罪者ヲ捕ヘナガラ偽名ヲ稱ヘテ居ル爲メ社會ト相容レザル累犯者デアラウトハ  
 想像シナガラ其ノ然ル所以ヲ證明スルコトガ出來ナイ爲メ見ス、初犯者トシ  
 テ取扱ハナケレバナラナイ是ニ於テカ吾人ハ別ニ此カル場合ニ適應スベキ個人  
 ノ識別法ヲ講究シナケレバナラナイ本款以下ニ述ブル所ハ即チ此カル需要ヲ充  
 タサンガ爲メニ考案セラレタル個人識別法ノ重モナルモノデアアル而シテ之レ等  
 ノ方法ハ主トシテ累犯者ヲ觀過セザル必要カラ産出セラレタルモノデアアルカラ  
 其ノ心ニテ見テ貰ヒタイ

一體何故ニ累犯者ヲ酷過スルノデアラウカ刑法ヲ以テ臨ムホドノ行爲ハ何レモ  
 吾人ノ共同生存ヲ危クスルモノデアアルコトハ論ズルマデモナイコトデアアル併シ  
 同ジク犯罪デアツテモ或ル特殊ノ事情ノ爲メニ罪ヲ犯スニ至ツタ場合ハ其ノ特  
 殊ノ事情ダニ再ビ起ルコトガナケレバ左マデ怖ルベキ惡ムベキモノデハナイ例  
 ヘバ殺人ハ大罪デアアル滔天ノ惡デアアル併シ茲ニ一人ノ孝子ガアツテ親ノ讎ヲ報  
 ズルガ爲メニ親ノ敵ヲ殺害シタモノガアルトシテ見ヨ此カル犯罪ハ再ビセラル



、憂ハナイト見テ宜シイ唯ダ適法ノ手續ニ依テ親ノ讎ヲ復スベキ方針ヲ採ラズニ私擅ナル手段ニ訴ヘタ廉ヲ以テ相當ノ處罰ヲ加フレバ足ルノデアアル然ルニ之レニ反シテ犯罪ヲ以テ自己保存ノ手段トシ之レニ依テ自己ノ欲望ヲ満たサントスル所謂常習犯若クハ職業犯ニ至リテハ吾人ハ極力之レヲ社會ヨリ驅逐シナケレバナラナイ而シテ累犯者ハ一應常習犯ナリトノ推定ヲ受クルコトヲ免カレナイカラデアアル此ノ故ニ近世ノ刑法ハ財産ニ對スル罪ヲ犯シタル場合デアツテモ累犯者ニ對シテハ生命身體ニ對スル罪ヲ犯シタル者ニ臨ムヨリモ更ニ苛酷ナル刑ヲ課シテ居ルノデアアル殊ニ我が舊刑法ノ如ク累犯者デアツテモ初犯者トシテ處刑シ其ノ裁判ガ確定シタルトキハ最早刑ヲ加重スル途ガナイト云フ様ナ制度ニ満足セズ新刑法ハ裁判確定後ト雖モ累犯者タルコトヲ發見シタル場合ニハ改メテ刑ノ加重ヲ爲シ得ルト云フ程迄累犯者壓迫ノ策ヲ講ジテ居ルノデアアル從テ累犯者ニ於テハ又前科ヲ包藏スルコトニ苦心ヲスルト云フノハ勢免カレナイ處デアアル而シテ前科包藏ノ捷徑トシテ彼等ハ他人ノ氏名ヲ詐稱シ若クハ虛無ノ姓名ヲ使用スルノデアアル此カル場合ニ其ノ詐術ヲ觀破スルニ當リテハ寫眞ガ甚ダ有益ナル效用ヲ爲スベキコトハ何人モ等シク想到スル所デアラウ併シ寫眞

ト云フモノハ之レヲ撮影スル位置其ノ他ノ關係カラ同一ノ人間ヲ恰カモ別人ナルガ如ク觀察セシムル場合ガナイトハ云ハレナイ試ミニ種々ノ服裝ヲ爲シ時ヲ異ニシ位地ヲ變ヘタル數個ノ自己ノ寫眞ヲ對照シテ見ヨ自分ナガラ何レカ眞ノ自分デアアルカニ感フデアラウ甚シキニ至ツテハドモ之レガ自分ノ寫眞トハ思ヘナイ場合ガアルデアアルマイカ其處デ個人識別ノ用ニ供スルニハ必ズ寫眞ノ撮影法ヲ一定シテ置カナケレバナラナイ

寫眞撮影法ニ就テ第一ニ問題トナルノハ人ノ側面ヲ寫スノガ可イカ正面ヲ撮ルノガ好イカト云フコトデアアル佛國巴里府警視廳個人識別課長タルアルフォンスベルテイヨン氏ノ說ニ依ルト寫眞ト寫眞トヲ對照シテ各寫眞ニ現ハレタル人ノ異同ヲ辨ゼントスル場合ニハ嚴正側面ヲ撮影シテ置クニ限ルトノコトデアアル而シテ氏ガ此ク斷定スル根據ハ次款人身測定法ノ說明ヲ看レバ了解セラル、コトデアアルガ要スルニ人ノ顔面ノ嚴正側面ハ輪廓ヲ變ズルコト最モ少ク耳鼻ノ形狀並ニ之レガ他ノ部分ニ對スル關係的位置ヲ明瞭ニ表示スルノ便利ガアツテ兩個ノ寫眞ニ表ハレタル人ノ異同ヲ判斷スルコトガ簡易デ且ツ確實デアアルト云フニ在ル併シナガラ寫眞ト實物トヲ比較シテ其ノ異同ヲ識別シヤウトスル場合若ク



ハ或ル人ニ對シテ其ノ人ガ何某ナリト云フハ此ノ寫眞ニ撮影シアル人物ニアラザルヤ否ヤヲ問ハントスルガ如キ場合ニ在ツテハ側面寫眞ヨリモ嚴正正面寫眞若クハ稍ヤ横ニ傾キタル正面寫眞ノ方ガ分リ易イトノコトデアアル之レハ人ガ他人ノ面識ヲ得ルコトハ側面ニ依ツテスルヨリモ正面ニ依ルコトガ普通デアツテ正面ノ方ガ視ル人ノ腦裏ニ印象ヲ遺スコト深イト云フ自然ノ情態ヨリ立論シタコト、思フ要スルニベルテイオン氏ハ此ノ理由ノ下ニ個人識別ノ目的ヲ達スルガ爲メニハ必ズ二様ノ寫眞ヲ保存スル必要ガアルト論結シ之レヲ實行シテ居ル其ノ一ハ即チ嚴正側面寫眞テ他ノ一ハ四分ノ三正面寫眞デアアル併シ一人毎ニ此ノ二様ノ寫眞ヲ撮影シテ置クト云フコトハ甚タ不經濟ナコト、云ハナケレバナライ其處デ英國デアハ此ノ二様ノ寫眞ヲ撮影スルコトノ利益ヲ失ハズシテ然カモ一枚ノ寫眞ヲ撮影スル丈ニ止メ以テ冗費ノ節減ヲ爲サンコトヲ研究シ終ニ四分ノ三正面寫眞ヲ撮影スルニ當リ其ノ撮影セラル、者ノ傍ラニ一面ノ玻璃鏡ヲ裝置シ之レニ其ノ人ノ嚴正側面ヲ反映セシメツ、其ノ狀態ニ於テ本人ト共ニ其ノ鏡面ノ反影ヲモ撮影シテ之レヲ一個ノ寫眞中ニ收ムル方法ヲ案出シ之レヲ實行シテ居ル由デアアル

寫眞ノ大サニ付テハ別ニ何レ丈ノ寸法ガ最モ良イト云フコトハナイ大キイ程識別ニ便利デアアラウケレドモ日常ノ用ニ供スルコトヲ標準ニシテ云ヘバ成ルベク費用モ節シナケレバナラズ又保存ノ上カラ見テモ餘リ面積ヲ塞ガナイヤウニ注意シナケレバナライ夫レニハ小サイ程利益デアアル此ノ相容レザル二ツノ利益ヲ調和スルニハ手札形ノ寫眞ガ最モ適當デアラウ唯手札形位ノ寫眞デハ痣トカ黒子トカ云フ様ナ微細ナ特徴ヲ認識スルコトガ出來ナカラウト非難スル人ガアルガ之レハ擴大鏡(凸面鏡)又ハ虫眼鏡ヲ利用シテ觀レバ十分ニ認識スルコトガ出來ルカラ心配スルニ及バナイ要之寫眞ノ大小ト云フコトハ餘リ重要ナル問題デハナイ併シ一定ノ大サヲ選擇シタ以上ハ總テ其ノ大サヲ標準トシテ寫眞ヲ撮影スルコトニシナケレバナライ重大ナ問題デナイカラト云フテ其ノ時々テ勝手ナ大キサデ撮ツテハ對照上甚ダ不便ヲ感ズルカラ畫一ニスルト云フコトハ注意シナケレバナライベルテイオン氏ハ實物ノ七分一大ヲ標準トスルノカ便利デアルト云フテ之レヲ實施シテ居ルトノコトデアアル

寫眞ヲ個人識別ノ用ニ供スルニ當リテハ寫眞ト寫眞トヲ對照スル場合ト寫眞ト實物トヲ對照スル場合トアル寫眞ト寫眞トヲ對照スル場合ニハ兩者ガ其ノ大小



位地等同一ニ撮影セラレテ居ルトキハ雙脚器コトバズヲ用キテ各部局ノ關係的距離ヲ測量シテ兩者ノ異同ヲ辨ズルコトガ出來ル若シ此ノ二個ノ寫眞ノ一方ハ長髪有髯デアツテ他ノ一方ハ斷髪無髯デアル際ニハ先以テ硝子板ニ寫眞ヲ當テ(臺紙ガアツタラバ之レヲ剝離シナケレバ透シテ見ルコトガ出來ナイカラ之レヲ剝離シテ硝子板ニ當テナケレバナラナイ)其ノ上ヲ白紙デ蔽ウテ頭髮鬚髯ノ部分ヲ毛髮ノ生際ニ沿ウテ透寫シ頭髮鬚髯ニ該當スル部分ヲ黒ク塗ツテ之レヲ切り抜キ之レヲ頭髮鬚髯ノ短カイ方ノ寫眞ノ上ニ載セテ彼此レ對照シテ見ルト髮ノ毛ヤ髯ノ長短有無ニ依テ外觀ヲ異ニシタルモノガ全ク同一人デアルコトヲ容易ニ鑑別シ得ルコトガアル扱テ又對照セントスル二箇ノ寫眞ガ大サニ於テ相違スル場合ニハ一方ノ寫眞ヲ他ノモノト同一ノ大サニ引伸バスカ又ハ縮寫シテカラ右ニ述べタ方法ニ依テ比較シナケレバナラナイ茲ニ一ツ注意ヲ要スルノハ坊間ノ寫眞師ハ往々ニシテ顧客ノ意ヲ迎ヘテ眞實ノ影像ニ修正ヲ加フルコトガアル故ニ若シ此カル疑ノアル寫眞ヲ對照ノ目的ニ供シナケレバナラナイ場合ニハ綿等ニ丁列綿油ヲ濕シ之ヲ以テ丁寧ニ寫眞ノ表面ヲ磨擦スルト若シ果シテ修正ヲ加ヘテアツタ場合ニハ加筆セラレタル部分ハ拭キ去ラルト云フコトデアアル次ニ寫眞ト

實物トヲ照對シテ異同ヲ辯ジナケレバナラナイ場合ニハ矢張り其ノ實物ヲ一旦撮影シテ寫眞ヲ比較スル方ガ識別シ易イトノコトデアアル例ヘバ茲ニ一人ノ被告人ガアツテ夫レガ豫テ撮影シテ保存シアル前科者某ト同一人デアルカドイカヲ比較シヤウトスル場合ニハ實物ト寫眞トヲ對照シテ判斷スルヨリモ其ノ被告人ヲ寫眞ニアル前科者ト同一ノ服裝ニ改メシメ既存ノ寫眞ト同一ノ位地同一ノ距離ヨリ同一ノ大サニ撮影シ之レニ依テ得タル寫眞ト前科者ノ寫眞トヲ對比スル方ガ却テ精確デアアル街路ヲ自由ニ歩行シツ、アル者ヲ寫眞ト比較スルコトハ困難デアルガ早取法デ撮影スルコトガ出來レバ之レヲ撮ツテ比照スルノデアアルケレドモ夫レガ出來ナイ時分ニハ豫メベルテイオン式ノ觀察法デ寫眞ヲ觀察シテ置イテ行人ノ頭髮々際眉目耳鼻口唇鬚髯ノ形狀位置等ガ如何デアアルカ姿勢ニ如何ナル特徴ガアルカ等ノ點ヲ比較シテ行クヨリ外ハナイ之レハ相當ノ熟練ヲ要スルコトデアアル

以上略叙シタル撮影法ニ依ツテ寫眞ガ出來タトシテモ幾千幾萬ト云フ寫眞ヲ秩序モ立テズニ保存シテ置イタナラバ或ル寫眞ヲ引出シテ見ヤウトシテモ之レヲ索出スルコトハ容易デナイ從ツテ寫眞ヲ如何ナル方法デ保存シ如何ナル方法デ



索シ出スカヲ研究シナケレバナナイ例ヘバ茲ニ一ノ犯罪者ガ捕ヘラレタガ偽名ヲシテ居ル併シ前科者ト認メラル、ト云フ場合ニ前科者ノ寫眞ヲ集メタル中ヨリ其ノ者ニ必適スル寫眞ヲ搜リ出サウト云フニハ盲索シテハ到底所期ノ目的ヲ達セラル、モノデナイ一枚ヅ、見テ索シ出ストスレバ非常ナ時間ト手數トヲ要スル然ルニ男女別特徴別ニ依ツテ豫メ區分シテ保存シ置ケバ索出ノ手數ハ非常ニ省略セラル、コトニナル

我が警視廳デハ僅カニ拘摸犯ニ限り必ズ之レヲ撮影シテ其ノ寫眞ヲ保存シ又監獄署ニ於テハ一年以上ノ體刑ニ處セラレタル者其ノ他一二ノ者ニ限りテ撮影ヲ爲スコト、シテアル而シテ其ノ寫眞ヲ保存スルニハ男女別、生年ニ於ケル十二支別、身長ノ大小、五體ニ於ケル特徴ノ位地等ヲ標準トシテ分類ヲ行ヒ索引ノ便ニ供シテ居ル例ヘバ新入監者ハ男性ニシテ、生年ハ丑年、身長五尺五寸、眉間ニ創痕アリト假定セヨ此カル場合ニハ寫眞保存函ニ臨ミ男子ノ部、丑ノ門、五尺五寸ノ身長ヲ包含スル綱中頭部特徴ノ目ノミニ就キ數十枚若クハ數枚ノ寫眞ヲ検査スレバ其ノ入監者ニ該當スル前科者ノ寫眞ガアルカド、カ極メテ簡易ニ且ツ比較的迅速ニ知ルコトガ出來ルノデアアル

#### 第四款 幾何學的個人識別法

幾何學的個人識別法ト云フノハ矢張り寫眞ヲ利用スル所ノ一ツノ個人識別法デアアル此ノ方法ハ餘リ實行サレテハ居ラナイガ確カニ有效ナル方法ニ相違ナイト思フ之レハ英人ダブリウマテオス氏ノ提案シタモノデアアル氏ノ主張ニ依レバ人ノ顔面ノ大サハ成熟期以後ニ於テハ變更スルコトガナイカラ識別ノ目的物ニナツテ居ル所ノ人ノ嚴正々面寫眞ト之レト比較對照セントスル人ノ嚴正々面寫眞トノ兩者ノ顔面ヲ同一ノ割合ヲ以テ出來ル丈擴大シ次ニ夫レ々々左右兩眼ノ瞳ヲ通シテ基本直線ヲ畫シ更ニ瞳ト瞳トノ間ノ距離ヲ二等分シ其ノ中點ニ當ツテ此ノ基本直線ニ垂直線ヲ引クト此ノ線ハ通常鼻筋ノ上ヲ通過スルモノデアアル扱テ此ノ垂直線ヲ畫シタラバ更ニ左右ノ眸ノ中心ヲ通シテ此ノ中央垂直線ニ平行スル所ノ二個ノ直線ヲ引クノデアアル此レ等四個ノ重モナル線ガ畫セラレタラバ更ニ基本直線ニ平行シ且ツ瞳ノ直徑ノ二倍ニ相當スル丈ノ間隔ヲ保ツ所ノ多數ノ直線ヲ引キ上ハ髮際ヨリ下ハ腮ニ至ルマデ顔面上ニ此ノ平行線ヲ畫クノデアアル其處デ之レ等一切ノ直線ガ畫カレタラバ雙方ノ寫眞ヲ中央垂直線ニ沿ウテ截斷シ甲ノ寫眞ノ右半ト乙ノ寫眞ノ左半若クハ甲ノ寫眞ノ左半ト乙ノ寫眞ノ右半



ト云フ風ニ半分宛基本直線ヲ標準トシテ接合ハセテ見ルノデアアル若シ雙方ガ同一人デアレバ他ノ多數ノ平行線ハ必ズ悉ク符合スルシ別人デアレバ平行線ガ齟齬スルトノコトデアアル若シ雙方ノ寫真ガ薄イ紙ニ撮影シテアル場合ニハ必ズシモ右ノ如ク截斷スルニハ及バナイ雙方ノ寫真ヲ基本直線ト中央垂線ヲ標準トシテ重ね合ハセタ上之レヲ透シテ見レバ自餘ノ平行線ガ符合スルカドウカ一目瞭然ニ認メ得ルコトデアアル此ノ方法ヲ用フルニ當テ注意スベキ點ハ對照スベキ雙方ノ寫真ヲ同一ノ割合ヲ以テ成ルベク擴大スルコトデアアル蓋シ小サイ寫真デハ瞳ノ直徑ノ測定上遺算ヲ生ズル虞ガアルカラデアアル此ノ點ハ聊カ實用上不便デアアルガ此ノ方法ハ識別ノ目的ヲ達スル上ニ於テハ簡單デ然カモ有效デアルトノコトデアアルカラ此ニ紹介シタノデアアル

### 第五款 人身測定法

前二款ニ述ベタ所ハ寫真ヲ以テ個人ヲ識別スル方法デアツテ之レハ無論有效ナル手段ニ相違ナイガ第一寫真ヲ製作スルニハ比較的大ナル費用ト多クノ時ト手数トヲ要スルコトデアアル第二之レガ保存ノ上ニ於テモ決シテ輕便デナイ第三又必要ニ應ジテ所求ノ寫真ヲ發見スル爲メノ索引ヲ設クル上ニ於テモ正確ト簡

單トヲ期シ難イカラ個人識別法トシテ博ク採用スルニハ寫真ヲ唯一ノ手段トスル事ハ到底行フコトガ出來ナイ其處デ泰西ノ學者ハ如何ナル方法ヲ採レバ此ノ缺點ヲ補フコトガ出來ルデアラウカト非常ニ苦心シタ結果二ツノ方法ガ發明セラレタ其ノ一ツハ人身測定法デアツテ他ノ一ツハ指紋法デアアル本款及ビ次款ニ於テ説明セントスル所ハ即チ之レデアアル

人身測定法ハ先ニ揭ゲタル佛國人アルフオンスベルテイヨン氏ノ創意ニ依テ案出セラレタ一ツノ個人識別法デアアル故ニ佛蘭西デハ氏ノ姓ニ因<sup>テ</sup>ンデ此ノ方法ヲ「ベルテイヨナトジ」トモ云ヒ又「アントロポメト」トモ稱シテ居ル譯語人身測定法ハ後者ノ名稱ヲ意譯シタノニ外ナラナイ蓋シ此ノ方法ハ氏ノ永年ノ研究ニ依ツテ得タ所ノ左ノ二個ノ結論ヲ根據トシテ案出セラレタモノデアアル

- 一、人ノ骨格(軟骨ヲモ含ム)ハ人ノ成熟期(即チ丁年)ヲ超ユレバ決シテ變更ヲ來スモノデハナイ

二、二個ノ人體ハ絶エテ全然同一ナル骨格ヲ備ヘルコトガナイ  
換言スレバ氏ハ此ノ二様ノ前提ノ誤ラザルコトヲ確認シタ上デ各人ノ骨格ヲ測定シ其ノ大小ニ依ツテ人ノ區別分類ヲ行ヒ以テ個人識別ノ目的ヲ達スルニ至ツ



タノデアアル而シテ氏ハ人ノ骨格ヲ測定スルニハ左ノ諸點ヲ標準ニ取ルノヲ便宜トシテ居ル

一、體幹ノ大體測定……………

- イ、身長(直立セル人ノ高さ)
- ロ、半身長(正座セル人ノ高さ)
- ハ、上雙肢水平伸長(左右上肢ヲ水平ニ伸バシ右手中指端ヨリ左手中指端マデヲ測リタル長さ)

二、頭部ノ測定……………

- イ、頭縦徑(即チ前額ヨリ後頭ニ至ル直徑)
- ロ、頭橫幅(左右顳額骨間ノ幅員)
- ハ、右耳ノ長さ
- ニ、右耳ノ幅
- イ、左足ノ長さ
- ロ、左手中指ノ長さ
- ハ、左手小指ノ長さ
- ニ、左前膊ノ長さ

三、左上下肢ノ測定……………

- イ、左足ノ長さ
- ロ、左手中指ノ長さ
- ハ、左手小指ノ長さ
- ニ、左前膊ノ長さ

氏ノ千八百九十三年ノ著ニ依レバ氏ハ同年ニ至ル迄既往十年間ニ巴里監獄ニ入

監シタ囚人十二萬人ヲ以上ノ諸點ニ就テ測定シタトノコトデアアル(此人員ハ千八百九十九年ニハ十九萬八千八百八十四人ニ増加シテ居ル)而シテ其ノ測定シタル結果ハ夫レ夫レ長サ百四十六ミリメートル幅百四十二ミリメートルノ票札ニ登錄シテ保存シ一面先ニ述ベタル二様ノ寫眞ヲ各人ニ就キ撮影保存スルノデアアル今之レヲ寫眞ノミ保存セラル、モノト假定シタラ如何デアラウカ一人ノ犯人ガ偽名ヲシテ居ル場合ニハ其ノ一人ノ履歷ヲ知ランカ爲メニハ迂遠ナガラ此ノ十ニ萬枚ノ寫眞ヲ一ツ一ツ點檢シナケレバナラナイ此クノ如キハ吾人其ノ煩ニ堪エ得ラル、モノデアナイ茲ニ至ルト「ベルテオナー」ジ「ハ偉大ナル效驗ヲ顯ハスノデアアル

何トナレバ「ベルテ」ヨシ「ン」氏ハ一人ノ人ヲ前記十一個ノ點ニ於テ測定シ各個ノ點ニ就キ夫レ々々大中小ノ三種ニ區別シテ其ノ測定結果ヲ記載シタル票札ヲ此レ等大中小ノ標準ニ依ツテ分類シ置ク爲メ一ノ犯人ガ嘗テ測定セラレタル内ノ何人ニ該當スルカヲ索シ出ス上ニ於テ非常ニ手數ヲ省クコトガ出來ルカラデアアル例ヘバ氏ハ第一ニ測定シタル頭縦徑ノ大サノ大中小ヲ決定シテ十二萬人ノ票札ト寫眞ヲ假リニ四萬個宛ノ三組ニ類別シ次ニ各四萬個宛ノ組ノ内ヲ更ニ頭橫幅ノ



大中小ニ基イテ一萬三千三百宛ニ區別シ更ニ此ノ一萬三千三百宛ニ別ケラレタ  
 モノヲ他ノ標準ニ就イテ測定シタル結果ノ大中小ニ細別スルト云フ様ニシテ行  
 クノデアアルカラ前ニ述ベタ十一個ノ標準ニ依ツテ區別分類シテ行クト最後ニ得  
 ル所ノ一ト組ノ内ニ含マル、票札並ニ寫眞ノ數ハ實ニ僅小ナモノニナル其處デ  
 吾人ガ今識別ノ目的トナツタ人ヲ測定シタ結果ハ例ヘバ頭縦徑カ若干「ミリメ  
 トル」即チ中ノ部類ニ屬スルモノトスレバ保存シテアル票札ノ内大及小ニ屬スル  
 票札ノ方ハ調査スル必要ガナクナル從テ十二萬枚ノ内僅カニ中ニ屬スル四萬枚  
 ヲ調べバ善イコトニナル而カモ其ノ人ノ頭横幅ハ小デアルト測定セラレバ  
 此ノ四萬枚ノ内デ頭横幅ガ大若クハ中デアアル部分ノ票札ハ見ル必要ガ無クナル  
 カラ四萬枚ノ内僅カニ一萬三千三百丈ノ票札ニ就イテ調査スレバ宜シイコトニ  
 ナル此ノ如ク順次ニ調査スベキ票札ノ範圍ガ制限セラレテ行クノデアアルカラ十  
 二萬枚ノ中カラ目的ノ人ノ票札カ在ルカ無イカヲ發見スルニハ實ニ數十枚若クハ  
 數枚丈ヲ調べテ見レバ直チニ判明スルノデアアル從ツテ時間ト手數トヲ節約スル  
 コトハ見易キ次第デアアル今氏カ標準トセル十一個ノ點ニ就キ夫レ々々大中小ノ  
 三種ニ區別スルモノトスレバ三ノ十一乘即チ十七萬七百十七種ノ異ツタ配合ヲ

得ラル、コトニナルガ之レ丈ノ多數ノ内カラ或ル一ツヲ搜シ出スコトノ爲メニ  
 僅々二三分ノ時間ヲ要スルニ過ギナイノデアアル  
 ベルテイオン氏ハ此ノ人身測定法ノ外ニモ人相記載法ヲモ研究シテ居ル「ポルトレ  
 ー、パトリート」ノ研究即チ之デアアル「ポルトレー」ハ肖像ト云フ語「パトリート」ハ言語ニ言  
 ヒ表ハサレタルト云フ義デアアル一言ニ云ヘバ人相書ノ記載方ヲ云フノデアアル在  
 來我國デ行ハレテ居ル人相書ハ眉濃キ方眼丸キ方鼻低キ方口元尋常耳ハ俗ニ福  
 耳ト云フ形ナド、實ニ漠然タル記載方デアツテ殆ト捕促スルコトガ出來ナイ然  
 ルニ氏ハ此ノ點ニ就イテモ面白イ所ニ着眼シテ居ル即チ耳ヤ鼻ノ形狀ハ實ニ千  
 態萬狀デアツテ殆ント同一ノモノハナイコトヲ認メ之ヲ人相書キニ記述スルヲ  
 便トシテ居ル例ヘバ耳ニ就イテ云ヘバ耳ノ形狀橢圓形ナノモアレバ卵形ナノモ  
 アル正面カラ見テ全體ガ見ラレル様ニ附イテ居ル耳モアレバ頭顱ノ側面ニ並行  
 シテ附着シテ居ルノモアル又鼻ニ付イテ云ヘバ側面ヨリ見タ際ニ其ノ鼻筋ガ直  
 線ヲ爲スノモアレバ凸形若クハ凹形ニ彎曲シタノモアル而シテ氏ガ耳ヲ記述ス  
 ルニハ耳輪(上部ノ輪廓ヲ指ス)耳朶(俗ニ耳タ)ポト云フ對耳角(顔ノ方カラ耳ノ穴ノ  
 入口ニ向ツテ突出シタ部分)對耳輪(耳輪ニ包マレタ中ニアル髮狀ノ隆起部)全體ノ



形狀特徵等ノ大小又ハ關係的位置若クハ角度若クハ形狀ヲ標準トシ鼻ニ就イテハ鼻根(眼ノ間カラ鼻ノ起ツテ來ル根本ノ處ヲ云フ)鼻筋(側面ヨリ望ミタル時ノ鼻ノ中央部ノ線)鼻底(鼻先ト鼻孔ノ下部トノ間ニ位スル部分ヲ云フ)鼻長(鼻根ヨリ鼻底迄ノ長サ)鼻高(鼻孔ノ下部ヨリ鼻先ニ至ル距離ヲ云フ)鼻幅(正面ヨリ見タル鼻翼ト鼻翼トノ間ノ距離)及特徵ヲ標準トシテ其形狀高底大小等ヲ記載スルノデアアル我國デモ此レ等ノ方法ヲ參酌シテ人相書キノ記載方ヲ定メタイモノデアアル

### 第六款 指紋法

我が國デハ昔カラ文書ノ眞實ナルコトヲ證明スル爲メニ其ノ文書ヲ作成シタ人が自分ノ印章ヲ押捺スル習慣ガアル併シ印章ト云フモノ、發明セラレナカツタ時代ニハ極メテ古イ時代デアアルト文書ニ署名シタ人ハ自分ノ名ノ傍ラニ自分ノ右ノ示指ノ指頭カラ其ノ指ノ第三節ニ至ルマデノ長サヲ直線ニテ表ハシ且ツ其ノ記サレタ直線ノ上ニ第一節ト第二節トノ位置ヲ刻ミ記シテ何人ガ作成シタモノデアアルカラ識別スルコトニシテ居タモノデアアル之レハ恐ラク我國上古ノ人が經驗上人ノ骨格ガ成人ノ曉ニハ一定シテ變更スルモノデナイト云フコトヲ認識シテ之レヲ利用シタモノデアアラウ併シ此ノベルティオン式ニ酷似シタル證明法ハ

久シクハ行ハレナカツタ此ノ方法ハ漸ク手形トカ指印トカ云フ方法ニ依ツテ代ハラレテ仕舞ツタノデアアル換言スレバ署名者ノ異同ヲ辨ズルガ爲メニ右ノ示指ノ寸法ヲ寫ス代リニ右ノ手一面ニ墨汁ヲ塗ツテ之レヲ署名ノ下ニ印象シ若クハ右指指丈ニ墨ヲ塗ツテ其ノ指紋ヲ押捺スルコト、ナツタノデアアル今ノ手形ナル語ハ即チ此ノ證明法ニ語源ヲ發シテ居ル我々ハ往々文書ニ押捺シテアル印影ノ眞偽ヲ鑑別スルニ苦シムコトガアル蓋シ印章ハ元來人工ニ依ツテ製作スル所ノモノデアアルカラ巧ニ模倣スレバ眞物ト殆ト同一ナ印章ヲ複製スルコトガ出來ル併シ手形トカ指印トカ云フモノハ天爲ニ係ルモノデアツテ各人ニ依リテ千態萬機苟モ偶合スルコトハナイ從テ其ノ間ニ模倣ト云フコトハ行ハレ得ナイモノデアアル昔ノ人ハ久シキ經驗ニ依ツテ知ラズ識ラズノ間ニ此ノ事實ヲ覺知シテ證明ノ具ニ供シタモノデアアラウ英人フランシスガルトン氏モ亦此ノ事實ニ着眼シ更ニ一段ノ工夫ヲ凝ラシ以テ指紋法ナルモノヲ案出シ個人識別ノ用ニ供スルニ至ツタノデ爾來ヘンリー氏若クハロッシュル氏ニ依テ益々完成ノ域ニ進ンダノデアアル指紋法ハ英語デハ「ダクテイロス」ト云ヒ獨佛兩國ニ於テモ此ノ語ヲ用キテ居ル



泰西ノ學者ハ獨リ拇印ノミヲ以テ個人識別ノ標準トシナイデ十指ノ指紋ヲ寫シ  
 タ二個ノ人ガ全然同一ノ指紋ヲ有スルコトガアルカドウカヲ驗メシタ所ガサウ  
 イウコトハ稀有絶無デアルトイフコトヲ確メタノデ之レヲ根據トシテ個人識別  
 ノ方法ヲ案出シタノデアアル此ノ指紋ニ依ル個人識別法ガ甚タ有益ニシテ且便利  
 ナル方法トシテ廣ク世界ニ行ハル、ニ至ツタ重モナル理由ハ要スルニ左ノ三點  
 ニ歸着スルノデアアル即チ

一 如何ナル場合ニ於テモ二個ノ人ノ十指ノ指紋カ悉ク一致スルトイフコト  
 ハ決シテ無イト云フ事實

二 指紋ハ人ノ年齢ノ如何ニ依ツテ毫モ變更ヲ來スコトガナイトイフ事實

三 指紋ノ種類ニ依リ夫レ々々〇乃至九ニ至ル十種ノ値ヲ付シ人ノ指紋ヲ數  
 字ニテ言ヒ表ハシ以テ特定人ノ指紋ヲ索出スルコトヲ便利ニシタル點

等デアアル此ノ數字ヲ當テ籍メテ指紋ヲ言ヒ表ハシテ行ク方法ハ追々説明スル所  
 ニ依テ了解セラル、コト、信ズル

凡ソ指紋ニハ俗ニ流<sup>〇</sup>ト稱スルモノト渦卷<sup>〇</sup>ト唱フルモノトノ二種アルコトハ普  
 ク人ノ知ル所デアアル併シ人々ノ指紋ヲ仔細ニ觀察スルト流<sup>〇</sup>レ若クハ渦卷<sup>〇</sup>ト稱ス

ルモノ、中ニモ色々ノ態樣ガアルコトヲ認メル例ハ流<sup>〇</sup>ト通稱シテ居ルモノ  
 、中ニハ弓狀ヲ呈シテ居ルノモアレバ蹄狀ヲ爲スモノモアル又渦卷ト一概ニ云  
 ウテ居ルガ其ノ中ニハ環狀ヲ示シテ居ルノモアルシ渦狀ヲ現ハスモノモアル又  
 蹄狀ヲ爲スト云ウ中ニモ單純ナ蹄狀指紋モアレハ二個ノ蹄狀紋ガ抱合ツタノモ  
 アリ或ハ又蹄狀紋ト環狀紋ト混合シタヤウナ變態ヲ呈シテ居ルノモアル指紋法  
 ヲ大成シタト言ハレテ居ル所ノ獨逸國漢堡府<sup>ハンブルグ</sup>ノ警視總長ロツシエル氏ハ前ニ述ベ  
 タルガ如ク指紋ノ種類ヲ〇乃至九ニ至ル十種ニ區別シ左右兩手ノ各五本ノ指ノ  
 指頭ニ於ケル指紋ヲ一定ノ順序ニ從ツテ指紋用紙ノ上ニ押捺シ其ノ各指紋ノ下  
 ニ夫レ々々所定ノ數字ヲ當テ籍メ此ノ手續ニ依テ排列セラレタル數字ヲ讀ミ下  
 シテ何某ノ指紋番號ハ左手ハ何萬何千何百何十何番デアツテ右手ハ幾萬幾千幾  
 萬幾十幾番デアルト云フ風ニ各個人ノ指紋ヲ數字ヲ言ヒ表ハシテ居ル  
 目下我國ニ於テ監獄並ニ警視廳ニ於テ實行シテ居ル指紋法ハ司法省ニ於テ前記  
 ロツシエル氏ノ指紋法即チ漢堡式指紋法ヲ模範トシ一二ノ點ニ於テ之レニ些少ノ  
 更正ヲ加ヘタモノデアアル此ノ指紋法ニ依レバ先指紋ヲ別チテ

イ 弓狀紋



ロ 蹄狀紋  
ハ 渦狀紋

ノ三種ト爲シ更ニ之レヲ左ノ九種ニ細別シ之レニ順次一乃至九ノ各數字ヲ當テ  
符メテ居ル即チ

- 一 弓狀紋 代用數字 1.
- 二 甲種蹄狀紋 代用數字 2.
- 三 乙種第一蹄狀紋 代用數字 3.
- 四 乙種第二蹄狀紋 代用數字 4.
- 五 乙種第三蹄狀紋 代用數字 5.
- 六 乙種第四蹄狀紋 代用數字 6.
- 七 上流渦狀紋 代用數字 7.
- 八 中流渦狀紋 代用數字 8.
- 九 下流渦狀紋 代用數字 9.

ノ九種デアツテ此ノ外ニ指頭ノ全然缺如セルカ若クハ然ラザル迄モ指頭ノ損傷  
甚シキガ爲メニ指紋ガ不明ニ蹄シタモノニハ0.ヲ以テ其ノ代用數字トシテ居ル

以下是レヨリ右九種ノ指紋ノ如何ナルモノデアアルカヲ略叙シテ見ヤウ

弓狀紋トハ指頭ニ墨汁等ヲ附ケテ紙其ノ他ノ物體ニ押シ着ケラレタル際ニ其ノ  
物體ノ上ニ指頭隆線ニ依ツテ印象セラレタ曲線ガ弓狀ヲ呈シタ場合換言スレバ  
虹ノ如キ形ヲ爲シタ場合ヲ云フノデアアル而シテ此ノ弓狀紋ノ變態トシテハ弓形  
ノ中央部ガ凸形ヲ爲シタノモアル之レヲ天幕狀紋ト唱ヘテ居ル  
蹄狀紋ト云フノハ前ニ述ベタ通り俗ニ「流レト」稱ヘ居ル所ノ指紋デアツテ宛カモ  
馬ノ蹄鐵ヲ右若クハ左リニ傾ケタ様ナ形狀ヲ現ハシテ居ル所カラ命名シタモノ  
デアアル此ノ指紋ヲ甲種乙種ノ二種ニ區別スル標準ハ畢竟流レノ方向ガ手ノ平ニ  
向ツテ其ノ蹄狀紋ヲ有スル指ノ屬シテ居ル手ノ拇指ノ方ニ向イテ居ルカ又ハ其  
ノ小指ノ方ニ赴イテ居ルカト云フ點ニ據ルノデアアル言ヒ換ヘレバ先右手ニ付テ  
甲乙ノ區別ヲ爲スモノトスレバ其ノ手ノ指紋ガ其ノ手ノ拇指ノ方向即チ右ノ方  
ニ流レテ居ル場合ニハ之レヲ甲種蹄狀紋ト云ヒ其ノ小指ノ方向即チ左ノ方ニ流  
レテ居ル場合ニハ之レヲ乙種蹄狀紋ト稱スルノデアアル又左ノ手ニ就イテ甲乙ノ  
區別ヲ爲ス場合デアアルト其ノ方向ハ右ノ手ノ場合ト正反對デアツテ指紋ガ其ノ  
手ノ拇指ノ方向即チ左ノ方ニ行クノヲ甲種蹄狀紋ト呼ビ其ノ小指ノ方向即チ右



ノ方ニ走ルモノヲ乙種蹄狀紋ト名ツケタノデアアル甲種蹄狀紋ニ就テハ別ニ細別ヲ設ケナイ之レハ細別ノ餘地ガ無イ爲メデアハナクテ元來甲種ニ屬スル蹄狀紋ハ餘リ澤山ハナイカラ從ツテ之レヲ區分スル必要ガナイト云フ理由デ細別シナイノデアアル

然ルニ乙種蹄狀紋ト云フノハ其ノ數カ非常ニ多イカラ識別ノ必要上ドシテモ之レヲ細別スル必要ガアル其處デ其ノ指紋ノ外端ト内端トノ間ニ存在スル指頭隆線ノ數ノ多少ニ着眼シテ之レヲ第一乃至第四ノ四種類ニ區別シタノデアアル然ラバ内端トカ外端トカ云フノハ何デアアルカト云フト凡ソ蹄狀紋ニハ必ず其ノ紋ノ中心ニアル蹄線ヨリ斜ニ右下方(左ニ流レテ居ル蹄線ノ場合ニ付テ云フト)若クハ左下方(右ニ流レテ居ル蹄線ノ場合ニ付テ云フト)ニ當ツテ指頭隆線デーツノ三角形ガ作ラレテ居ルモノデアアル指紋學者ハ之レニ對シテ外角ト云フ名ヲ付シテ居ル而シテ所謂内端ト云フノハ中心蹄線ノ頂點若シ中心蹄線ノ内ニ棒狀線ガアル場合デアレバ其ノ線ノ數ノ一個ナル場合ニハ其ノ頂點ヲ内端トシ其ノ棒狀線ノ數ガ多數アツテ其ノ數ガ奇數デアルトキニハ其ノ中央線ノ頂點ヲ内端トシ其ノ數ガ偶數デアルトキニハ其ノ内中央ニ位スル二線ノ頂點ト頂點トヲ結び付ケ

タル假設線ノ中央ヲ内端トスルノデアアルヲ指シテ云ヒ外端ト云フノハ右ノ三角形ノ内角ノ中内端カラ最モ遠距離ニ在ル一角ノ頂點ヲ指スノデアアル而シテ乙種蹄狀紋ヲ細別スル所ノ標準ニナツテ居ル指頭隆線ノ數ト云フノハ此ノ内端ト外端トヲ結び付ケタ假設線ニ依ツテ交叉セラレタ指頭隆線ノ個數ヲ指スニ外ナラナイノデアアル

其處デ此ノ指頭隆線ノ數ノ算定法ハ右ニ述ブル通りトシテ其ノ數ノ幾何マデヲ第一種トシ何本マデヲ第二種第三種トシ幾本以上ヲ第四種トスルカハ規定次第デ如何様ニモスルコトガ出來ル要ハタゞ統計上衡平ヲ保ツ様ニスルノヲ專一トシナケレバナラナイ夫レデ彼ノ漢堡式ノ定メ方ハ如何デアアルカト云フニ同式ニ依ルト其ノ指頭隆線ノ數ガ九箇以下デアルトキハ之レヲ第一種ト爲シ其ノ數ガ十箇乃至十三箇アル場合ニハ之レヲ第二種ト稱シ其ノ數ガ十四箇乃至十六箇アルトキハ之レヲ第三種ト呼ビ其ノ數ガ十七箇以上アル場合ハ總テ之レヲ第四種ト言フテ居ル併シ我國デハ統計ノ結果ニ鑑ミテ前記指頭隆線ノ數ガ一箇乃至七個ヲ算スル場合ヲ第一種トシ八個乃至十一個アル場合ニハ第二種トシ十二個乃至十四個ナレバ第三種トシ十五箇以上ヲ第四種トシテ居ル而シテ是レ等ノ指紋



ニ對シテハ前ニ表ヲ以テ示シタ通り弓狀紋ニ對シテハ(1)甲種蹄狀紋ニ對シテハ(2)乙種第一蹄狀紋ニ對シテハ(3)乙種第二蹄狀紋ニ對シテハ(4)乙種第三蹄狀紋ニ對シテハ(5)乙種第四蹄狀紋ニ對シテハ(6)ノ値ヲ付シテ居ル

渦狀紋トハ俗ニ渦卷ト稱ヘテ居ル所ノ指紋デアアル併シ一瞥シタ所デハ單純ナル渦卷ノ様デアツテモ熟覽スルト實ハ蹄狀紋ノ中心蹄線ノ内ニ單純ナル渦卷ヲ抱容シテ居ル所ノ有胎蹄狀紋デアアルコトモアレバ或ハ二個ノ蹄狀紋ガ互ニ抱キ合ツテ同一ノ方行ニ流レテ居ル所ノ二重蹄狀紋ヲ形ツクツテ居ルコトモアリ或ハ又二個ノ蹄狀紋ガ互ニ抱合ツテ反對ノ方向ニ流レテ行ク所ノ雙胎蹄狀紋ヲ爲スコトモアリ時ニハ又種類ヲ異ニスル所ノ指紋ガ一指上ニ併合シタリ或ハ又全ク特殊ノ指紋カラ成立ツ所ノ變態紋デアアルコトモナイデハナイ而カモ通俗ニハ之レ等ノ指紋ヲ總括シテ廣ク渦卷ト稱シテ居ルガ指紋學上ニ於テモ亦此レ等ノモノヲ併セテ廣義ノ渦狀紋ト呼ンデ居ル

唯茲ニ注意スベキコトハ渦狀紋ニハ必ズ其ノ特徴トシテ指頭隆線ニ依テ形ツクラレル所ノ三角形ガ二ツ存在スルト云フ一點デアアル而シテ渦狀紋ヲ上流中流下流ノ三種ニ區別スル標準ハ即チ此ノ二個ノ三角形即チ外角ノ存在スル位置ノ相

互ノ關係ニ基クノデアアル語ヲ換ヘテ説明スレバ此ノ二個ノ外角ノ中デ左側ニ在ル方ノ外角底邊ヲ爲ス所ノ隆線ヲ右ノ方向ニ向ツテ辿ツテ行ツテ右側ニ在ル外角ノ附近ニ至ルトキハ此ノ隆線ハ右外角ノ左傍邊ト落ち合フカ又ハ右外角ノ底邊ト合スルカ或ハ又右外角ノ上位若クハ下位ヲ通過スルコトモアル而シ此ノ隆線ガ右外角ノ左傍邊ト合スルカ若クハ右外角ノ上位ヲ通過スル場合ニハ其ノ隆線ヲ稱シテ上出隆線若クハ略シテ上出線ト云ヒ其ノ隆線ガ右外角底邊ト合スルカ若クハ右外角ノ下位ヲ通過スル場合ニハ此ノ隆線ヲ呼ンデ下出隆線又ハ單ニ下出線ト云フテ居ル其處デ上出隆線又ハ下出隆線ト右外角ノ底邊ヲ爲ス所ノ隆線トノ間ニ存在スル(換言スレバ右外角ノ外端ヨリ左外角ノ底邊ヲ爲ス所ノ隆線ヲ右方ニ向ツテ辿リ來リタルモノヘ垂直ニ引イタ假定線ニ依ツテ交叉セラル)所ノ隆線ノ個數ガ三個若クハ三個以内デアルトキニハ此ノ種ノ渦狀紋ヲ名ツケテ中流渦狀紋ト云ヒ若シ上出隆線ト右外角トノ間ニ存在スル所ノ隆線ノ數ガ四個以上デアレバ此カル渦狀紋ヲ上流渦狀紋ト呼ビ下出隆線ト右外角ノ底邊トノ間ニ存在スル所ノ隆線ノ數ガ四個以上ナル場合ニハ此ノ如キ渦狀紋ヲ下流渦狀紋ト唱ヘルノデアアル而シテ上流渦狀紋ニ對シテハ(7)ノ數字ヲ當テ籍メ中流渦狀



紋ニハ(8)ノ數字ヲ代用シ下流渦狀紋ハ(9)ノ數字ヲ以テ代表スルコトハ前ニ示シ  
タ通りデアアル

現今ノ指紋學者ガ指紋ヲ如何ニ分類シテ居ルカ其ノ分類ノ標準如何ト云フ問題  
ハ大體右ニ述ベタ所デアアルガ指紋學者ハ何故ニ指紋ノ形狀ノミニ依ツテ分類セ  
ズニ前記ノ如ク面倒ナ方法ニ依ツテ居ルノデアラウカ例ヘバ弓狀紋ノ内ニハ純  
粹ナル弓狀ノモノモアレバ天幕狀ノモノモアル又渦狀紋ノ内ニハ純粹ナル渦卷  
ノ形ノモノモアリ環狀ヲ爲スモノモアリ有胎蹄狀ノモノモアリ二重蹄狀ノモノ  
モアリ雙胎蹄狀ノモノモアリ其他混合紋モアリ變態紋モアル從テ此等ノ形狀ヲ  
標準トシテ適宜九種ニ分ツテ(1)乃至(9)ノ値ヲ付シタラ善サ、ウナモノデアアルノ  
ニ態々蹄狀紋ヲ甲種乙種トシ更ニ乙種ヲ第一乃至第四ニ細別シタリ又ハ渦狀紋  
ヲ上流中流下流ト云フ様ナ了解シ惡イ種類ニ區別シタモノデアラウカ之レハ一  
應誰ノ頭ニモ浮ブ疑問デアアル併シ之レニハ大イニ理由ノ存スルコトデアアル夫レ  
ハ何故カト云フト獨リ指紋ヲ外觀上ノ形態ニ依ツテノミ類別スルコトニナルト  
實際上餘リ遭遇スルコトノナイ指紋例ヘバ天幕狀紋ノ如キモノヲ一ツノ獨立シ  
タル種類トシテ設ケ又ハ最も多ク目ニ觸レル所ノ指紋例ヘバ蹄狀紋ノ様ナモノ

ヲ等シク獨立シタル一種類トスルガ如キ不權衡ナル結果ニ陥ル隨テ若シ特定人  
ノ指紋ヲ發見スル必要ニ迫マラレタ時分ニ若シ其ノ指紋ガ例ヘバ蹄狀紋デアツ  
タ時分ニハ非常ニ數ノ多イ中カラ其ノ特定指紋ヲ索シ出サナケレバナラナイコ  
トニナル從テ分類ト云フコトヲ致シタ利益ハ殆ト全ク滅却セラレルコトニナル  
其處デ學者ハ種々ノ統計ヲ取ツテ見タ結果ニ依ツテ右ニ述ベタ様ナ標準ニ隨ツ  
テ分類シタ所ノ九種類ノ指紋ガ比較的ニ人類一般ニ平均ニ分配セラレテ居ルモ  
ノト認ムルニ至ツタノデアアル

今我國ニ於テ漢堡式指紋法ガ直チニ我國ニ實施セラル、ニ適當デアラウカト云  
フコトヲ研究セントシテ市ヶ谷監獄ニ收監サレテ居タ在監囚人千〇五十七人ニ  
就イテ其ノ指紋ノ取調ベラシテ得タ所ノ結果ニ依ルト指紋ノ數一萬中ニ於ケル  
各種ノ指紋ノ割合ハ左表ノ通りデアツタ

- 一、弓狀紋……………一八一……………
- 二、甲種蹄狀紋……………三八四……………
- 三、乙種第一蹄狀紋……………一六二……………
- 四、乙種第二蹄狀紋……………一四三二……………四八九二……………
- ……………五二七六……………



五、乙種第三蹄狀紋……………二二一〇  
 ……一〇、〇〇〇  
 六、乙種第四蹄狀紋……………一〇八八  
 七、上流渦狀紋……………二〇四〇  
 八、中流渦狀紋……………一〇九四  
 ……四五一六  
 九、下流渦狀紋……………一三八二  
 ○、指頭缺損若クハ指紋缺損……………二七

右ノ統計ヲ一覽シテ見ルト乙種蹄狀紋ト渦狀紋トガ如何ニ多數ヲ占メテ居ルカト云フコトハ一目瞭然デアラウ此ノ割合ヲ見ルト先ニ説明シタ通り學者ハ如何ニ指紋ノ分類ニ就イテ苦心シタカト云フコトガ際立ツテ見止メラル、ダラウ學者ハ此ノ渦狀紋ト蹄狀紋トガ各人ノ間ニ平均ニ割り宛テラレテ居ル標準ヲ求ムルノニ此ノ如ク苦心シタノデアルト云フコトカ判ルデアラウ

指紋法ノ最モ實用ニ適ウテ居ル譯ハ前ニモ再三述べタ通り指紋ヲ數字ニ當テ箝メタ點ニ在ルノデアアル併シ各種ノ指紋ヲ數字ニ依ツテ言ヒ表ハスコトガ極マツタトシテ扱テ左右兩手ノ何レヲ先キニシテ人ノ指紋ヲ表明スベキデアラウカ又其ノ順序ヲ一定シタトシテ一ツノ手ノ指紋ヲ何萬何千何百何十何番ト名命スル

モノトスレバ何レノ指ヲ萬位ニ置キ次ニ何レノ指ヲ千位百位十位單位ニスルカト云フコトヲ決定シナケレバアラナイ

英國ノ指紋學泰斗フランシス、ガルトン氏ノ研究ヲ繼承シ之レヲ完成シテ英國及ヒ英國ノ植民地等ニ指紋法ヲ實施シテ多大ノ功績ヲ收メタト云ハレテ居ル英人ヘンリー氏ノ主張ニ依ルト指紋ヲ數字ニテ表ハスニハ右手ヲ先ニスベク又一手ノ指紋ヲ排列スベキ順序トシテハ拇指ヲ先ニシ次ニ示指、中指、無名指、小指ト云フ順序ヲ逐フベキモノダト言ウテ居ル併シロッシェル氏ノ考案ニ依ルト人ノ右手指ハ左手指ニ比較シテ動モスレバ負傷其ノ他ノ事故ノ爲メニ指紋ヲ毀損セラレ易キモノデアアルカラ指紋番號ヲ作ル標準トシテハ左手ヲ先ニスベキモノデアルト

斷定シ又一手ノ内ニ就イテ云フト拇指ノ指紋ハ統計ノ示ス所ニ依ルト或ル一部ノ種類ニ偏シテ居テ指紋ノ索引上指紋番號ノ起頭ニ置クベキ數字ヲ定ムル基本トシテハ不適當デアアル之ニ反シテ統計上九種ノ指紋ガ最モ平均ニ近ク配當サレテ居ル指ハ示指ヲ措イテ他ニナイト云フコトヲ查定シタノデロッシェル氏ハ左ノ手ノ示指ノ指紋ニ當テ箝メラレタル數字ヲ以テ指紋番號ノ起頭ニ置クニ最モ便利デアルト主張シ其ノ示指ノ次ニハ中指其ノ次ハ無名指其ノ次ハ小指ト云フ順



序ニ指紋該當ノ數字ヲ配置シ最後ニ拇指ノ指紋數字ヲ置クコトニシテ居ル我國ニ於テ實施シテ居ル所ノ方式モ亦之レト異ル所ハナイノデアアル  
 今一例ヲ設ケテ説明スルト茲ニ一名ノ身許不明ノ者ガアル仍テ其ノ指紋ヲ検査シテ見ルト左手示指ハ下流渦狀紋(即チ9)其ノ中指ハ乙種第一蹄狀紋(即チ3)其ノ無名指ハ弓狀紋(即チ1)其ノ小指ハ缺損(即チ0)其ノ拇指ハ上流渦狀紋(即チ7)其ノ人ノ標準指紋番號ハ

93107 即チ第九萬三千百〇七番

ナリト呼ブノデアアル而シテ其ノ人ノ右手ヲ調査シタ結果其ノ示指ハ甲種蹄狀紋(即チ2)中指無名指小指何レモ乙種第三蹄狀紋(即チ5)デアツテ其ノ拇指ハ中流渦狀紋(即チ8)デアルトスレバ其ノ者ノ右手ノ指紋番號即チ副指紋番號ハ

25558 即チ第二萬五千五百五十八番

ト呼ブベキデアアル其處テ此ノ正副指紋番號ヲ最モ簡便ニ表示スル爲メニ指紋學者ハ左ノ如キ分數式ヲ用キテ居ル

93107

25558

從テ此ノ特定人ノ身許ヲ知ラウトスレバ豫テ保存シテアル數十萬ノ指紋原紙中

正指紋番號第九萬三千百〇七號ノ原紙ヲ取出シ同時ニ其ノ者ノ右手ノ指紋番號ガ此ノ副指紋番號ナル第二萬五千五百五十八番ニ符合スルカ否カト云フコトヲ見定メレバ良イノデアアル  
 凡ソ指紋法ナルモノハ前述ノ通り人ノ左右兩手ノ各五指ヲ分數式ニ表ハスモノデアアルカラ其ノ有ラユル組合ハセ方ヲ想像スルト結局

00000 乃至 99999  
 000000 乃至 999999

即チ百億種ノ多數ニ上ルコトニナル而シテ指紋法ハ數字ヲ以テ索引ニシテ居ルカラ此ノ百億種ノ中ヨリ特定ノ指紋ヲ索出スノ勞ハ字典ニ就イテ所要ノ文字ヲ索ムルヨリモ更ニ一層簡便デアアル從テ苟モ指紋原紙ヲ作製スル際ニ誤謬ヲ遺サナケレバ如何ナル大國ノ國民全部ニ對シテ此ノ指紋法ヲ實施シテモ個人識別ノ目的ハ完全ニ達セラルベキデアアル而シテ之レハ空論デナイ例ヘバ我國ノ現狀ニテハ人ノ出生死亡ハ必ズ届出ヲ爲スベキコトニナツテ居テ又夫レハ十歳ニ勵行セラレテ居ルカラ單ニ出生者死亡者ノ氏名ヲ記シテ届出ツルニ止メズニ其ノ出生届ナリ又ハ死亡届ナリニ其ノ出生者又ハ死亡者ノ指紋ヲ添ヘテ届出デシムルコトニスレバ個人ノ識別ハ遺算ナク其ノ目的ヲ遂ゲ得ラル、ニ相違ナイ而シテ



之レガ實行セラル、コトニナルト何人モ自己ノ氏名ヲ詐稱スルコトハ出來ナイ  
 從テ前科包藏ナド、云フコトハ不可能ノコトニナル  
 指紋法ヲ普及スレバ獨リ氏名詐稱者若クハ前科包藏者ヲ看破スル上ニ於テ效用  
 ヲ顯ハスノミデナクツテ犯罪摘發ノ上ニ於テモ非常ナル效益ヲ供スルコトハ見  
 易キノ理デアアル吾人ノ指紋ガ一々其ノ筋ニ判ツテ居ルトスレバ假リニ人跡稀レ  
 ナル一曠野ニ於テ斬殺セラレタル一ノ屍體ヲ發見シタル場合ヲ想像スルニ其ノ  
 指紋ヲ取調ベレバ其ノ死者ノ何人デアアルカハ直チニ判明スルコトデアアル而シテ  
 若シ其ノ死者ノ身邊ニ他人ノ指紋ヲ印象シテアルコトガ判レバ其ノ指紋ハ聽テ  
 犯人捜査ノ有力ナル端緒ニナル此ノ如ク死者ノ何人デアアルカ又其ノ死者ニ觸接  
 シタル人ガ何人デアアルカト云フコトガ分レバ殺人犯人其ノ人ヲ捜シ出スコトハ  
 掌中ノ物ヲ搜ルヨリモ容易デアラウ之レハ殺人罪ニ就テノ話デアアルガ例ハ盜  
 罪ニ就イテ考ヘテモ指紋ハ極メテ有力ナル手係リニナルデアラウ例ハ錠前ヲ  
 外サウトスル時分ニハ犯人ハ左手ノ五ツノ指ヲ以テ其ノ錠前ヲ掴ムニ相違ナイ  
 然ルニ指頭ガ緊ク押シ着ケラレ、指頭隆線カラ分泌セラル、所ノ汗液ハ必ズ  
 其ノ押サヘラレタ物體ノ上ニ指紋ヲ印象スルモノデアアル故ニ後ニ追々説明スル

所ノ方法ニ依ツテ其ノ種ノ指紋痕跡ヲ明瞭ニシテ之レヲ撮影シ指紋原紙ニ就イ  
 テ其ノ指紋ヲ遺シタ人ノ何人デアアルカヲ取調ベレバ其ノ盜犯ノ何人デアアルカト  
 云フコトモ自然ト判明スルニ違イナイ  
 此ノ如ク指紋ハ人ノ識別上極メテ簡便デアツテ又確實ナノデアアルカラ一日モ速  
 ク之レヲ國民全體ニ向ツテ實施シ人事一切ニ就イテ便宜ヲ供スルヤウニシタイ  
 モノデアアル近來警視廳ニ於テ犯罪ノ捜査上此ノ指紋法ヲ應用シテ着々效ヲ奏シ  
 ツ、アルノハ誠ニ悅バシイ現象デアアル既ニ其ノ效果ガ認めラレテ來タ以上ハ何  
 トカシテ指紋ヲ戶籍法ノ届出ノ内容トシテ實施シテ見タイト思フ一々指紋ヲ押  
 シテ届ケルト云フコトハ届出ヲ爲ス者ニ於テ煩ニ堪ヘナイトノ説ヲ爲スモノガ  
 アルカモ知レナイガ寧ロ今日ノ身分届ニ付テ鎖末ノコトニ付イテ一々訂正ヲ強  
 ユルニ比スレバ指紋ヲ押捺シテ文字ノ届出ニ換ヘル方ガ届出者ハ便利ニ感ズル  
 デアラウ假リニ届出者ヲシテ指紋ヲ捺シテ提出セシムルハ不適當デアルトシテ  
 モ戶籍ニ關スル吏員ガ出生者死亡者ノ許ニ就イテ指紋ヲ徴シテ來ルコトニスレ  
 バ差支ナカラウ要スルニ實行方法ハ如何様ニモ出來ルコトデアアルカラ十分ニ此  
 ノ指紋法ヲ普及セシムル必要ガアルト信ズルノデアアル



## 第二節 犯罪事實證明法

犯罪ハ一定ノ人ニ依リ特定ノ人若クハ其ノ集合體ニ對シテ行ハル、モノデ其ノ加害者タリ又ハ被害者タル人ノ異同ヲ辨スル方法ハ既ニ前節ニ於テ説明シタ所デ明カデアラウ從テ次ニ來ルベキ問題ハ一ノ特定人ガ他ノ特定人ニ對シ如何ナル罪ヲ犯シタルカヲ明カニスルコトデアアル吾ガ輩ハ之レヨリ重モナル犯罪ニ付キ其ノ立證上注意スベキ事項ヲ説カウト思フノデアアルガ各種ノ犯罪ニ就イテ説ク前ニ先何レノ犯罪ニ就テモ之レガ立證上必ズ明確ニシナケレバナラナイ事項ヲ第一款總論ト題シテ略叙シ次ニ第二款各論ノ標題ノ下ニ最モ頻繁ニ遭遇スル所ノ犯罪事實ニ就イテ研究ヲ進メヤウト思フノデアアル

### 第一款 總論

各種ノ犯罪ハ夫レ々々特別ノ犯罪構成條件ヲ具備シテ初メテ成立スルモノダト云フコトハ既ニ諸君ノ知ル所デアアル從テ各種ノ犯罪事實ヲ立證スルニ當リテ着眼スベキ要點ハ夫レ々々異ナルノデアアル併シ犯罪ノ日時ト場所ト手段トハ必ズ總テノ犯罪ヲ通ジテ明カニシナケレバナラナイ問題デアアル犯罪ノ日時ガ不明デ

アツラハ犯罪ノ成立不成立ヲ判定シ若クハ刑ノ適用ヲ爲スコトガ出來ナイ犯罪ノ場所ガ不確實デアツテハ我が國ニ處罰權アリヤ否ヤ又處罰權アル場合ニ於テモ裁判管轄ノ有無ヲ決スルコトガ出來ナイ犯罪ノ手段ガ不明瞭デアアル時分ニハ犯罪事實其ノモノ、存否ガ不確實ニ歸スル憂ガアル夫故ニ吾輩ハ本款ニ於テハ聊カ犯罪ノ日時場所並ニ手段ニ付テ説明ヲ試ミルコト、シタ

### 第一項 日時

吾人ハ犯罪ヲ捜査スルニ當リテハ常ニ犯罪カ何時行ハレタカト云フコトヲ闡明シナケレバナラナイ之レハ單ニ事實關係ヲ明カニスル上ニ於テ必要ガアルノミデハナク法律上ノ問題トシテ是非犯罪ノ日時ヲ明確ニシナケレバナラナイ而シテ法律上ノ問題トシテハ犯罪ノ日時如何ニ依ツテ實體法上犯罪ノ成立不成立ガ分カレタリ又手續法止其ノ犯罪ニ對スル公訴權ガ消滅スルト否トノ差ヲ生ズルノデアアル故ニ日時ノ點ハ犯罪ノ檢察上誠ニ大切ナル問題デアアル併シ茲ニ犯罪ノ日時ト云フノハ必シモ何年何月何日何時何分ト云フガ如キ正確ナル日時ノミヲ意味スル譯デハナイ場合ニ依リテハ明治何年中トカ又ハ何年ヨリ何年ニ至ル間ト云フガ如キ長期間ヲ明カニスルノミニテモ差支ハナイ要之日時ヲ舉示スルノ



精粗ハ各場合ニ應ジテ適宜ニ其ノ程度ヲ決スル外ナイノデア  
 日時ヲ明カニスルニ付テノ實體法上ノ必要ト云フノハ例ヘバ一定ノ所爲ニ對シ  
 刑罰法令ノ改廢アリタル場合ニ於テ其ノ所爲ガ舊法施行ノ當時ニ行ハレタノデ  
 アラウカ又ハ新法施行後ニ發生シタノデアアラウカヲ決シナケレバ新舊何レノ法  
 令ヲ適用スベキカ斷ズルコトガ出來ナイ換言スレバ其ノ所爲ニ對シテ刑ノ改廢  
 ノ結果犯罪不成立トナルニハアラザルカ若クハ少クトモ輕重何レノ刑ヲ科スベ  
 キモノデアアルカヲ定ムルコトガ出來ナイコトニナル又他ノ例ヲ以テ説明スレバ  
 一ノ犯罪ガ行ハレタル日時ニ於テ犯人カ果シテ責任能力ヲ有シテ居タカドイカ  
 例ヘハ犯人ガ其ノ當時滿十四歲前後デアツタトカ又ハ嘗テ精神病ノ爲メ心神ヲ  
 喪失シタ時代ガアツタトカ云フ様ナ場合ニハ犯罪ノ日時ヲ精確ニ立證スルコト  
 ハ頗ル必要ナコトニナル更ニ他ノ例ヲ設クレバ犯罪ノ種類ニ依ツテハ一定ノ時  
 ヲ以テ犯罪ノ構成要件トスルコトガアル即チ刑法第百七十六條第百七十七條(猥  
 褻ノ罪)ノ如キハ被害者タルベキ人ノ年齢ガ十三歲以上ナルト十三歲以下ナルト  
 ニ依ツテ法ノ適用ヲ異ニシテ居ルシ又同法第二百二十四條(略取誘拐ノ罪)ノ如キ  
 ニ在ツテハ被害者ノ年齢二十歲未滿ナルコトヲ條件トシテ居ルノデアアル從ツテ

是レ等ノ場合ニ於テハ犯罪ノ日時ヲ確實ニ證明スルコトヲ要スルノデア  
 併シ實體法上犯罪ヲ構成スル場合デアツテモ其ノ犯罪ノ成立後一定ノ日時ヲ經  
 過スルト云フト最早國家ハ之レニ對スル訴追權ヲ失フコト、シテアル夫故ニ吾  
 人ハ手續法上カラ見テモ亦タ犯罪ノ日時ヲ明瞭ニシテ置カナケレバナラナイ刑  
 事訴訟法第八條(刑法施行法第三十八條ニ依リ改正)ノ規定スル所ニ依ルト國家ガ  
 犯罪ヲ訴追シ得ベキ期間ニ付イテ左ノ如キ制限ガアル即

- 一、死刑ニ該ル罪ニ付テハ十五年
- 二、無期又ハ長期十年以上ノ懲役若クハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ十年
- 三、長期十年未滿ノ懲役又ハ禁錮ニ該ル罪ニ付テハ七年
- 四、長期五年未滿ノ懲役若クハ禁錮又ハ罰金ニ該ル罪ニ付テハ三年
- 五、刑法第百八十五條ノ罪(即チ單純賭博罪)ニ付テハ一年
- 六、拘留又ハ料科ニ該ル罪ニ付テハ六月

以內ニ公訴ヲ提起シナケレハ最早國家ハ起訴權ヲ失フノデアアル之レヲ公訴ノ時  
 效期間ト稱シテ居ル右刑事訴訟ノ規定ハ通則デアツテ此ノ通則ニ依ラズニ特別  
 ノ公訴時效ヲ規定シテ居ル法律ハ多クアル特別法ノ犯罪ヲ檢舉スルニ當テハ最



モ留意ヲ要スルコトデアアル若シ一ノ犯罪ニ關スル時効ノ完成シ居ルコトニ心附カズシテ之レヲ檢舉シ進ンテ起訴セラレタ時分ニハ裁判所ハ其ノ刑事被告事件ニ付テハ公訴不受理ノ言渡ヲ爲スノデアアル故ニ時効ノ起算點タル犯罪ノ成立時期ハ是非之レヲ明カニシナケレバナラナイ

尙ホ一ツ特ニ注意ヲ要スベキ場合ガアル其レハ實體法ト手續法トニ跨ツタ問題デアアルガ彼ノ一事不再理ト云フコトハ刑事訴訟法上ノ大原則デアアル例ヘバーノ竊盜犯人ガ某家カラ時計ト衣類トヲ同時ニ竊取シタノデアアルガ時計ヲ竊取シタ事實ノミニ付テ確定判決ヲ受ケタ後ニ其ノ犯人ハ衣類ヲモ竊取シタノデアアルコトガ發覺シテモ最早其ノ犯人ハ衣類ヲ竊取シタ點ニ付テ裁判ヲ受クベキモノデハナイ何故カト云ヘバ其ノ犯人ノ所爲ハ一ツデアツテ一ツノ品物毎ニ各別ノ犯罪ガ成立シテ居ル譯デハナイカラデアアル之レト同様ニ或ル商店ノ雇人ガ某年某月某日ヨリ某年某月某日マテノ間ニ雇主ノ取引先ヨリ度々受取ツタ金ヲ横領シタト云フ事實ニ付テ其ノ金額ハ合計千圓デアアルト認定セラレテ確定判決ヲ受ケタ場合ニハ其ノ後右期間内ニ右千圓ノ外ニ尙一萬圓横領シ居リタルコトガ發覺シテモ最早其ノ一萬圓ニ付テハ公訴ヲ提起スルコトハ出來ナイノデアアル夫レハ

此カル犯罪ハ繼續ノ犯意ヲ以テ政行セラレタル所謂連續犯テアツテ唯一個ノ犯罪ヲ構成スルニ止マルカラデアアル從テ此カル犯人ノ餘罪ガ發覺シタル場合ニハ最モ注意シテ犯罪ノ日時ヲ確メ確定判決ヲ受ケタル犯罪ト離レテ一ノ別罪ヲ構成スルカドトカヲ調査シナケレバナラナイ

以上ハ國內法ニ關シテ論ジタノデアアルガ裁判權ニ關スル國際條約ノ變更シタル場合等ニ在リテハ犯罪日時ノ分秒ノ差ニ依ツテ或ル犯人ニ對スル我が裁判權ノ有無ガ分カレルノデアアル

又一ノ犯罪ニ關スル證據ノ問題トシテ犯罪ノ日時如何ガ千鈞ノ重ミヲ爲ス場合ガアル例ヘバ或ル犯罪ガ特定ノ場所ニ於テ特定ノ時ニ行ハレタリトスル場合ニ於テ若シ被告人ハ其ノ當時ニハ其場所ト著シク遠隔セル場所ニ居リタルモノトスレバ其ノ被告人ハ眞ノ犯人ニアラズト見做ス外ハナイコトニナル此カル場合ニハ最初犯罪ノ日時ヲ的確ニ査定シテ置カナケレバナラナイ

犯罪ノ日時ヲ的確ニ査定スルノ材料トシテ有力ナルモノハ日誌、信書、電信、證書、帳簿、新聞、雜誌、曆等ノ類デアアル而シテ之レ等ノモノガ犯罪ノ罪體ヲ爲シ居ル場合デアレバ直チニ其ノ日附ニ依ツテ犯罪ノ日時ヲ明カニスルコトガ出來ルガ假リニ



モ留意ヲ要スルコトデアアル若シ一ノ犯罪ニ關スル時効ノ完成シ居ルコトニ心附カズシテ之レヲ檢舉シ進ンデ起訴セラレタ時分ニハ裁判所ハ其ノ刑事被告事件ニ付テハ公訴不受理ノ言渡ヲ爲スノデアアル故ニ時効ノ起算點タル犯罪ノ成立時期ハ是非之レヲ明カニシナケレバナラナイ

尙ホ一ツ特ニ注意ヲ要スベキ場合ガアル其レハ實體法ト手續法トニ跨ツタ問題デアアルガ彼ノ一事不再理ト云フコトハ刑事訴訟法上ノ大原則デアアル例ヘバーノ竊盜犯人ガ某家カラ時計ト衣類トヲ同時ニ竊取シタノデアアルガ時計ヲ竊取シタ事實ノミニ付テ確定判決ヲ受ケタ後ニ其ノ犯人ハ衣類ヲモ竊取シタノデアアルコトガ發覺シテモ最早其ノ犯人ハ衣類ヲ竊取シタ點ニ付テ裁判ヲ受クベキモノデハナイ何故カト云ヘバ其ノ犯人ノ所爲ハ一ツデアツテ一ツノ品物毎ニ各別ノ犯罪ガ成立シテ居ル譯デハナイカラデアアル之レト同様ニ或ル商店ノ雇人ガ某年某月某日ヨリ某年某月某日マテノ間ニ雇主ノ取引先ヨリ度々受取ツタ金ヲ横領シタト云フ事實ニ付テ其ノ金額ハ合計千圓デアアルト認定セラレテ確定判決ヲ受ケタ場合ニハ其ノ後右期間内ニ右千圓ノ外ニ尙一萬圓横領シ居リタルコトガ發覺シテモ最早其ノ一萬圓ニ付テハ公訴ヲ提起スルコトハ出來ナイノデアアル夫レハ

此カル犯罪ハ繼續ノ犯意ヲ以テ敢行セラレタル所謂連續犯デアツテ唯一個ノ犯罪ヲ構成スルニ止マルカラデアアル從テ此カル犯人ノ餘罪ガ發覺シタル場合ニハ最モ注意シテ犯罪ノ日時ヲ確メ確定判決ヲ受ケタル犯罪ト離レテ一ノ別罪ヲ構成スルカドトカヲ調査シナケレバナラナイ

以上ハ國內法ニ關シテ論ジタノデアアルガ裁判權ニ關スル國際條約ノ變更シタル場合等ニ在リテハ犯罪日時ノ分秒ノ差ニ依ツテ或ル犯人ニ對スル我が裁判權ノ有無ガ分カレルノデアアル

又一ノ犯罪ニ關スル證據ノ問題トシテ犯罪ノ日時如何ガ千鈞ノ重ミヲ爲ス場合ガアル例ヘバ或ル犯罪ガ特定ノ場所ニ於テ特定ノ時ニ行ハレタリトスル場合ニ於テ若シ被告人ハ其ノ當時ニハ其場所ト著シク遠隔セル場所ニ居リタルモノトスレバ其ノ被告人ハ眞ノ犯人ニアラズト見做ス外ハナイコトニナル此カル場合ニハ最初犯罪ノ日時ヲ的確ニ査定シテ置カナケレバナラナイ

犯罪ノ日時ヲ的確ニ査定スルノ材料トシテ有力ナルモノハ日誌、信書、電信、證書、帳簿、新聞、雜誌、曆等ノ類デアアル而シテ之レ等ノモノガ犯罪ノ罪體ヲ爲シ居ル場合デアレバ直チニ其ノ日附ニ依ツテ犯罪ノ日時ヲ明カニスルコトガ出來ルガ假リニ



犯罪事實其ノモノニハ何等ノ關係ナシトスルモ尙ホ之レ等ノ文書ノ作成セラレタル日時ト關係人ノ記憶トノ關係ニ依ツテ犯罪ノ日時ヲ推測スル參考トナルコトガ多々アル

犯罪ガアツテカラ長時日ヲ經過シタ後ニ犯罪ノ日時ヲ知ラウトスルノハ甚々困難ナ仕事デアル此カル場合ニハ被害者モ關係人モ將タ又犯人自身スラ犯罪ノ行ハレタ日時ヲ遺忘シテ居ルコトガ多イ併シ吾人ハ勉メテ彼等ノ記憶ヲ喚起セシムル手段ヲ講ジナケレバナライ單ニ遺忘シタリトノ答辯ヲ聞イテ失望シテハナラナイ例ヘバ被害者ニ對シテ某品ヲ盜マレタル年月日如何ト問ハハ恐ラク之レヲ即答スルハ稀ナコトデアラウ此カル場合ニハ其ノ衣類ヲ所有スルニ至ツタ原由之レヲ所有シテカラ何年程使用シタルヤ被害ノ當時若クハ之レハ接近セル時期ニ被害者ノ身上若クハ社會上特ニ注目スベキ出來事アラザリシヤ被害ノ當時ハ春夏秋冬何レノ季節ナリシヤ夜間ナリシヤ日中ナリシヤ被害當時何レカノ官署ニ届出等ヲ爲サハリシヤ等種々ノ方面ヨリ試問スレバ大抵犯罪ノ日時ヲ知ルコトガ出來ルモノデアアル親戚故舊ノ出生死亡水火震災冠婚葬祭日曜大祭日社寺ノ祭日忌日縁日等ノ如キハ人ノ記憶ヲ喚起スル上ニ於テ有效ナル手掛リデア

ル殊ニ婦女子ニ在ツテハ衣服裝飾物ニ關スル記憶ハ非常ニ強固ニシテ且緻密ナモノデアアル之レヲ要スルニ吾人ガ就イテ問ハントスル相手方ノ人物職業年齢等ニヨリ最モ記憶シ居ルベシト認メラレタル事項ニ基イテ記憶ヲ喚起セシムルコトニ努メナケレバナライ

我國ニ於テハ太陽曆ヲ以テ年月稱呼ノ標準トシテ居ルノデアアルガ從來久シク太陰曆ヲ使用シ來ツタ情勢デ今モ尙ホ太陰曆即チ舊曆ヲ以テ月日ヲ呼ブモノガナイデハナイ否都會ニ於テコソ舊曆ヲ使用スル者ハ稀デアアルガ僻陬ノ地方デハ今ダニ太陽曆ハ普及シテ居ラナイ加之寧ロ舊曆ヲ以テ月日稱呼ノ原則ノ如ク心得テ居ルノデアアル之レハ一ニハ在來舊曆ニ依ツテ農業上ノ仕事ヲ處理シテ居タ爲メ今モ夫レニ依ツテ播種移植培養收穫等ヲ爲スノヲ便利ナルガ如ク感ジテ居ルカラデアアラウ兎ニ角之レ等ノ人ニ就イテ取調ヲ爲スニ當ツテハ日時ニ關スル問答ヲ爲ス毎ニ新舊何レノ曆ニ從ツテ問答スルカヲ確カメナイト非常ナ間違ヲ生ズルコトガアル此カル事ハ都會人士ノ眼カラ見ルト殆ト信ジ難イヤウデアアルガ地方ニ於テハ曆ノ錯誤ヨリ事件ノ真相ガ甚ク誤マラレタ實例ハ決シテ少クナイカラ其ノ邊ハ十分ニ注意シナケレバナライ



## 第二項 場所

七〇

犯罪ハ特定ノ人ニ依リ特定ノ人ニ對シ特定ノ時ニ於テ行ハル、ト同時ニ必ズ又特定ノ場所ニ於テ行ハル、ノデアル人事ハ場所ヲ離レテ存在スルモノデナイ從テ犯罪モ亦タ場所ノ觀念ヲ離脱スルコトハ出來ナイ然ラバ何ヲ犯罪ノ場所ト云フノデアラウカ夫ハ外デハナイ犯罪ヲ構成スル所ノ所爲ノ一部分ガ發生シタル空間ノ一區劃ヲ指スノデアル例ヘバ甲ノ地ニ在ルモノガ乙ノ地ニ在ル者ヲ殺傷シヤウトシテ銃砲ヲ發射シ之レガ爲メ乙ノ地ニ在ル者ガ殺傷セラレタ場合ニハ犯罪ノ場所ハ殺傷行爲ニ着手シタ當時其ノ犯人ガ居ツタ所ノ甲地ト所期ノ目的タル殺傷ノ結果カ其ノ犯人ノ所爲ニ依ツテ發生シタル乙地トノ間ノ地域ヲ總稱スルノデアル更ニ他ノ例ニ就イテ云ヘバ横領罪ノ場合ニ於テハ自己ノ占有ニ歸シテ居ル地人ノ物件ヲ擅ニ自己ノ所有物トスル意思ヲ行爲ノ上ニ實現セシメタル土地例ヘバ借用物受託物等ヲ入質賣却若クハ費消シタル土地ハ即チ其ノ横領罪ノ犯テレタル場所トナルノデアル又不行爲犯ノ場合ニ例ヲ借リテ説明スレバ犯人ガ必要ノ行爲ヲ爲スベカリシ場所即チ法令ノ命ズル所ノ届出トカ登記トカ云フ様ナ行爲ヲ爲スベカリシ筈ノ官公衙ノ所在地ハ即チ此カル不作爲犯罪ノ犯罪

地ト認ムルノデアル換言スレバ法律ハ不作爲ノ爲メ或ル惡結果ノ生ズルコトヲ防止センガ爲メニ之レヲ罰スルノデアルカラ其ノ惡結果ノ生ジタル場所ガ即チ犯罪地ニナルノデアル要之犯罪ノ構成要件タル手段ガ多岐ニ渉ル場合ニハ其ノ犯罪ノ場所モ亦タ多方面ニ跨ルコトニナルノデアル

吾人ハ犯罪ヲ捜査シ之レヲ檢舉スルニ當ツテハ必ズ其ノ行ハレタル場所ヲ明確ニシナケレバナラナイ蓋シ犯罪ハ其ノ行ハレタル場所ノ如何ニ依ツテ犯罪ガ成立シタリ又ハ不成立ニ歸スルコトガアルカラデアル例ヘバ刑法第九十二條ニ外國ニ對シ侮辱ヲ加フル目的ヲ以テ其ノ國ノ國旗其ノ他ノ國章ヲ損壞除去又ハ汚穢シタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ外國政府ノ請求ヲ待ツテ其ノ罪ヲ論ズル旨ノ規定ガアル然ルニ一面ニ於テ此ノ犯罪ガ帝國外ニ在ル帝國臣民ニ依ツテ犯サレタ場合ニハ刑法第二條並ニ第三條ニ於テ此カル犯人ニ對シ帝國刑法ヲ適用スベキ旨ノ規定ガナイカラ結局之レヲ罰シ得ナイコトニナル從ツテ外國政府ヨリ其ノ國ノ軍艦ニ掲揚セル國旗ガ日本ノ臣民ニ依ツテ損壞セラレタルノ理由ヲ以テ其ノ帝國臣民ニ對スル處罰ヲ要求シテ來タ場合ニ於テハ其ノ果シテ我が帝國內ニ於テ犯サレタモノデアルカドカヲ確定シナケ



レバナライニ而シテ取調ベノ結果其ノ犯罪ハ公海上ニ於テ犯サレタノデアルト  
 カ又ハ外國ニ於テ犯サレタノデアルト云フコトニナレバ其ノ犯人ニ對シテハ刑  
 法第九十二條ヲ適用スルコトハ出來ナイノデアアル之レニ反シテ若シ犯人ガ帝國  
 ノ領土若クハ領海内カラ公海ヲ航行スル外國艦船ニ掲揚スル國旗等ヲ損壞シタ  
 様ナ場合デアレバ損壞ノ結果ハ帝國外ニ於テ發生シタノデアツテモ損壞行爲ハ  
 帝國內デ行ハレタノデアアルカラ之レニ對スル外國政府ノ處罰要求アリタル以上  
 ハ之レニ對シテ刑法第九十二條ヲ適用シナケレバナライノデアアル  
 右ハ犯罪ノ場所如何ニ依ツテ犯罪ノ成立不成立ノ分カル、一例デアアルガ時ニ依  
 ツテハ犯罪ノ場所ガ刑罰ノ輕重ノ分カル、標準ニナルコトガアル彼ノ刑法第百  
 三十一條ノ侵入罪ノ如キハ其ノ一例デアツテ侵入ノ場所カ皇居、禁苑、離宮、行在所  
 神宮又ハ皇陵デアアル場合ニハ普通ノ家宅侵入罪ヨリモ重キ制裁ヲ科スルノデア  
 ル故ニ此ノ種ノ犯罪ヲ檢舉スルニ當ツテハ特ニ犯罪ノ場所ヲ明カニシナケレバ  
 ナライノデアアル

以上説明シタル所ハ専ラ實體法ニ關スル事デアアルガ手續法ノ上カラ觀察スルモ  
 亦タ犯罪ノ場所ヲ確定スルコトハ頗ル重要ナル問題デアアル夫レハ何故カト云フ

ニ刑事訴訟法ノ規定スル所ニ依ルト裁判所ノ土地ノ管轄ハ犯罪地又ハ被告人所  
 在地ニ依ツテ定マルノデアアルカラ犯人ノ所在地以外ニ於テ其ノ者ノ犯罪ヲ認知  
 シ之レヲ檢舉シヤウトスレバ犯罪ノ場所カ何レノ地ニナツテ居ルカヲ精査シナ  
 ケレハナライ、若シ此カル場合ニ犯罪ノ場所ヲ明カニセスニ若クハ之レヲ誤認  
 シタル儘漫然公訴ヲ提起スルトキハ或ハ管轄違ノ裁判ヲ言渡サル、コトニナル  
 ノガアル

犯罪場所ヲ明カニスルコトハ實體法上若クハ手續法上ノ見地ヨリ必要ナルノミ  
 ナラス事實問題トシテモ亦頗ル重切ナル事項デアアル若シ犯罪ノ場所ノ調査ヲ怠  
 ルトキニハ時ニヨツテ甚シク事相ヲ錯ルコトガアル犯罪ノ場處ノ調査ニ就イテ  
 ハ實況見分若クハ檢證ノ題目ノ下ニ説明スル機會ガアルト思フガ今一例ヲ以テ  
 如何ニ大切ナ問題デアアルカト云フコトヲ説明シテ見ルト茲ニ不正品ト認メラル  
 ヲ物件ヲ所持スル者ガアルノデ之レヲ捕ヘテ取調ベタ處ガ其ノ者ハ終ニ某ノ家  
 ニ忍入ツテ竊取シタノデアルト自白シ尙忍入ル方法トシテハ引窓ヲ開イテ這入  
 ツタノダト申立テタ然ルニ被害者方ノ實地ニ就テ取調ベテ見ルト其ノ住宅ハ西  
 洋造リノ家屋デアツテ引窓ノ裝ハナク却テ賊ハ硝子窓ヲ破ツテ侵入シタ形跡カ



著シイ其處デ更ニ虚偽ノ自白ヲ爲シタル犯人ヲ嚴密ニ取調ヘテ見ルト實ハ本人  
自身カ竊取シタノデハナク竊盜ヲ爲シタモノハ別ニ在ツテ其ノ者カラ贓品ヲ買  
ツタノデアアルガ本人ハ免カレヌ罪デアルト云フノデ自カラ盜犯ナルガ如ク自白  
シテ眞實ノ盜犯ヲ曲庇シタコトガ分ツタト假定シテ見ヨ若シ現場ノ調査ヲ遂ケ  
スニ輕々シク最初ノ申立ヲ信ジタナラバ贓物故買者ニ對シテ竊盜ノ刑ヲ科スル  
ト云フ誤謬ヲ生スルノミナラス眞ノ竊盜犯人ヲ見落スト云フ失體ニ歸着スルノ  
デアアル夫レデアアルカラ犯罪ノ行ハレタル場所ヲ明カニシ其ノ調査ヲ爲スニ當ツ  
テハ最モ周密ナル注意ヲ拂ハナケレバナラナイ之レハ何デモナイコトノヤウデ  
アルガツイ調査ヲ忽セニシ勝デアアルカラ特ニ一言スルノデアアル

### 第三項 手段

犯罪ハ其ノ種類ニ依ツテ夫レ々々其ノ手段ヲ異ニスルノミナラズ同一種類ノ犯  
罪デアツテモ其ノ手段方法ハ千態萬様デアアル故ニ犯罪ヲ檢舉スルトキハ常ニ其  
ノ各個ノ場合ニ於ケル手段方法ヲ具體的ニ精査シナケレハナラナイ同シク殺人  
犯デモ其殺害手段トシテハ刃物ヲ用フルモノモアレバ銃砲ヲ使フ場合モアルシ  
或ハ又劇藥ヲ投藥スルノモアル又竊盜犯ニ付テモ陶模ノ方法ニ依ルノモアリ邸

宅ニ侵入スルモアリ又ハ店頭ヨリ商品ヲ拉シ去ルノモアル其ノ他詐欺犯ノ如キ  
ニ至ツテハ其ノ手段方法雜多ニシテ枚舉スルニ遑ナイコトデアアル吾人ニシテ若  
シ其ノ手段方法ヲ究メナイ時ハ果シテ如何ナル犯罪カ成立シテ居ルノカ判斷ス  
ルコトガ出來ナイ場合ガ起ツテ來ル抑モ他人ノ財産ニ對シテ侵害ヲ爲ス犯罪中  
ニハ其ノ重モナル種類トシテハ左ノ三大別ガアル

○横領罪即チ被害者カ犯人ニ對シテ任意ニ交付シ置キタル財物ヲ領得ノ意思  
ヲ以テ擅ニ處分スル罪

○詐欺罪及恐喝罪即チ被害者カ任意ニ財物ヲ交付シタルハ犯人ガ被害者ヲ欺  
罔シタルニ因ルカ若クハ之レヲ畏怖セシメタル結果ナル場合

○強盜罪及竊盜罪即チ犯人カ暴行脅迫ヲ加フルカ若クハ暴行脅迫以外ノ方法  
ニ依ツテ被害者ノ意ニ反シテ財物ヲ奪取スル場合

ガ即チ夫レデアアル是等ノ犯罪ハ其ノ手段ヲ詳密ニ調査シテ見ナイト詐欺犯ヲ竊  
盜犯ナルガ如ク見錯ル場合ガアリ又詐欺罪ヲ横領罪ナルガ如ク誤認スル場合ガ  
起ツテ來ル

例ヘハ茲ニ商家ノ店頭ニ行ツテ商品ヲ買ハントスル體ニ裝ツテ之レヲ持チ去ツ



タ犯人カアツタトセヨ吾人ハ之レ丈ノ事實ヲ知ツタノデハ其ノ者ハ詐欺ノ罪ヲ犯シタノデアルカ竊盜罪ヲ犯シタノデアルカ到底判定スルコトガ出來ナイ然ルニ調査ヲ進メタ結果犯人ハ最初一圓ノ商品ヲ買取りタイト申入レ品物ヲ提供セシメタ上所持金ハ十圓紙幣バカリデアルカラ釣銭ヲ貰ライタイト云ツタノデ夫レガ爲メ店員カ釣銭ノ勘定ヲ爲シツツアル間ニ商品ヲ持ツテ逃ケタト云フコトガ判ツタトスレバ之レハ犯人カ被害者ノ隙ヲ視ツテ商品ヲ盗ンダモノト見ルノガ相當デアアル何故カト云フニ成ル程犯人カ品物ヲ買フ様ナ風ヲシタノハ偽リノ手段デアアルニハ相違ナイガ夫レハ詐欺ヲ以テ隙ヲ拵エタ迄デアツテ品物ヲ引渡サセル爲メニ詐欺ヲ構ヘタノデハナイ又被害者ノ見地カラスルモ其ノ商品ヲ未タ任意ニ引渡シタ次第デハナイカラデアアル換言スレハ此ノ場合ニハ商人ハ犯人ノ詐術ニ欺カレテ任意ニ被害品ヲ交付シタト云フヨリハ寧ロ釣銭ト共ニ商品ヲ引渡サントシテ釣銭ノ勘定ヲシテ居ル隙ニ其ノ意ニ反シテ持チ去ラレタモノト認メラルハカラデアアル

反之若シ同一例ニ於テ犯人ガ商店ノ店員ニ對シ此ノ商品ヲ買取ルカラ某所マデ持參同道シテ吳レト命シ持參ノ途中ニ於テ更ニ十圓紙幣ニ對スル釣銭ヲ持參セ

ヨト命シタル爲メ店員ハ之レヲ信ジ商品ヲ犯人ニ引渡シ歸店シタル間ニ犯人ハ其ノ商品ヲ携ヘテ姿ヲ隠シタリトスレバ被害者ハ犯人ノ詐言ヲ信シタル結果任意ニ被害品ノ占有ヲ犯人ニ移シタルモノト云フヘキデ此カル所爲ニ對シテハ詐欺ノ法條ヲ擬スヘキモノデアラウ

更ニ他ノ例ヲ設ケテ説明スレバ同シク犯人カ他ヨリ借り受ケタル物件ヲ擅ニ賣却若クハ入質シタ場合デアツテモ若シ借り受ケルト同時ニ入質シタト云フ事實デアレハ借用ハ名義ニ止マツテ其ノ實其ノ品物ヲ質入シテ金ヲ拵ヘルコトカ眼目デアルト見ナケレハナラナイ從テ此ノ如ク最初ヨリ質却若クハ質入レノ意思ヲ有シテ居ツタ場合ハ詐欺罪ト見ルベキテアル若シ之レト事實ヲ異ニシ最初ハ誠意ヲ以テ借受ケタノデアアルガ借受後ニ至ツテ惡意ヲ生ジ之レヲ處分シタモノトスレバ此カル行爲ハ横領罪ヲ構成スルニ止マルモノト認メナケレバナラナイ

犯罪行爲ハ以上陳ヘタ通り其ノ外形ニ於テハ大差ナイヤウデアアルガ意ヲ用キテ事實ヲ調査スルト誠ニ微妙ナル點ニ於テ犯罪ノ種類ガ分カタレルモノデアアル

察事務ニ従事スル者ハ宜シク之レ等ノ點ニ留意スヘキデアアル

犯罪ノ手段ヲ明カニスルコトハ犯罪ヲ捜査シ檢舉スル上ニ於テ往々多大ノ便宜



ヲ與ヘルモノデアル何故カト云ヘバ彼ノ最モ惡ムベキ常習犯罪者ハ各自職業的ニ熟練シタル獨特ノ手段方法ヲ用フルカラデアル從テ拘摸犯人カ土藏破リヲスルヤウナコトハ原則トシテ無イコトデアルーノ常習犯人ハ常ニ同一ノ犯罪手段ヲ用フルモノデアルカラ若シ同一手段ニ依ル被害カ多數現ハレルコトガアレハ夫レハ恐ラク同一人ノ所爲デアルト見テ蓋支ナイ場合ニ依ツテハ其ノ手段ノ特徵ニ依ツテ其ノ犯人ハ何某ナルベシトマデ豫言スルコトガ出來ル位デアル故ニ吾人ハ常習犯罪者ニ對シテハ豫メ罪名別ニ從ツテ帳簿ヲ作製シ且犯罪ノ手段方法ニ簡單ナル名稱例ヘハ拘摸搔拂萬引等ノ如シヲ付シ之レヲいろは順ニ排列シテ見出シニ便ナラシメ各標目ノ下ニ夫レ夫レ同一ノ犯罪手段ヲ慣用スル常習犯人ノ氏名前科等ヲ記載シ犯罪ノ手段方法ニ特徴アル犯罪事件ニ付テ捜査ヲ爲スニ當ツテハ一應此帳簿ニ就イテ調査ヲスルコトニシテ置ケバ同一犯罪手段ニ熟達セル常習犯罪者ノ中何某カ最近ニ出獄シタナド、云フ様ナ事實ヲ發見スレハ捜査上或ハ夫レカ有力ナル手掛ニナルコトモアラウ

之レハ犯罪ノ手段其ノモノデハナイガ犯罪ノ發覺ヲ防止スルニ付テハ犯罪者カ如何ニ苦心スルモノデアルカラ隙アルノハ強チ無益ノコトデアアルマイ犯罪者

ノ怖ル、所ハ刑罰其ノモノデハナクテ犯罪ガ暴露シテ檢舉セラル、點ニアルノテアル從テ犯罪檢舉ノ方法ガ進歩スル丈ケ發覺防止ノ手段モ益々巧妙ニナルノハ勢ノ免カレナイ所デアアル近來殺人犯人カ被害者ノ何人デアルカラ認知シ難イヤウニ死體ヨリ首級ヲ切り離ストカ又ハ強盜犯人カ罪跡ヲ緝得スル爲メニ被害者ノ家人ヲ殺殺スルトカ又ハ更ニ進ンデハ其ノ死體及財産共ニ之レヲ燒燬スルト云フ様ナ方法ガ頻々トシテ實行セラル、ノハ蓋シ此ノ理由ニ基クノデアアル犯人ハ又往々ニシテ豫メ詐術ヲ施シテ捜査官ノ見込ヲ錯ラシメ其ノ視線ヲ他ニ轉セシメントスル場合ガアル例ヘハ私怨ノ爲メニ人ヲ殺害シタル場合ニ恰カモ強盜等カ押入リテ被害者ヲ殺害シタル體ヲ裝フ爲メニ特ニ家財ヲ散亂セシメ若クハ其ノ一部ヲ持去ルガ如キコトモアル或ハ又犯罪ヲ實行スルニ先ダチテ豫メ檢舉セラレタル際ニ利益ノ爲メニ使用スヘキ反證ヲ準備シ置クモノモアル例ヘハ或ル人ノ印章ヲ偽造シタル場合ニ之レヲ使用シテ詐欺罪等ヲ犯サントスルニ先ツテ其ノ人ガ嘗テ眞正ノ印ヲ使用シテ作成シタル文書ヲ保存シアル官公衙ニ臨ミテ其ノ舊書類ヲ偽造印ヲ使用シテ作成シタル同様ノ書類ト拘リ替ヘ置キテ他日之レヲ立證ノ用ニ供スルガ如キハ即チ其ノ一例デアアル其ノ他逃走ニ際シ追跡



ノ鋭録ヲ避クル爲メ後口向キニ步行シテ實際逃走シタルト反對ノ方向ニ向ツテ逃ゲタ様ニ逆ニ足跡ヲ印スガ如キ例モアル故ニ捜査ノ職ニ當ルモノハ常ニ或ル事實ヲ輕シク信ジテハナラナイ犯罪ノ捜査ヲ爲スニ當テハ一定ノ方針ヲ立ツルコトハ固ヨリ必要デハアルガ方針ヲ立ツルマデニハ十分ニ事實ヲ玩味シテカ、ラナイト捜査ノ時機ヲ失スルニ至ルコトガアル

第二款 各論

本款ニ於テハ各種ノ犯罪ニ就キ其ノ證據トナルヘキ徵憑ヲ蒐集スルニ當リ注意スヘキ事項ヲ説明シヤウト思フノデアアル併シ總テノ犯罪ニ付テ一々研究スルコトハ煩ニ堪エナイコトデアツテ又餘リ實益ノナイコト、考ヘルカラ吾人カ日常最モ頻繁ニ遭遇スル所ノ犯罪ニ就テ述ベルコトニスル  
然ラバ如何ナル犯罪ガ最モ頻繁ニ行ハレテ居ルデアラウカ試ミニ明治四十二年度ノ調査ニ依ツテ見ルト同年度ニ有罪ノ確定判決ヲ受ケタ刑法犯被告人ノ總數ハ九萬三千三百十六人デアツテ其ノ内千人以上ヲ占メテ居ル犯罪ヲ摘示スルト左ノ通りデアアル

一、賭博及富籤ニ關スル犯罪人

三五、一四四人

二、強盜盜犯

二八、四四四人

三、詐欺及恐喝犯

八、二六八人

四、橫領犯

四、九四四人

五、傷害犯

四、八九六人

六、失火及放火犯

二、九六七人

七、贓物犯

一、九三七人

八、各種偽造犯

文書偽造犯	一、二二三
有價證券偽造	一、五六
印章偽造犯	一、四九
通貨偽造犯	一、一六

一、六四四人

之レニ次テ五百人以上ノ者ヲ舉ゲテ見ルト

一、殺人犯

六四〇人

二、過失傷害犯

五七二人

三、墮胎犯

五一五人

デアアル即チ九萬三千三百十六人ノ内八萬九千九百七十一人ハ右ノ犯罪ヲ犯シテ



居ルノデアアル從テ以上掲ゲタ犯罪ガ主トシテ社會ニ現ハレテ來ルモノト見テ差支ハアルマイ但シ以上述ベタ處ハ刑法犯ニ限局シテアル特別法犯ニ就テ云ヘバ同年度ニ於テ別ニ四萬七千九百二十五人ノ犯罪者ガアツタノデ其ノ内千人以上ニナツテ居ル犯罪ハ徵兵令違犯ノ五千五百八十五人ヲ筆頭トシテ陸軍召集條例、森林法、廳府縣令酒造税法、娼妓取締規則、煙草專賣法、陸軍服役條例、狩獵法、漁業法等ノ違反ガ之レニ次イデ居ルノテアル而シテ最后ガ古物商取締法違犯ノ千五百三十三人ト云フ順序ニナツテ居ル併シ特別法違犯事件ハ大抵主務官署デ捜査告發ノ手續ヲ取ツテ居ルカラ之レハ特別ノ研究ニ讓ルコトニスル吾輩ハ第一章ニ於テ檢察機關ノコトヲ論ジタガ其ノ際ニ警視廳ノ第一部刑事課捜査係デハ明治四十四年四月一日以來一種ノ分業法ヲ採用シ捜査事務ヲ十一ノ主任ニ分配シ之ニ適任ナル警部及刑事巡查ヲ配置シテ居ルコトヲ説明シタ此ノ事務分配法ハ理論ノ上カラ云フト何等ノ根據ヲ見出サナイノデアアルガ右ニ述ベタ所ノ統計ニ表ハレテ居ル事實ト對照シテ考ヘテ見ルト實務上平均ヲ得タル分配法デアツテ便宜且ツ有益ナ仕組デアルト思フ唯ダ統計上最モ多數ヲ占メテ居ル所ノ賭博富籤犯ニ對シテ何故一ノ主任ヲ置カナカツタカト云フ疑問ガ起ルデアラウガ之レニハ

一ノ理由ガアル蓋シ此種ノ犯罪ニ對シテハ舊刑法ニ於テハ現行ヲ認メナケレバ罰シナイト云フ規定ニナツテ居タノデ勢ヒ受持部内ヲ警邏シテ居ル巡查ガ此ノ種ノ犯罪ヲ現認シ之レヲ所屬警察署ニ急報シテ檢舉スルト云フ實況デアツタノデ今モ其ノ舊慣ヲ脱シナイノミナラズ又此ノ方法ガ便利デアアル所カラ謂ハバ各警察署ノ檢舉ニ任セ唯偶マ捜査係ノ方デ認知シタ事件ハ雜犯ヲ扱フ主任ガ檢舉スルト云フニ止メタモノデアラウ又放火竝ニ失火ノ罪モ隨分多數ヲ占メテハ居ルガ其ノ數字ノ大部分ガ失火罪デアルト云フコトハ勿論デアツテ此ノ犯罪モ亦各警察署ノ檢舉ニ一任シタ方ガ便利デアアルカラ特ニ一ノ主任ヲ設クルコトヲシテカツタノデアラウ反之殺人犯ノ如キハ統計ノ示ス所六百四十人ニ過ギナイガ罪質頗ル重大デアアルノミナラズ犯罪發覺當時ニ於テハ往々ニシテ統計上四千八百九十六人ノ多數ヲ占メテ居ル所ノ傷害犯ト紛ラハシイ場合モアルコトデアアルカラ特ニ一ノ主任ヲ設ケタノデアアル而シテ都下ニ重大ナル殺傷事件カ發生シタ場合ニハ認知警察署ノ司法警察官ハ直チニ之レヲ檢事竝ニ刑事課ニ急報シ殺人犯主任ハ現場ニ出張シ認知司法警察官署ト協力シテ犯罪ノ檢舉犯人ノ逮捕ニ努ムルノデアアル又竊盜犯ハ賭博犯ヲ除イテハ最モ多數ヲ占メテ居ル犯罪デアツテ



且ツ社會ノ安寧ヲ破ルコト重大デアルノミナラズ窃盜ノ手段ニハ種々ノ專門ガ  
 アツテ之レガ捜査ノ任ニ當ル者モ夫レ夫レ事情ニ通ズル必要ガアルカラ窃盜犯  
 ノ主任ヲ三種ニ區別シテアル猥褻姦淫重婚ノ罪ニ就テハ先ニ其ノ犯人ノ數ヲ揭  
 グナカツタガ之レ亦甚タ少イモノトハ云ヘナイ統計ノ上ニ表ハレタ所デハ三百  
 九十五人デアツテ五百人以下ニ位スル犯罪中デハ第三番目ノ位地ヲ占メテ居ル  
 ノミナラズ風俗ノ維持上十分ニ意ヲ用フヘキ性質ノ犯罪デアルカラ一ノ主任ヲ  
 置イタノデアラウ此ノ主任ヲシテ兼ネテ少年犯ノ捜査事務ヲ擔當セシメタノハ  
 少年犯モ亦感化事務ト密接ナ關係ガアリ老功穩健ナル主任ヲシテ取扱ハシメル  
 必要ガアルカラデアラウ要スルニ此ノ分類ハ實務上カラ云フト大體ニ於テ便利  
 ナ組織デアルト信スルカラ本款ヲ説明スルニ就テハ此ノ警視廳ノ事務分配ノ制  
 ニ則ツテ項ヲ別ツテ見ヤウト思フ

### 第一項 殺人犯

殺人犯ニハ既遂ノ場合ト未遂ノ場合トニ依リ事實證明上ノ用意ヲ異ニシナケレ  
 バナラナイ殺人既遂ノ事件ニ遭遇シタ場合ニハ先ツ其ノ被害者ノ何人デアルカ  
 ヲ確定スルノ必要ガアル之レニ就テハ個人識別法ニ就テ陳ヘタ所ヲ利用シ得ル

場合が多々アル或ハ死者ノ携帶スル名刺ニ依テ其ノ姓名ヲ知り其ノ人ノ周圍ニ  
 ハ如何ナル人カ密接ナル關係ヲ有シテ居ルカラ辿リ得ル場合モアラウシ又指紋  
 法ヲ利用シテ其ノ何人デアルカラ發見シ得ル場合モアラウ而シテ其ノ何人デア  
 ルカト云フコトガ分レバ其ノ人ヲ殺害スルコトニ依リテ如何ナル欲望ガ達セラ  
 ル、デアラウカ例ヘバ其ノ人ヲ殺害スルニ依ツテ有形的ノ利益ヲ獲ル人ガアツ  
 タデアラウカ若シアツタトスレハ其ノ利益ガ果シテ被害者ノ死亡ニ依ツテ下手  
 人ニ奪ヒ去ラレタノデアルカ或ハ又其ノ被害者ノ死亡ニ依ツテ鬱憤ヲ露ラスコ  
 トノ出來ル人ガアルデアラウカ若シアルトスレハ其ノ人ハ被害者ノ死亡後如何  
 ナル態度ヲ示シテ居ルカラ注目シナケレバナラヌ而シテ其ノ加害者カ略ボ判明  
 シタトシテモ其ノ者ガ犯行ヲ敢テスル當時果シテ殺意ヲ持テ遂行シタノデアラ  
 ウカ其ノ邊モ研究ヲ要スル問題デアル被害者ハ死亡シテ居ル以上ハ一應殺意ニ  
 出デタモノデハアルマイカトノ疑ガ起ルノデアアルガ場合ニ依ツテハ必シモ夫レ  
 程ノ意思ニ基イタノデナイト云フコトモアル

殺意ノ有無ヲ判斷スルニハ加害ノ手段ガ如何ニアツタカト云フコトヲ探究スル  
 ニ越シタコトハナイ即チ其ノ手段ニ於テ犯人ガ相手方ノ致命ヲ豫期シタ形跡ガ



アルカドールカ例へバ犯人が他人ノ咽喉ヲ絞メタ場合トシテモ單ニ襟首ヲ締メタ  
 丈デアアルカ紐類ヲ以テ緊縛シタカ又兇行ニ用キタ器具ガ銃砲類デアツタカ刃器  
 デアツタカ刃器トシテモ刀劍ノ如キモノヲ用キタカ小刀ノ如キモノニ過ギナカ  
 ツタカ其ノ器具ノ精粗利鈍ト云フ様ナ點ハ有力ナル判断ノ資料デアアル又犯人ガ  
 被害者ノ何レノ局部ニ向ツテ襲撃シタカ例へバ頭部デアツタカ頸部デアツタカ  
 將タ胸部デアツタカ抑モ又手足ノ様ナ急處以外ノ部局ニ過キナカツタカ其ノ邊  
 モ參考スベキ點デアアル又被害者ノ被ツテ居ル傷害ノ數モ注目スヘキ點デアラウ  
 何トナレハ之レニ依ツテモ犯人ガトレ程ノ決心ヲ持ツテ襲撃シタカ又創傷ノ種  
 類ニ依ツテハ共犯人ノ有無モ推測シ得ラル、カラデアアル  
 茲ニ特筆スベキコトハ殺傷事件ニ就イテハ往々正當防衛論ノ起ルコトデアアル之  
 レヲ判断スルニハ被害者ニ於テ果シテ犯人ニ危害ヲ加ヘントシタ形跡ガアルカ  
 加害者ヲ襲撃シ若クハ之レト抗爭シタ證據ヲ存スルヤ否ヤ被害者ノ所持品ハ何  
 デアツタカ加害者ニ對シテ危害ヲ加ヘル丈ノ材料ヲ携帯シタデアラウカ是等ノ  
 點モ豫メ精査スヘキ事項デアアル  
 又假リニ被害者ガ犯人ニ對抗スル丈ノ兇器ヲ持ツテ居タトシテモ強チ正當防衛

ノ辯解ヲ信スヘキ限リデハナイ何故カト云フニ被害者ト犯人トハ時ニ決闘ヲ約  
 シテ居テ之レヲ決行スルト云フ場合ガナイトハ云ヘナイ若シ果シテ左様ナ事實  
 デアツタトスレバ正當防衛ドコロデハナクテ決闘條例違犯ト殺傷罪トノ併發事  
 件ニナルノデアアル決闘ニ付テハ普通介添人トカ立會人トカ云フモノガアル之レ  
 等ノ點ニモ觀察ヲ怠ラズニ真相ヲ穿ツコトヲ期シナケレバナラヌ要スルニ殺傷  
 事件ニ付テハ第一手段第二結果第三原因ト云フ風ニ諸方面ヨリ斷罪資料ヲ集メ  
 ナケレバナラナイノデアアル

## 第二項 強盜犯

強盜犯ノ事件ヲ取調ベルニハ犯人ガ如何ナル暴行脅迫ヲ加ヘタカ換言スレバ被  
 害者ハ犯人ノ如何ナル行爲ニ依ツテ精神上將タ肉體上ノ自由ヲ喪失スルニ至ッ  
 タノデアアラウカ其受ケタル壓迫ノ程度如何ト云フコトニ着眼スベキデアアル例へ  
 ハ婦女子ノミノ家庭ニ夜間侵入シテ家人ノ眼前ニ於テ悠然財物ヲ奪ヒ去ルト云  
 フヤウナ場合デアレバ假令無言ノ裏ニ犯罪カ遂行セラレタモノトシテモ強盜ノ  
 罪ヲ構成スルモノト見ルガ相當デアラウ成ル程皮相ノ見カラ云ヘバ何等暴行脅  
 迫ヲ用キナイヤウデアアルガ現ニ家人カ目睹シ居ル場合ニ悠然侵入シ來リ公然財



物ヲ撰擇スルト云フ様ナ行爲ハ應テ家人ニ對シテハ反抗ノ餘地ナカラシムル暴行デアリ脅迫デアルト思フ強盜事件ニ於テハ犯人自身ハ左マデ畏怖セシムル意思ナクトモ被害者ノ側ニ於テハ甚ダシク恐怖スルノガ通例デアル例ヘバ小刀ヲ示サレテモ短刀ヲ振り廻ハサレタヤウニ感ジ棒片ヲ刀劔ナリト誤認シ玩具ヲ拳銃ナルガ如ク思フモノデアル之レ等ノ事情ハ捜査ノ際十分ニ察シナイト間違ヲ來スコトニナル更ニ例ヲ更ヘテ晝間多數ノ壯丁ヲ雇使シテ居ル商店等ノ店頭へ行ツテ暴行ヲ加ヘントスル態度ヲ示シテ金品ヲ提供セシムルガ如キ所爲ハ其ノ外形ニ於テハ前ノ例ヨリモ恐ロシイヤウデアアルガ其ノ實恐喝取財ヲ以テ論ズルノガ相當デアラウ

強盜犯ノ捜査上注意スヘキ點ハ例ヘハ犯人元ハ竊盜ノ目的ヲ以テ他人ノ家ニ侵入シタ場合デアツテモ財物ノ取還ヲ防ク爲メ又ハ逮捕ヲ免カレル爲メニ暴行脅迫ヲ加ヘルト強盜罪ヲ以テ論スルコトニ規定セラレテ居ルカラ單純ノ竊盜罪デアルヤウニ認メラレル場合デアツテモ犯行後此ノ如キ事實ガアツタカドイカト云フコトノ調査ヲ忘レテハナラナイ

新刑法ニ於テハ舊刑法ト違ツテ強盜罪ハ必シモ財物ヲ奪取シタ場合ノミナラズ

暴行脅迫ニ依ツテ財産上ノ利益ヲ得タリ又ハ他人ヲシテ得セシメタ場合ニモ成立スルモノデアルト云フコトヲ忘レテハナラナイ又新刑法ニ於テハ強盜罪ニ付テハ未遂ノ場合ノミナラス豫備ノ所爲ヲモ罰シテ居ル其處デ或ル舉動不審ノ者ヲ捕ヘタ時分ニ其ノ者ガ強盜ノ豫備ヲシテ居タノデアラウカ抑モ亦竊盜ノ豫備中ニ過キナカツタカト云フ様ナ問題ガ起ルコトモアルデアラウ此カル問題ハ誠ニ認定上困難ナコトカ多イガ目的ガ何レニ在ツタカト云フコトハ四圍ノ狀況カラ推測スル外ハナイノデアル例ヘハ犯人ハ強盜ノ前科ガアルカドイカ前科ナシトスルモ素行上此カル前科者ニ劣ラザルモノデアアルカドイカ犯罪ノ時刻如何服裝ハ如何覆面ヲ爲シ居リシヤ否ヤ兇器ヲ携ヘ居リシヤ否ヤ所持セリトスレハ其ノ兇器ノ性質如何細針金等人ヲ縛スルニ適セル物件ヲ有セシヤ否ヤ他ニ共謀者ノアル模様ナリシヤ否ヤ犯罪ノ行ハルヘシト想像セラレタル場所ハ人煙稠密ノ處ナリヤ又ハ人家稀ナル地ナリシヤ等ノ諸點ヲ細密ニ調査シテ見ルト粗ホ推測スルコトガ出來ヤウ近來強盜犯ハ確カニ劇増ノ傾ガ見エルカラ豫備犯ヲ嚴罰スルコトモ必要デアラウ從テ之レ等ノ點ニ就テハ十分ニ注意シテ捜査スベキデア



### 第三項 竊盜犯(但忍、明巢、土藏破、邯鄲、置引、搔拂、萬引、拘摸)

忍竊盜ト云フノハ人ノ居住スル邸宅内へ密カニ侵入シテ財物ヲ持チ去ル者ヲ云フノデアアル之レ等ノ盜犯ハ最モ熟練ヲ要スルモノデアツテ竊盜ヲ職業トスル累犯者ニ多ク見ル所デアアル從テ忍竊盜ノ被害ノアツタ時分ニハ其ノ忍入りタル方法ヲ精査シ同様ノ方法ヲ慣用スル前科者ヲ中心トシテ捜査ヲ進メルノガ便宜デアアル熟練ヲ積ンダ手段方法ハ輒ク變更スルモノデハナイ例へバ線香ノ火デ錠ヲ燒切ルトカ引窓ヨリ忍入ルトカ土臺下ヲ掘ツテ屋内ニ這入ルトカ掃除口ヨリ侵入スルトカ云フコトハ夫レ夫レ犯人ノ特技トシテ居ル所デアアル且又此ノ種ノ盜犯ハ一番大キナ仕事ヲスルモノデアアルカラ贓品ヲ捌ク道ヲ豫メ講ジテアルモノデアアル故ニ常習犯人ニ就テハ如何ナル故買者ト特約ヲ結ンデ居ルカ何人ノ手ヲ經テ平素入質賣却等ノ處分ヲシテ居ルカヲ内偵シテ居ルコトガ必要デアアル而シテ一ノ被害ガアツテ其ノ犯人ハ誰デアアルカ當リガ附イタラバ先其ノ犯人ガ平素贓物ヲ處分シテ居ル方面ニ向ツテ被害品ノ廻ハツタ形跡ガアルカドウカヲ探査スレハ見込カ當ツタカドウカ速ニ判明スル

明巢ト稱シテ居ルノハ一時家人ガ家ヲ明ケタ間ニ其ノ家ノ財物ヲ竊取スルノヲ云フノデアツテ之レハ比較的初步ニ屬スル盜犯デアアル併シ其ノ方法ガ簡易デアアル丈ニ被害ノ數ハ多イノデアアル捜査ノ方針トシテハ特記スル程ノコトハナイ土藏破ト云フノハ專ラ倉庫ノ外壁ヲ切り破ツテ其ノ中ニ這入り財物ヲ奪ヒ去ルモノデアアル俗ニ娘師トモ唱ヘル倉庫ニハ白壁アリテ恰カモ白粉ヲ塗リタルノ觀アルト加フルニ倉庫ニハ腰卷ト稱シ地上四五尺程ノ處ニ厚壁ヲ周ラシテ居ルノデ倉庫ノコトヲ娘ト呼ブ爲メデアアル土藏破ハ一ノ専門的犯罪デ職業犯人ノ外ハ殆ド犯スモノガナイト云フテ宜シイ又此ノ犯人ニハ大抵二人位ノ共犯者ガアツテ一人ハ藏ヲ破ツテ内部ニ侵入シ財物ヲ投ゲ出ス一人ハ夫レヲ引纏メテ運搬ノ準備ヲスル又一人ハ見張ヲスルト云フノガ通例デアアル夫レデアアルカラ捜査ヲスルニハ之レ等ノ事情ニ注目シナケレバナラナイ又土藏破ノ犯人ハ普通ボート雖鋸鑿懷中電燈等ヲ準備シテ居ルモノデアアル犯人ガ之レ等ノ要具ヲ所有スルヤ否ヤモ探索シ證據品ノ蒐集ニ力メナケレバナラナイ置引ト云フノハ銀行トカ停車場待合室トカ云フ様ナ込合ヒノ場所ヘ行ツテ人ガ脇キニ置イタ靴ノ上へ底ノナイ靴ヲ被フセテ持ツテ來ルトカ似寄ノ財布ト拘リ



替へテ取ツテ來ルト云フ遺リ方デ此ノ犯罪ニモ共犯人ノアルコトガ多イ例ヘバ  
 一時被害者ノ視線ヲ財物ノ方カラ轉ゼシムル爲メニ共犯人ノ一人ハ何カ問合ハ  
 セル風ヲ裝ウテ話シ掛ケ他ノ一人ハ其ノ間ニ仕事ヲスルノデアアル夫故被害者取  
 調ノ際ニハ被害當時他ニ話掛ケタ者トカ又ハ混雜ニ紛ラシテ足ヲ踏ンダトカ又  
 喧嘩ヲ挑ンダトカ云フ様ナモノ、有無等ヲモ明カニシテ置イテ共犯者ヲ遁ガサ  
 ヌ様ニ注意シナケレバナラナイ

邯鄲ト云フノハ又ノ名ヲ枕索シトモ云フ即チ宿屋等人ノ宿泊スル所ヘ雇ハレタ  
 リ又ハ同宿シタリシテ宿泊客ノ睡眠中ニ其ノ所持金品ヲ竊取スルモノヲ稱スル  
 ノデアアル邯鄲ノ蘆生ガ一欸ノ夢ニ人生ノ榮枯盛衰常ナキコトヲ悟ツタト云フ偶  
 話ニ因ンデ邯鄲師ト呼ブノデアアル即チ他人ノ夢寐ノ間ニ物ヲ取ルノ謂デアアル之  
 レモ一種ノ職業犯デアアル此ノ犯人ハ被害者ト或ル時間同宿スルノデアアルカラ大  
 抵人相服裝等ハ判明スルモノデアアル從テ此ノ方面ヨリ捜査スルノガ捷徑デアアル  
 現今旅人宿業者ニ對スル取締リ規定トシテ一定ノ宿泊人名簿ヲ備ヘ之レニ宿泊  
 客ノ氏名年齢身分職業住所原籍滞在ノ目的發着年月日時行先等ヲ初メトシテ其  
 ノ者ノ着衣人相ヲモ記載セシムルコトニシテアル併シ嚴密ニ勵行シテ居ラナ

イコトガ往々アルカラ遽カニ其ノ帳簿ノ記載ヲ輕信セズ精査シケレバナラナイ  
 イ又犯人ハ往々ニシテ旅館ノ使用人側ニ存スルコトガアルカラ必シモ同宿人ノ  
 方面ノミヲ取調ヘズニ使用人中ニモ經歷上疑ヲ置クベキ者ガアルカナイカ例ヘ  
 ハ使用人甲ハ元他ノ旅館等ニ雇ハレテ居タトスレバ其ノ旅館ニモ嘗テ同様ノ被  
 害ガアリハシナカツタカト云フ様ナ點ニモ注意スベキデアアル  
 搔拂ト云フノハ家人ノ隙ヲ見テ入口等手近ニ置イテアル物品ヲ持去ル者デ例ヘ  
 ハ靴下駄傘外套等一二點ヲ竊取スルノデアアル此ノ犯罪ハ少年犯人ニ多イ店先ニ  
 陳列シタ商品ヲ僅カノ隙ニ奪フノガ殊ニ多イ何レモ贓額ハ些細ノモノデアアル板  
 ノ間稼ト云ウテ入浴客ノ金品ヲ持チ去ルノモ此ノ犯罪ノ一種デアアル此ノ種ノ犯  
 罪ハ贓物が僅少デアアル丈ニ檢舉ニ困難デアアル現行犯若クハ準現行犯ノ場合デナ  
 イト多クハ擧ガラナイヤウデアアル併シ之レ等ノ犯人ガ贓物ヲ處分スル先ハ多ク  
 古物行商俗ニ紙屑屋デアアルカラ此ノ營業者ニ對スル視察ヲ怠ラズニ居レバ相當  
 ノ結果ハ得ラル、ノデアアル

萬引トハ主トシテ商家ノ店頭ニ行ツテ買物ヲ爲ス風ヲ裝ウテ種々ノ商品ヲ提出  
 セシメ之レカ撰擇ヲ爲ス體ニ見セ掛ケ店員ノ隙ヲ窺ヒ商品ヲ掠メ取ルノデアアル



此ノ犯罪ニハ職業犯人モ多イコトデアアルガ又全ク出來心デ犯スノモ決シテ少ク  
 ナイ而シテ犯人ニハ女子ガ多イト云フコトハ著シイ事實デアアル之レハ一ツニハ  
 女子デアルトヨモヤ此ノ如キ惡事ヲ働キハシマイトノ店員ノ油斷ガアルカラデ  
 アラウ從ツテ故買犯人中ニハ娘子軍ヲ組織シ之レヲ處々ノ吳服店等へ派遣シテ  
 萬引ヲ働カセ其ノ贓品ヲ買取ルモノモ往々アル甚ダシイノニナルト故買者ハ能  
 々萬引稼ノ婦女ヲ引率シテ地方巡業マデモスルノデアアル之レ等犯罪組合ニ就テ  
 ハ其ノ系統ヲ豫メ調査シ組合員ノ動靜ヲ視察シ例へバ祭典共進會賣出等ノアル  
 地方ニ向ツテ組合員ガ出動シタ形跡ガアツタナラバ直チニ行先管轄ノ警察官署  
 等ニ如何ナル者ガ入込ミタルカヲ通牒シ捜査ノ便ニ備ヘル様ニシナケレバナラ  
 ナイ之レ等ノ者ガ行先地ヲ引揚グルトキノ荷物又ハ滯在中發送スル荷物ノ中ニ  
 ハ必ズヤ萬引ノ被害品ガ存在スルデアラウ  
 拘摸ト云フノハ世人ノ知ル如ク行人ノ所持金品ヲ其ノ心附カザル間ニ竊取スル  
 モノヲ云フノデアアル此ノ犯罪ハ殆ト職業犯ト云ウテ宜敷イ而シテ拘摸犯ニハ通  
 例親分乾兒ノ關係ガアツテ親分ハ乾兒ノ竊取シタ贓品ヲ處分シテ換價スルコト  
 ヲ引受ケテ居ルノデアアル手数料ヲ取ツテ換價スルト云フヨリハ寧ロ贓物ヲ持込

ンテ來レバ配當金ヲ渡シテ遣ルト云フ有様デアアル此ノ犯罪組合ノ内ニハ贓品ヲ  
 變裝シテ賣捌スルコトヲ擔當シテ居ル者サへ居ル例へハ時計デアレハ甲ノ側ニ  
 乙ノ機械ヲ箝メ替ヘルトカ又ハ側ヲ潰シテ他ノ品ニ造リ換ヘルト云フヤウナコ  
 トヲシテ居ルノデアアル拘摸犯ノ中ニモ亦夫レ々々専門ガアツテ縁日等雜鬧ノ中  
 デ働クモノモアレバ電車汽車等ノ中デ稼クモノモアル後者ヲ特ニ箱師ト稱ヘテ  
 居ツテ拘摸ニ熟練シタモノデアアル如何ナル犯人ハ如何ナル方面テ如何ナル手段  
 ヲ用フルカト云フコトハ豫メ偵察シテ置カナケレバナラナイ而シテ一ノ拘摸被  
 害ガアツタナラハ其ノ推定セラレタル被害場處ト拘摸ノ方法ニ依ツテ犯人ノ見  
 込ヲ立テ其ノ嫌疑者ハ犯罪當時何レノ場處ニ居ツタカト云フヤウナ方面カラ搜  
 査シテ行クノデアアル茲ニ最モ注意スベキコトハ彼等ノ間ニハ平素種々ノ約束ガ  
 出來テ居テ例へバ甲某ナル拘摸犯人カ本日新橋發ノ夜汽車ニ乗込シテ稼ガウト  
 スル時分ニハ仲間ノ乙某及丙某ニ旨ヲ含メ乙某ヲ甲某ノ如ク假裝セシメ甲某ノ  
 氏名ヲ詐稱サセ丙某ト共ニ妓樓等ニ泊リ込マシメテ置イタ上萬一眞ノ甲某ニ犯  
 罪ノ嫌疑ノ掛ツタ際ニハ其ノ犯罪當時ニハ自分ハ丙某ト共ニ某妓樓ニテ終夜遊  
 興宿泊シタノ夜汽車ニ乗込ムヘキ筈ナシト主張シ丙某及假裝セル甲某敵娼ヲ



其ノ證人ナリト主張シ又ハ妓樓ノ遊客名簿ノ記事ヲ以テ立證ニ供スルヤウナ場合ガアル夫レデアアルカラ拘摸犯人ノ檢舉等ニ就イテハ十分ニ注意シナケレバナラナイ

以上ハ竊盜ノ種類ノ大體デアアルガ總テノ竊盜罪ニ就イテ其ノ檢舉上特ニ注意ヲ要スル點ガアル夫レハ刑法第二百四十四條ノ規定ニ關スルコトデアアル即チ同條ノ規定ニ依ルト

直系血族配偶者及ヒ同居ノ親族又ハ家族ノ間ニ於テ第二百三十五條(即チ竊盜)ノ罪及ヒ其ノ未遂罪ヲ犯シタル者ハ其ノ刑ヲ免除シ其ノ他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其ノ罪ヲ論ス

親族又ハ家族ニ非ル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

ト云フコトニナツテ居ル故ニ竊盜事件ヲ檢舉スル時分ニハ常ニ犯人ト被害者トノ間ニ右ノ様ナ身分上ノ關係ガアルカナイカヲ雙方ニ就イテ確メテ行カナケレバナラナイ例ヘバ犯人ガ養子ニ行ツタモノデアレハ實父トハ姓カ違フテアラウ此カル場合ニ犯人カ實父方ノ物ヲ竊取シタトスレバ兩者ノ續柄ニ氣附カズシテ檢舉處罰スル虞ガアル此クテハ非常ニ間違ニナル又往々犯人ト被害者トガ同一

姓デアアルヤウナ場合ニハ是非右ノ如キ身分上ノ關係ガアルカナイカ別居ノ傍系血族又ハ親族デアアルトスレバ告訴ノ意思ノ有無等ヲ明カニシテ置カナケレバナラナイ

此ノ規定ハ詐欺恐喝横領ノ各罪ニ對シテモ準用セラレテ居ルカラ之レ等ノ罪ノ捜査上ニ於テモ注意シナケレバナラナイ

#### 第四項 贓物犯

贓物ニ關スル罪ニハ贓物ヲ收受スルモノト之レヲ運搬スルモノト寄藏スルモノト故買スルモノト牙保スルモノトノ區別ガアル

收受ト云フノハ運搬寄藏故買若クハ牙保ノ目的以外ニ於テ贓物ノ占有ヲ始ムル總テノ場合ヲ包含スルノデアアル其ノ重モナル場合ハ貰受クルコトデアアル收受ノ罪ハ夫レ以外ノ罪ヨリハ刑期ガ短少デ且ツ併科罰金ガナイ從テ贓物ヲ所持スルコトガ發覺シタ場合ニ收受シタニ過ギナイトノ遁辭ヲ設クル嫌ヒガアルカラ果シテ收受ニ止マルヤ否ヤヲ探究スルコトニ力メナケレバナラナイ蓋シ法律ガ收受ヲ輕ク罰シテ居ル譯ハ犯罪者ガ刑ノ制裁ヲ覺悟シテマデモ獲得シタ物件ヲ無償テ人ニ交付スルト云フコトハ餘リナカラウト云フ理由ト無償テ交付サレルコ



トニナルトツイ不正品ト知ツテモ貰ツテ置クコトニナルト云フ人情ノ弱點ヲ斟酌シタ爲メデアラウ果シテ左様デアルトスレバ收受シタト云フ辯解ノアツタ時分ニ輒ク之レヲ信ズベキデナイコトハ言フヲ俟タナイコトデアアル  
 運搬トハ寄藏牙保等ノ目的ヲ離レテ贓物ノ位置ヲ轉スルコトデアアル贓物ノ所在ガ變更スル度毎ニ犯罪ヲ探知スルコトノ困難ニナルコトハ明カナコトデアアル故ニ新刑法デハ此ノ所爲ヲモ嚴罰シテ居ルノデアアル  
 寄藏ト云フノハ物ノ發見ヲ妨グルコトデアアル必シモ隱匿シテ置クコトヲ要シナイ例ヘバ他人ノ竊取シテ來タ贓品デアツテモ却テ之レヲ預ツテ店頭ニ陳列シテ置ク方ガ却テ嫌疑ヲ避クルニ適當ナ場合モアラウ此カル場合ニハ贓物ヲ店頭ニ陳列シテ寄藏シタト云フヲ妨ゲナイノデアアル要スルニ寄藏ト云フコトハ贓物ヲ託スル人ト託サル、人トノ間ニ於テ他人ノ發見ヲ防ガントスル意思ガアツタカドイカト云フニ歸着スルノデアアルカラ此ノ點ニ注目シテ證據ヲ蒐ムベキデアアル  
 故買ト云フノハ有價的ニ贓物ヲ受領スル場合ヲ指スノデアアル買ト云フ字ガ用キテアルガ必シモ買フコトノミデハナイ交換ニ依ル取得モ質物トシテ受取ルコトモ均シク故買デアアル何トナレバ贓物ト引換ニ他ノ物品ヲ引渡ストカ又ハ質代金

ヲ貸シ附ケルト云フ有價行爲ヲシテ居ルカラデアアル此ノ有價的事實ガアツタカドイカト云フコトガ本罪ニ對スル搜查ノ主眼デアアル  
 牙保トハ贓物ノ所持者ト之レヲ故買スル者トノ間ニ立ツテ其ノ取引ヲ斡旋スルモノヲ云フノデアアル換言スレハ贓物ヲ質入レシタリ賣却シタリスル者ノ爲メニ質屋又ハ買人ヲ世話スルコトデアアル必シモ贓物ヲ携ヘテ行ツテ質入若クハ賣却ノ世話ヲスルニ及バナイ唯ダ間ニ立ツテ口ヲ利イテ遣ル丈デモ牙保罪ハ成立スルノデアアル  
 抑モ贓物ト云フノハ何デアアルカト云フニ簡單ニ説明スレバ犯罪ニ依ツテ得タル物件ト云フコトニ過ぎナイ從ツテ贓物罪ノ犯人ガ贓物タルノ情ヲ知ルト云フコトハ其ノ物件ガ他人ノ犯罪ニ依ツテ得タル物件デアラウト云フ認識サヘアレハ夫レデ犯罪ハ成立スルノデアアル必シモ竊取シタ贓物デアラウカ騙取シタ贓物デアラウカ將タ又横領ニ係ル贓物デアラウカト云フコトヲ知ラナケレバ贓物罪ガ成立セヌト云フ譯ノモノデハナイ爰ニ一ノ故買者ガアツテ其ノ者ハ自己ノ故買シク物件ハ賣ツタ人ガ他カラ盜ンデ來タ品ダラウト思ウテ居タ所ガ實ハ賣人ガ預リ品ヲ預主ニ無斷デ賣ツタノデアアルト云フ結果ニ陥ツタカラト云ウテ其ノ故



買者ハ責任ヲ免カルヘキモノデハナイ併シ贓物罪ヲ探査スル人ノ任務カラ云フト是非其ノ贓物ハ詐欺ノ贓物デアルカ竊盜ノ贓物デアルカ横領ノ贓物デアルカト云フコトヲ明カニシナケレバナラナイ夫レハ何故カト云ヘバ竊盜罪ノ贓物竝ニ遺失物横領ニ關スル贓物ノ罪ハ二ツナガラ裁判所構成法ニ依ツテ區裁判所ノ管轄ニ屬セシメテアルカラデアアル同シク盜賊ニ關スル罪デアツテモ其ノ贓物ガ強盜ヲ犯シテ得ラレタ物件デアルト云フコトニナレバ其ノ贓物罪ハ地方裁判所デ管轄スルコトニナル極メテ微細ナ點デハアルガ贓物罪ノ搜查ヲ爲ス時分ニハ常ニ注意シナケレバナラナイ點デアアル

又贓物罪ニ付テハ刑法第二百五十七條ニ左ノ如キ規定ガアル

直系血族、配偶者、同居ノ親族又ハ家族及ヒ此等ノ者ノ配偶者ノ間ニ於テ前條ノ罪(即チ贓物罪)ヲ犯シタル者ハ其ノ刑ヲ免除ス

親族家族ニアラサル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用キス

從テ贓物ヲ受授シタ者ノ間ニ右ノ様ナ身分關係ガアルカナイカト云フコトハ常ニ搜查上留意シナケレバナラナイ

### 第五項 詐欺、恐喝、横領

詐欺罪ノ手段ハ廣ク云ヘバ人ヲ欺罔スルコトデアアル換言スレバ詐術ヲ用キテ人ヲ錯誤ニ陷レルコトデアアル併シ個々ノ場合ニ就テ云フト欺罔手段トイフモノハ實ニ千態萬様デアツテ到底竊盜ノ手段方法ノ比デハナイ從テ茲ニ種々ノ場合ヲ一々説明スルコトハ出來ナイ依テ唯二三最モ頻繁ニ行ハレテ居ルモノヲ示スニ止メヤウ

詐欺ノ手段中最モ單純デアツテ且ツ殆ト竊盜ニ類スルモノハ注文詐欺、釣銭詐欺、無錢飲食デアアル注文詐欺ト云フノハ電話又ハ口頭デ商店へ商品ノ注文ヲシテ商品ノ届ケ先ヲ指定シ店員ガ品物ヲ持來ルノヲ待受ケテ之レヲ受取ツテ姿ヲ隠スト云フ遣方デ日々此ノ種ノ犯罪ハ盛ニ行ハレテ居ル、釣銭詐欺ハ畢竟注文詐欺ノ一種デ例ヘハ一圓買物ヲシテ十圓札デ支拂フカラ釣ヲ持ツテ來イト命ジ其ノ釣錢ヲ受取ツテ逃走スルノデアアル商品ト一緒ニ引接フノガ多イ無錢飲食ハ飲食代ヲ支拂ノ意思ガナイノニ普通ノ客ノ通りニ飲食店ニ這入ツテ飲食ヲシテカラ支拂ノ段ニナルト隙ヲ見テ逃ゲ出ストカ又ハ錢ハ無イカラ如何ニデモシテ吳レト云ウ遣リ方デアアル此ノ犯罪ニ付テハ財布ヲ落シタノヲ氣附カズニ上店シタトカ又ハ最初ヨリ貸シテ貰ウ意思デアツタトカ或ハ何某ニ支拂ヲシテ貰ウ意思デア



買者ハ責任ヲ免カルヘキモノデハナイ併シ贓物罪ヲ探査スル人ノ任務カラ云フト是非其ノ贓物ハ詐欺ノ贓物デアアルカ竊盜ノ贓物デアアルカ横領ノ贓物デアアルカト云フコトヲ明カニシナケレバナラナイ夫レハ何故カト云ヘバ竊盜罪ノ贓物竝ニ遺失物横領ニ關スル贓物ノ罪ハ二ツナガラ裁判所構成法ニ依ツテ區裁判所ノ管轄ニ屬セシメテアルカラデアアル同シク盜賊ニ關スル罪デアツテモ其ノ贓物ガ強盜ヲ犯シテ得ラレタ物件デアアルト云フコトニナレバ其ノ贓物罪ハ地方裁判所デ管轄スルコトニナル極メテ微細ナ點デアアルガ贓物罪ノ搜查ヲ爲ス時分ニハ常ニ注意シナケレバナラナイ點デアアル

又贓物罪ニ付テハ刑法第二百五十七條ニ左ノ如キ規定ガアル

直系血族配偶者同居ノ親族又ハ家族及ヒ此等ノ者ノ配偶者ノ間ニ於テ前條ノ罪(即チ贓物罪)ヲ犯シタル者ハ其ノ刑ヲ免除ス

親族家族ニアラサル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用キス

從テ贓物ヲ受授シタ者ノ間ニ右ノ様ナ身分關係ガアルカナイカト云フコトハ常ニ搜查上留意シナケレバナラナイ

### 第五項 詐欺、恐喝、横領

詐欺罪ノ手段ハ廣ク云ヘバ人ヲ欺罔スルコトデアアル換言スレバ詐術ヲ用キテ人ヲ錯誤ニ陷レルコトデアアル併シ個々ノ場合ニ就テ云フト欺罔手段トイフモノハ實ニ千態萬様デアツテ倒底竊盜ノ手段方法ノ比デハナイ從テ茲ニ種々ノ場合ヲ一々説明スルコトハ出來ナイ依テ唯二三最モ頻繁ニ行ハレテ居ルモノヲ示スニ止メヤウ

詐欺ノ手段中最モ單純デアツテ且ツ殆ト竊盜ニ類スルモノハ注文詐欺、釣錢詐欺、無錢飲食デアアル注文詐欺ト云フノハ電話又ハ口頭デ商店ヘ商品ノ注文ヲシテ商品ノ届ケ先ヲ指定シ店員ガ品物ヲ持來ルノヲ待受ケテ之レヲ受取ツテ姿ヲ隱スト云フ遣方デ日々此ノ種ノ犯罪ハ盛ニ行ハレテ居ル釣錢詐欺ハ畢竟注文詐欺ノ一種デ例ヘハ一圓買物ヲシテ十圓札デ支拂フカラ釣ヲ持ツテ來イト命ジ其ノ釣錢ヲ受取ツテ逃走スルノデアアル商品ト一緒ニ引換フノガ多イ無錢飲食ハ飲食代ヲ支拂ノ意思ガナイノニ普通ノ客ノ通リニ飲食店ニ這入ツテ飲食ヲシテカラ支拂ノ段ニナルト隙ヲ見テ逃ゲ出ストカ又ハ錢ハ無イカラ如何ニデモシテ吳レト云ウ遣リ方デアアル此ノ犯罪ニ付テハ財布ヲ落シタノヲ氣附カズニ上店シタトカ又ハ最初ヨリ貸シテ貰ウ意思デアツタトカ或ハ何某ニ支拂ヲシテ貰ウ意思デア



ツタトカ要スルニ最初カラ支拂ノ意思ガナカツタノデナイト云フ辯解ガ出ル若シ果シテ其ノ辯解ノ通りデアルトスレバ錢ヲ持タナカツタト云フ一事丈ケテハ詐欺罪ヲ構成スルモノデナイ併シ辯解ノ如キ事實ガアルカド一カ取調べテ見ルト案外ニモ空財布ガ家ニ殘シテアツタトカ又ハ家ヲ出ル前カラ無一物デアルコトヲ證明スルニ足ルベキ狀況ガアツタリ或ハ犯人ガ上店シタ飲食店ハ犯人ニ對シテ貸賣ヲスベキ關係ヲ有シナイトカ將タ又犯人ノ爲メニ支拂ツテ呉レル筈ニナツテ居ル何某ハ是迄度々犯人ノ爲メニ迷惑ヲシテ居ルカラ構ヒ付ケヌト云フヤウナ事情ガ分ツテ來ルモノデアアル此ウナレバ犯人ハ最初ヨリ飲食物ヲ詐取スルノ意思ガアツタト云フ認定モツクシ假リニ夫レマデノ確定犯意ガナカツタトシテモ事ニ依レバ所謂踏ミ倒シノ結果ニ終ルカモ如レヌト云フ不確定犯意ニ依ツテ詐欺カ遂行セラレタノデアアルト云フ認定ヲ免レナイノデアアル尙ホ一言附加ヘテ置クガ舊刑法デハ詐欺罪ハ財物ヲ騙取スル罪ト云フコトデアツタカラ遊興費ヲ拂ハヌトカ觀覽料ヲ出サヌトカ乗車賃ヲ免カレルトカ云フヤウナ金錢ニ見積リ得ベキ無形ノ利益ヲ獲タ場合ハ詐欺罪ヲ構成シナカツタノデアアルガ現行刑法ノ第二百四十六條第二項ニハ

前項ノ方法ヲ以テ(即チ人ヲ欺罔シテ)財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

ト規定シテアルカラ人ヲ欺罔シテ債務ヲ免ガル、一切ノ所爲ハ悉ク詐欺罪ヲ構成スルノミナラズ例ヘバ實際引受タル意思ガナイノニ他人ノ爲メニ或ル支拂ヲ爲スヤウニ第三者ニ向ツテ宣言シテ他人ヲシテ財産上ノ利益ヲ得セシメレバ此ノ宣言ヲ爲シタル人ハ詐欺罪ノ責任ヲ遁ル、コトガ出來ナイノデアアル詐欺ノ手段ニハ往々ニシテ數名ガ欺計ノ一部ヲ分擔スル場合ガアル其ノ重モナルモノハ盟廻ハシ詐欺賭博、バー、詐欺、裁判詐欺、デアアル此カル犯罪ニ付テハ常ニ共犯人アルコトヲ豫想シテ檢舉シナケレバナナイ盟廻ハシト云フノハ鑛山ノ探掘權トカ特許權トカ山林土地家屋ノ所有權トカ云ウヤウナ人ノ羨望スル所ノ權利ヲ餌ニシテ或ハ事實ニ於テ無價値ナモノヲ共犯人ノ間デ慣合ツテ賣買契約ヲ假裝シテ法外ノ値段ヲ持へ他人ヲシテ眞實高價ナモノ、ヤウニ誤信セシメテ賣買代金ヲ詐取スルトカ又ハ權利ノ賣買ニ競争者ガアルヤウニ見セ掛ケテ手金ヲ打タセ手附金ヲ受取ルヤ否ヤ何カ苦情ヲ附ケテ其ノ手附金ヲ沒收スルト云フ様ナ遺リ方デアアル此カル詐欺事件ノ捜査ヲ爲ス時分ニハ其ノ被害者以外ノ賣買



契約者トカ競争者トカ云フ者ガ果シテ賣買ノ目的物ヲ買受クル丈ケノ資力ヲ有  
 スルモノデアアルカ其ノ者等ハ所謂賣主ト平素如何ナル關係ヲ有スルモノデア  
 カト云フ點ニ着眼スル必要ガアル時ニ依ツテハ其等ノ者ハ嘗テ詐欺罪ヲ犯シタ  
 トキノ共犯人デアアルト云フヤウナ事實ガ發見セラル、モノデアアル詐欺賭博ニハ  
 賭博ノ方法ニ様々アルガ其ノ犯罪ヲ遂行スルニハ要スルニ三ツノ分擔ガアル其  
 ノ一ツハ被害者トナルベキ人物ヲ捜シ當テ、之レヲ誘引スル役目ト賭博ヲシヤ  
 ウトシテ居ルモノト賭博ノ必ズ損失ニ歸スベキモノデアアルト云ウテ被害者タル  
 ベキ人ニ對シテ注告ヲ試ミルモノトガアツテ被害者ノ慾心ヲ挑發スルヤウニ被  
 害者ノ前デ賭博ヲ始メ現ニ一方ノミ勝利ヲ得ルヤウニ見セ結局被害者ヲシテ輸  
 贏ヲ決シテ見ヤウト云フ了簡ヲ起サセテ之レヲ勝負ヲ争フ仲間ニ引張り込ミ最  
 初ハ被害者ニ勝利ヲ獲サセテ終ニ其ノ所持金ヲ捲上ゲルノデアアル而シテ此ノ種  
 ノ犯人ノ間デハ其ノ仕事ノ分擔ニ付テ甲ハ煽リノ役ヲ勤メルトカ乙ハ忠兵衛ニ  
 ナルトカ丙ハ盡大ニナルトカ云ウテ居ル詐欺賭博ノ常トシテ勝負ガ初メハ少額  
 ノ争デアツテ終リハ巨額ノ賭ケヲスルノデアアル例ハ倍賭ケデ進ムノガ普通ノ  
 例デアアル之レハ最初被害者ニ勝タセタ金ヲ一度ニ取戻シタ上ニ尙ホ被害者ノ所

持金ヲ悉ク取り上ゲル計畫ナノデアアル此ノ犯罪ニ付テハ被害者ハ賭博ヲシヤウ  
 トシタノデアアルカラ自ラ被害ヲ訴へ出ヅルヲ憚ル爲メ加害者ガアルコトヲ知リ  
 ナガラ被害者ヲ見出スノニ困難スルコトガアル、ベトバト詐欺ナルモノモ之レト  
 同一ノ筋書キテ行ハレテ居ルツマリ慾ノ深サウナ而シテ小金ヲ持ツテ居サウナ  
 人物又ハ或ル事業ニ失敗シテ其ノ恢復ニ焦セツテ居ル人間ニ對シテ偽造通貨ヲ  
 廉價デ賣渡スト云フ話ヲ持チ掛ケ又ハ通貨偽造ノ計畫ガアルカラ之ニ幾何ノ資  
 金ヲ投スレバ何程ノ偽造通貨ヲ引渡ストカ云ウテ旨イ話ヲ持チ掛ケ眞實ノ通貨  
 ヲ偽造シタモノダト稱シテ使ツテ見セ如何ニモ偽造ノ術ガ巧妙ナ様ニ装ツテ金  
 ヲ出サセ愈ヨ偽造物ヲ引渡スト云フ時ニハ他ノ物ヲ詰メタ行李ヲ被害者ニ掴マ  
 セテ偽造通貨入ノ行李ガ運送ノ途中他ノ荷物ト取違ヘラレタヤウニ拵ヘテ約束  
 ヲ有耶無耶ニシ被害者ニモ弱點ガアルノヲ見越シテ泣寢入りニサセルノデアアル  
 裁判詐欺ハ普通ノ詐欺トハ違ツテ犯人ハ被害者ヲ欺スノデハナクシテ裁判所ヲ  
 瞞着シ誤ツタ裁判ヲサセ其結果ヲ被害者ニ強ユルノデアアル例ハハ證文ヲ偽造ス  
 ルトカ又ハ共謀者ニ偽證サセテ無イ權利ヲ拵ヘ上ゲタリ又ハ有ル義務ヲ消滅サ  
 セタリスルノデアアル此ノ犯罪ハ白晝公然行ハル、所デアツテ最モ惡ムヘキ罪惡



デアルガ不幸ニシテ屢々實現スル所デアアル吾輩ノ見ル所デハ此ノ種ノ罪ノ續發  
 スルノハ今日ノ民事訴訟手續ガ餘リニ放任主義ニ偏シテ居ル爲メデアアルマイ  
 カト思ウ例ヘバ甲ハ乙ニ金一萬圓ヲ貸シタ時分ニ乙ノ直筆ノ借用證ヲ徴シテ置  
 イタ處ガ乙ハ返濟期ニ金ヲ辨濟シナカツタ其處デ甲ハ乙ニ對シテ一萬圓返セト  
 云フ貸金請求ノ訴訟ヲ起シタ處ガ乙ハ左様ナ金ヲ借リタコトガナイト抗辯スル  
 其處デ甲ハ一萬圓貸シタ證據トシテ金城鐵壁ト頼ム乙直筆ノ借用證ヲ提出シタ  
 然ルニ乙ハ夫レハ自分ノ知ラナイ證文デアルト抗辯スルカウナルト甲ハ其ノ證  
 文ハ乙ノ書イタモノニ相違ナイト云フ證據ヲ擧ゲナケレバナラナイノデアアルガ  
 不幸ニシテ其ノ證據方法ヲ考ヘ附カナイト裁判官ハタトヘ其ノ證文ハ乙ガ書イ  
 タモノデアアルニ違イナイト思ウテモ甲ノ請求ヲ斥ケナケレバナラナイノデアアル  
 之レハ證據ノ提出ヲ當事者ニ放任シテ居ル法律ノ當然ノ結果デアアル民事裁判所  
 ハ刑事裁判所ノヤウニ職權ヲ以テ眞實ノ發見ヲ爲ス權能ヲ有シナイノデアアル之  
 レハ權利ノ上ニ眠ル者ハ保護シナイトカ云フ諺ヲ貫イタ法制デアアル法治ニ慣レ  
 ナイ國民ニ向ツテ極端ナル放任主義ヲ實行スルコトハ危險ナコトデアアル併シ我  
 々ハ此ノ手續法ノ下ニ支配サレテ居ルノデアアルカラ此制度ヲ濫用シテ不法ノ利

得ヲシヤウトスル惡漢ニ對シテハ常ニ觀察ヲ怠ラズドシ、詐欺犯トシテ檢舉  
 シ眠レル權利者ヲ覺醒セシメ之レヲ保護スルコトニ努力シナケレバナラナイ  
 恐喝罪ノ手段ハ之レヲ抽象的ニ云ヘバ他人ノ身體財産名譽ニ對シテ危害ヲ加フ  
 ヘキ氣勢ヲ示シ之レニ依テ相手方ヲ畏怖セシメ財物ヲ交付セシメタリ又ハ財産  
 上不法ノ利益ヲ獲得シヤウトスルコトデアアル強盜罪モ亦人ヲ畏怖セシメテ財物  
 ヲ奪取シタリ又ハ財産上不法ノ利益ヲ獲得スルニ在ルノデアアルガ此ノ場合ニハ  
 畏怖ノ結果全然意思能力ヲ喪失セシムルノデアアルカラ此ノ點ニ意ヲ注イデ搜查  
 シナケレバナラナイ例ヘバ同ジク兇器ヲ示シテ片端カラ斬ルゾト脅ス場合デア  
 ツテモ夫レガ白晝第三者ノ觀テ居ルトカ又ハイザト云ヘハ救護スル者ガ附近ニ  
 居ルト云フ場合デアツタナラバ之レヲ畏怖シテ財物ヲ交付シタトシテモ恐喝ト  
 見タ方が事實ニ適シテ居ルノデアラウ反之假令兇器ヲ以テ脅カサナイ迄モ人跡  
 稀ナル場處デ危害ヲ加フヘキ勢ヲ示ストカ又ハ夜陰人ノ家宅ニ侵入シテ嚇シ文  
 句ヲ並ベテ財物ヲ強奪スルト云フヤウナ場合デアツタラバ寧ロ強盜ノ所爲アル  
 モノト断定シタ方が宜敷カラウ但シ之レハ時ト場處並ニ脅カス者ト脅カサルハ  
 者トノ關係ニ依ツテ一概ニ云ヘユカラ其ノ邊ニ留意シテ證據ヲ集メナケレバナ



ラナイ恐喝ノ手段トシテ最モ多ク遭遇スルノハ暴行ヲ加フベキ氣勢ヲ示ストカ  
 又ハ人ノ惡事醜行ヲ摘發スル旨ヲ宣言スルコトデアアル既ニ暴行ヲ遂ゲタリ又ハ  
 醜惡ヲ摘發シテシマヘバ夫レハ傷害罪其ノ他ノ暴行罪又ハ名譽毀損等ノ犯罪ヲ  
 構成スルノデアアルガ單ニ之レヲ威壓ノ手段トシテ財産上ノ利益ヲ要求スル場合  
 ガ即チ恐喝罪ニナルノデアアル恐喝罪ノ内デ最モ巧ニシテ最モ害毒ヲ流シテ居ル  
 ノハ新聞雜誌ノ惡德記者ガ他人ノ惡事醜行ヲ揭クベキコトヲ宣言シテ置イテ其  
 ノ人ニ向ツテ記事ノ中止ヲ條件トシテ利益ヲ要求スルコトデアアル彼等惡德記者  
 ハ時ニ或ハ記事ノ題目トナルベキ人ニ於テ全然批判ヲ受クベキ經歷ナキ場合ニ  
 モ往々弱點アルカノ如ク見セカケテ來ルコトモアルガ多少ノ缺陷ヲ針小  
 棒大ニシテ搖スルノデアアル前者ガ後者ニ比シテ更ニ罪深キコトハ云フマデモナ  
 イコトデアアルカラ此ノ種ノ罪ヲ檢舉スルニハ常ニ被害者ニ附ケ込マルベキ缺點  
 ガアルカドーカト云フコトヲ精査スルコトガ必要デアアル又時ニ依テハ外觀上ニ  
 於テハ一應被害者デアアルヤウニ裝ウテ訴ヲ爲シテ來ル者ガ實ハ訴ト云フ方法ニ  
 依ツテ人ヲ恐喝シテ居ル場合デアアルカラ之等ノ點ニモ豫メ用意スル必要ガアル  
 例ヘバ夫婦慣レ合ヒノ上婦ヲシテ他ノ男ニ情ヲ通ゼシメタ上夫ヨリ其ノ婦ト之

レニ情ヲ通ジタ男ヲ姦通ノ被告トシテ告訴スル場合ハ其ノ一例デアアル之レヲ美  
 人局ト稱シテ居ル此ノ場合ニハ其ノ婦ト情ヲ通ジタ男即チ姦通ノ相手方トシテ  
 被告取ラレタ男ハ實ハ被害者デアツテ夫婦ハ其ノ男ニ對スル恐喝ノ共犯人ニナ  
 ルノデアアル何故カト云ヘバ他人ヲ恐喝スベク其ノ婦ノ姦淫ヲ縱容シタノデアアル  
 カラ告訴ニ係ル姦通罪ハ成立シナイノデアツテ却テ其ノ告訴ナル者ガ姦夫ヲ脅  
 カス手段ニナルカラデアアル此ノ種ノ犯罪ヲ檢舉スル時分ニ一步ヲ錯ルト無辜ヲ  
 罰シタリ又ハ罪惡ノ手傳ヲスル結果ニ陥ル虞ガアルカラ深ク慎マナケレバナラ  
 ナイ

横領罪ハ自己ノ占有ニ歸シタ他人ノ物ヲ恰カモ自己ノ物デアアルヤウニ取り扱フ  
 行爲ヲ指スノデアアル然ラバ如何ナル行爲ヲ横領行爲ト見ルカ具體的ノ例ヲ示ス  
 コトニナルト之レ亦タ枚舉ニ逸ナイコトデアアル人カラ預ツタモノヲ斷リナシニ  
 質入レスルトカ又ハ賣却スルトカ云フノハ最モ鄰近ナ例デアアルガ寄託ヲ受ケタ  
 物トカ拾得シタ物トカ總テ他人ノ占有カラ自己ノ占有ニ移ツタ物デアツテ然カ  
 モ其ノ他人ノ利益ノ爲メニ占有シナケレバナラナイ關係ニ在ル物件ヲ此カル關  
 係ニ在ラズト主張スル行爲換言スレバ預ツタ品又ハ拾得シタ品ヲ返還セヨト請



求セラレタ時其ノ品ハ受寄物ニアラズ拾得品ニアラズト抗辯スルガ如キ行爲モ亦ターノ横領罪タルヲ妨ゲナイノデアル横領罪ノ檢舉上注意スベキ點ハ管轄ノ問題デアル横領ノ目的物ガ遺失物漂流物其他占有ヲ離レタル他人ノ物デアルト其ノ物ヲ横領シタ罪ハ其ノ横領行爲ノ行ハレタル犯罪地又ハ其ノ犯人ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ノ管轄デアルガ其ノ他ノ横領罪ハ地方裁判所ノ管轄ニ屬シ且又地方裁判所ノ管轄ニ屬スル横領罪デアツテモ其ノ横領ノ目的物ガ犯人ノ業務上其ノ占有ニ歸シタ物デアルト之レハ一年以上十年以下ノ懲役ニ處スベキモノト規定セラレテ居ルカラ必ズ豫審ヲ經由シナケレバナライノデアル業務上占有シタ他人ノ物件ト云フノハ如何ナル場合ヲ指シタカ之レニハ色々議論ガアルヤウデアアル例ヘバ官公吏銀行會社等ノ出納責任者ガ其ノ保管中ノ金圓ヲ費消シタ時分ニ業務上ノ横領罪ヲ構成スルコトハ勿論デアアルガ其ノ責任者ガ更ニ其ノ手足トシテ常ニ金庫ノ鍵ヲ渡シテ置クトカ又ハ金錢出納ノ實務ヲ委ネテアル場合ニ其ノ鍵ヲ預ルモノナリ又ハ事實上金ヲ扱フ任務ニ在ル者ナリガ取扱中ノ金圓ヲ遣ヒ込ダトカ持出シタトカ云フ場合デアレバ之レ亦業務上ノ横領ト云ウテ妨ゲアルマイ要スルニ他人ノ物ヲ占有スルコトガ職業デアリ任務デアリ分

限デアル以上ハ業務上占有スルモノト云ハナケレバナライ其ノ職業任務分限ガ法律ニ基クト契約ニ因ルト將タ又習慣ニ從フトハ論ズル所デナイ横領罪ノ檢察上最モ注意ヲ要スル點ハ犯人ノ行爲ハ果シテ横領罪タルニ止マルカ抑モ亦詐欺罪ヲ構成スルカト云フ點ニ在ル詐欺ノ刑罰ノ最長期ハ十年デアルノニ普通ノ横領罪ノ夫レハ五年デアリ又詐欺ノ刑ノ最短期ハ一月デアルノニ業務上ノ横領罪ノ夫レハ一年デアアル犯人ガ最長期ノ長キヲ忌ミ最短期ノ短ヲ冀フハ當然デアル從ツテ事發覺ノ際比較的制裁ノ輕カルベキ方面ニ向ツテ辯解ヲ試ミルコトモ亦自然ノ情デアアル此ノ邊ハ捜査上常ニ用意スベキ點デアアル例ヘバ同ジク他人ノ物ヲ質ニ入レタト云フ場合デアツテモ他人カラ借リル以前ヨリ入質ノ決意アリナガラ其ノ惡意ヲ秘シテ單ニ借用シタキ體ヲ裝ウテ物ノ引渡ヲ受ケ直チニ之レヲ入質賣却シタト云フ場合ニハ横領ト云フヨリハ寧ろ詐欺ト見ルベキデアアル此ノ點ハ先ニモ述べタ通りデアアルガ捜査上看過シ易キ點デアアルカラ再ビ注意ヲスルノデアアル

## 第六項 貨幣偽造其ノ他ノ諸偽造犯

偽造罪ノ通有的要素ハ人ヲシテ或ル物ヲ真物ナリト誤信セシムルニ足ルベキ程



度ニ假裝スル點ニ在ル從テ偽造行爲ノ巧拙精粗ノ程度ハ其ノ偽造ノ目的タル物件ノ種類ニ依ツテ緩嚴ノ差アルベキコトハ見易キノ理デアル貨幣紙幣官公印章官公文書ノ如ク世人一般ガ其ノ形狀様式ヲ知悉シ得ベキ物件ニ付テハ模擬ノ程度モ亦精巧デナケレバ之レニ接シタモノガ誤解スルコトハ稀ナ譯デアアル反之私人ノ印章文書ノ様ナ物件ハ眞物カ如何ナルモノデアルカ又果シテ眞物ガ存在スルヤ否ヤスラ他人ハ知ラナイノデアル從テ模擬ト云フコトハ決シテ嚴密ニ論ズベキ限リデナイ之レ等ノ偽造罪ニハ又偽造物ヲ行使スル行爲ヲ罰スル規定モアル就中偽造貨幣ノ場合デハ之レガ偽造タルコトヲ知リナガラ收受行使シタ場合ト收受後ニ偽造ナルコトヲ發見シタルモ其ノ儘之レヲ行使シタル場合トハ制裁ニ於テ著シイ差ガアル言葉ノ上デ見ルト此ノ二者ハ明カニ區別スルコトガ出來ルガ實際ノ案件ニナルト實ニ其ノ區別ヲ認ムルコトハ困難デアアル併シ例ヘバ收受者カ眞正ノ取引上收受シタコトガ證據立テラレタ場合ニハ知情收受ノ事實ナキモノト認メテ然ルベキデアラウ私文書偽造ノ場合ニ於テ特ニ注意スベキハ彼ノ貸金業者等ガ往々借用人ニ對シテ何某ヲ連帶人トシテ證文ヲ記載セヨト請求シ現ニ其ノ何某ハ連帶人タリシモノニアラザルコトヲ知リナガラ其ノ證文ヲ

差入レシメル場合デアアル之レハ後日其ノ借用人カ辨濟ヲシナイ時ニ文書偽造ノ廉ヲ捕ヘテ刑事問題ノ起ルベキコトヲ告ゲテ恐喝シ辨濟ヲ遂ゲシメントスル所謂犯罪擔保ノ一例デアアル此ノ如キ場合ニハ其ノ貸主ナルモノハ畢竟借主ト同様文書偽造ノ罪責ヲ免レナイノデアアル現行刑法ガ文書偽造ノ一方法トシテ規定シテ居ル第百五十七條ノ場合ハ將來最モ活用アルモノト認メラレル同條ノ規定ニ依ルト

公務員ニ對シ虛偽ノ申立ヲ爲シ權利義務ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ二年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス  
 公務員ニ對シ虛偽ノ申立ヲ爲シ免狀、鑑札又ハ旅券ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

ト規定シテアル近來債務ノ蹈倒シヲ圖ル徒輩ガ或ハ借金ヲシタ後ニ自己ノ店舗ヲ合資會社組織ニ變更シ債務不履行ノ爲メ強制執行ヲセラル、場合ニナルト其ノ會社ノ登記簿本ヲ示シテ店舗ノ營業主ガ別人格ナリト抗辯シテ執行ヲ免レタリ又ハ眞ノ債權者カラ差押ノ來ルコトヲ豫想シ自己ノ親戚知友等ヨリ多額ノ負債アリシ様ニ裝ウテ公正證書ヲ作成シ之レニ基イテ差押ヲ爲シ眞實ノ債權者ヲ



詐害セントスルモノガ非常ニ多イガ此ノ如キ目的ノ爲ニ會社登記ヲシタリ又ハ公證ヲ經ルコトハ即チ刑法第一百五十七條ノ犯罪ヲ構成スルノデアル合資會社組織ガ真意ニ出デタカドウカト云フコトハ四圍ノ事情ニ依ツテ判斷スル外ハナイ一家ノ柱石トナツテ居ル者ガ現ニ負債ノ爲メニ差押迄モ受ケントシテ居ル矢先ニ其ノ者ガ父某トカ妻某子某ト夫レ夫レ多額ノ出資ヲシテ資本金若干ノ會社ヲ組織シタト云フヤウナ場合デアツタトスレバ會社設立ノ真意アリヤ否ヤ其ノ設立登記ヲ爲ス本來ノ目的ノ那邊ニ在ルカハ推測ニ難カラヌコトデアラウ又親族間トカ知友間トカデ是迄貸借ヲシタコトモナク又アツタトシテモ公正證書ヲ作ルトカ云ウコトガナカツタニモ拘ハラズ突然多額ノ貸借ヲ爲シ然カモ公正證書作成後間モナク差押手續ヲスルト云フヤウナ事態デアレバ其ノ公正證書ノ契約ノ不實ナルコトハ多言ヲ俟タナイコトデアル以上ハ蹈例シノ爲メニ用キラル、虚偽ノ會社登記虚偽ノ契約公正證書作成ノ例デアルガ不動産登記ニ付テモ亦登記料ヲ免カル、爲メニ種々ノ潜リ手段ガ講ゼラレテ居ル例ヘバ事實ニ於テハ受贈シタモノヲ贈與ニ因ル所有權移轉登記トナルト料金ノ率ガ高クナル爲メニ賣買名義ヲ移轉登記ヲ申請スルト云フ様ナ場合ハ即チ其ノ一ツデアル之レ等モ明

カニ登記官吏ニ對シ虚偽ノ申立ヲ爲シ登記簿即チ權利義務ニ關スル公正證書ノ原本ニ不實ノ記載ヲ爲サシメタルモノト云ハナケレバナラナイ其處デ是等ノ假裝行爲ヲ看破スルニハ出資トカ貸借トカ賣買トカヲ爲スニ付テハ如何ナル時期機會ニ如何ナル理由カラ之レヲ實行スルニ至ツタノデアルカ金錢ノ受授ハ實行サレタカ實行サレタトスレバ其ノ金錢ノ種類員數ハ果シテ如何デアツタカト云フ風ニ横カラモ縦カラモ各關係人ヲ取調べテ行クト事實デナイ場合ニハ忽チ矛盾ヲ來シタリ衝突ヲ惹起シテ來テ結局裝ヒ切レナクナリ終ニ馬脚ヲ顯ハスモノデアル此ノ種ノ犯罪ハ白晝公然官公吏ヲ詐ツテ仕事ヲスルノデアルカラ其ノ害ノ及ブ處甚ダ大キイノデアル殊ニ甚シイノニナルト此ノ種ノ手段ニ依ツテ借り例シラスルコトヲ營業トシテ居ルモノガアル之レ等ノ犯人ハ普通一ノ犯罪組合ヲ作ツテ居ツテ甲ガ借財スル時分ニハ乙ガ連帶借用人ニナリ丙ハ更ニ甲ニ對スル假裝ノ債權者ニナリ若シ又假リニ丙ガ借財スル場合デアルト甲ガ連帶者ニナリ乙カ丙ニ對スル債權者トシテ眞ノ債權者ノ債權實行ヲ妨害スルト云フ風ニ循環的組織ヲ爲シテ詐害ノ目的ヲ遂ゲルノデアル吾人ハ之レ等ノ犯罪組合ノ存在スルヤ否ヤニ就テハ豫メ探知シテ居ナケレバナラナイノデアアル



## 第七項 猥褻罪並ニ少年犯罪

二六

標題ニ猥褻罪ト命名シタ犯罪ノ中ニハ之レヲ細別スルト猥褻物ヲ頒布販賣陳列  
スル罪ト弱年者ニ對シテ猥褻行為ヲ爲ス罪ト強姦ノ罪ト淫行勸誘ノ罪ト姦通ノ  
罪ト重婚ノ罪トノ六種ガアル猥褻物ヲ頒布販賣陳列スル罪ニ就テ留意スベキ點  
ハ此ノ種ノ犯罪ヲ敢テスルモノハ刑罪トシテ科シテアル五百圓以下ノ罰金ヲ廉  
價ナル租税ト見做シテ居ル點デアアル故ニ例ヘバ露店等ニ於テ一ノ犯人ヲ見出シ  
タ場合ニハ直チニ此ノ犯人ノ蔭ニハ罰金ノ支拂ヲ引受ケテ居ル元締ノ居ルコト  
ヲ聯想シ其ノ系統ヲ辿ツテ總テノ連絡アル犯人ヲ同時ニ處罰シ以テ彼等ガ廉價  
ナル租税ナルガ如ク蔑ツテ覺悟シテ居ル所ノ刑罰ノ威力ヲ最モ痛切ニ感ゼシメ  
ルコトヲ期シナケレバナラナイ且又此ノ種ノ犯人ヲ檢舉シヤウトスル場合ニハ  
彼等ノ罪ノ發覺ニ至ルマデニ何程多量ニ販賣頒布シタカ其ノ程度ヲ明カニシテ  
量刑ノ參考ニ供スルコトヲ力メナケレバナラナイ要スルニ風俗ノ維持ヲ目的ト  
シテ居ル刑罰規定ノ本旨ヲ貫クニハ此ノ犯罪ヲ取締ルコトニ最モ力ヲ注グベキ  
デアアル其ノ他ノ猥褻罪ニ付テ特ニ注意スベキ事項ハ被害者ガ法ノ規定ヲ利用シ  
テ恣喝ヲ爲サウトスル點デアアル此ノコトハ彙ニモ一言シタ所デアアルガ彼ノ美人

局トカ又ハ和姦後ニ強姦セラレタリトシテ訴へ出ヅルヤウナ場合ガアルカラ搜  
査ヲスル時分ニハ常ニ此ノ邊ニ向ツテ觀察ヲ嚴ニシナケレバナラナイ殊ニ淫行  
勸誘罪ニ於テ注意スベキ點ハ少女ノ親等ガ豫メ賣春婦トナルコトヲ豫想シナガ  
ラ之レヲ抱主ニ引渡シ抱主ガ愈ヨ賣春行為ヲ實行セシメタ時分ニ其ノ抱主ニ對  
シテ淫行ヲ勸誘シタト云ウテ訴へル場合デアアル此カル疑アル場合ニハ最モ注意  
シテ調査ヲ遂ゲナケレバナラナイ若シ調査ノ結果被害者ノ親等ハ所謂堅氣ノ奉  
公ヲナスモノト信ジテ其ノ女子ヲ雇主ニ托シタノデアアルニ雇主ガ其ノ女子ヲ誘  
惑勸告シテ淫行ヲ敢テセシメタ場合デアツタトスレバ其ノ雇主ニ對シテ本罪ノ  
構成スルコトハ勿論デアアルガ親等カラシテ其ノ女子ヲ勸誘シテ醜業婦タラシメタ  
場合デアツタトスレバ親モ亦淫行勸誘ノ罪責ヲ免ルハコトガ出來ナイノデアアル  
少年犯罪ノ檢察ハ寧ロ其ノ罪證ヲ蒐集スルコトヨリハ如何ナル事情ガ犯人ヲ驅  
ツテ犯罪者タラシメタカト云フコトヲ明カニスルコトニ力ヲ盡サナケレバナラ  
ナイ蓋シ少年犯人ハ其ノ惡性ノ染ミ込ミ方ハ比較的薄ク且ツ淺イノデアアルカラ  
其ノ犯罪發生ノ原因ヲダニ精確ニ知ルコトヲ得レバ必シモ彼等ヲ刑餘ノ者トス  
ルニ及バナイン從テ彼等ヲ將來累犯者職業犯者タラシメナイデモ濟ムノデアアル



刑事政策學者が其ノ政策ヲ有效ニ實行シ得ベキ餘地ハ實ニ此ノ少年犯ニ在ルモノト言ウテ宜敷イ位デアアル

風俗人情ノ廢頹ヲ防グコトハ治世ノ最大要務デアアル猥褻罪少年犯ノ増減ハ即チ風俗ノ弛張人情ノ厚薄ヲトスベキ尺度ト云ウテモ過ギタリトハ云ヘナイ吾人ハ此ノ種ノ犯罪ヲ檢察スベキ任務者クハ此ノ種ノ犯罪ヲ豫防スベキ職責ヲ完ウセシムル爲メニハ最モ世態ニ明ルク人情ニ通ジ而カモ熱誠親切ナル人ヲ索メテ之レニ此ノ職務ヲ委ネナケレバナラナイ

### 第八項 雜 犯

雜犯ノ中デ事態重大デアツテ檢舉ノ困難ナ而カモ檢舉ノ結果ガ稍モスレバ不成功ニ終ルノハ放火犯ノ事件デアアル放火犯事件ノ搜查ニ從事スル時分ニ放火ノ原因トシテ通常着眼スベキ點ハ怨恨火災ニ乘ズル竊盜火災保險金詐取等デアツテ往々之レ等ノ見込ニ適シタル犯人ヲ發見スルコトガアルガ其ノ放火ノ手段方法ガ如何ニアツタカ又何レノ個所ニ火ヲ放ツタカト云フコトハ火災ノ濟ンダ後ニハ其ノ形跡ノ認ムベキモノガ乏シイカラ犯人ハ往々ニシテ出鱈目ノ自白ヲスルコトガアル例ヘバ實際ハ放火現場附近ノ家カラ炭俵ヲ盜ンデ來テ夫レヲ燃料ト

シテ放火シタ場合ニ或ハ其處カラ藁トカ鉋屑トカ云フヤウナ物ヲ拾ウテ來テ何處其處カラ石油ヲ何合買ツテ來テ夫レニ灌ギ掛ケ其店デ煙草ヲ買受ケタ節最物トシテ貰ツタマツテ利用シテ點火シタノデアルト云ウヤウナ如何ニモ眞實ラシイ供述ヲ爲スコトガアル搜查官ガ若シ此ノ種ノ自白ヲ輕信シタナラバ夫レハ犯人ノ術中ニ陥ツタモノト云ハナケレバナラナイ吾人ハ之レ等ノ供述ニ對シテハ具サニ其ノ眞否ヲ驗シ着々符合スル證左ヲ見届ケル迄ハ氣ヲ許シテハナラナイ某處カラ藁ナリ鉋屑ナリヲ拾ウタト云フナラハ果シテ指定ノ場所ニ藁又ハ鉋屑ノ在ツタ事實ガアツタカドウカ石油ヲ買ツテ放火ノ用ニ供シタト云フナラ其ノ買入先ヲ調査シテ見ネバナラナイ又點火ノ際用キタマツチハ煙草ヲ買ツタ時貰ツタトスレバ夫レハ如何ナル商標ノマツチデアツタカ其ノ種ノマツチハ犯人ガ煙草ヲ買ツタト云ウ家デ景品ニ添ヘルマツチト同性質ノモノデアツタカドウカ抑モ又犯人ハ平素實際煙草ヲ用フル人間デアアルカドウカト云フヤウナ事マデ關ベテ見テ若シ少シデモ犯人ノ自白ニ信ジ難キ節ガアツタラハ何故此ノ如キ虛偽ノ自白ヲ爲スノデアラウカヲ追窮スルト大抵事實ノ真相ヲ告白スルノ止ムナキニ至ルモノデアアル犯人ノ申立ノ眞偽ヲ突キ止メテ行クト云フコトハ獨リ放火



犯ノ檢舉ニ限ツタ事柄デハナク總テノ犯罪ヲ檢舉スルニ付テノ秘訣デアアル秘訣ト云フト事々シク聞ユルガ竝口當リ前ノ事デアアル併シ此ノ當リ前ノコトガ中々ニ實行シ難イ所デアアル「正直ハ處生ノ秘訣デアアル」ト言フ格言ガ屢々口ニセラル、所デアツテ然カモ實行シ易カラザルト同様デアアル

雜犯ニ付テハ一々説明スルコトハ出來ナイガ尙賭博ノ罪ニ付テハ一言ヲ費ス必  
要ガアルト思フ賭博ノ罪ヲ檢舉スルニ付テハ檢舉ヲ行フ人ハ豫メ其ノ檢舉ヲ行  
ハントスル賭博行爲ハ如何ナル方法ニ依ツテ行ハル、モノデアアルカヲ知ツテカ  
、ラエト不測ノ失策ヲスルコトガアル例ヘバ丁半ノ賭博デアレバ蓋ト骨子二個  
ヲ缺クベカラザル要具トシテ居ルノニ骨子一個ヨリ見出サナイデ迂濶ニモ器具  
ヲ完全ニ押ヘタ如ク思ウテ満足スルコトガアル此ノ如キ場合ニ今一個ノ骨子ハ  
何故ニ存在シナイカト云フコトヲ糺シテ置カナイト後ニ辯解ヲ試ミル餘地ヲ存  
スルコトニナル又花札ハ四十八枚アツテ其ノ札數丈無カツタコトガ明カデア  
ル場合ニ犯人ハ夫レヲ理由トシテ賭博ノ實行不能ヲ主張スルコトガアル併シ犯人  
ノ試ミツ、アツタ賭博ハ完全ニ數ノ揃ウタ牌子ヲ用キズトモ實行シ得ル方法ノ  
モノデアアル場合ガ多々アル

又諸般ノ犯罪ヲ檢舉スル時分ニ大ニ注意スベキコトハ外觀上甲種ノ犯罪ナルカ  
如ク見ユルモノガ往々ニシテ其ノ實乙種ノ犯罪デアアル場合ガアル例ヘバ一見賭  
博ノ如ク考ヘラレル行爲デアツテモ實ハ一方ノ當事者ガ他ノ人ノ詐術ニ陥ツテ  
居ル詐欺賭博ノ場合デアアルコトモアルシ又例ヘバ貨幣紙幣有價證券等ノ偽造罪  
ヲ行フモノデアアルカニ疑ハル、場合モ仔細ニ觀察スレバ所謂「ペーパー詐欺」事  
件デアアルコトモアル「ペーパー詐欺」ト云フノハ慾ノ深サウナ人間ヲ瞞マシテ紙幣  
等ガ巧ニ偽造セラル、コトヲ説イテ其ノ實驗ト稱シテ手品ヲ遣ツテ見セテ恰カ  
モ眞實ニ偽造ガ出來ルヤウニ誤信サセ其ノ偽造ニ關スル資金ニ名ヲ籍リ又ハ偽  
造紙幣ヲ格安ニ賣渡スト云フ口實ノ下ニ其代金名義デ金ヲ詐取スル類デアアル犯  
罪行爲ノ外形ト其ノ犯罪ノ實質ト異ナル場合ノアルコトハ以上例示シタ處ニ止  
マラナイ例ヘバ一見放火行爲ノ如ク見エテ其ノ實ハ放火ノ意思ガアツタノデハ  
ナク單ニ放火ノ態ヲ假裝シテ人ヲ恐怖セシメタルニ止マル場合即チ脅迫罪デア  
ルコトガアル又例ヘバ前ニ述ベタ如ク姦通罪ノ外形ヲ備ヘタモノハ其ノ内實ニ  
於テハ所謂姦婦ト本夫ト共謀シテ恐喝罪ヲ犯シテ居ル場合モアル此ノ如ク犯罪  
ニハ裏アリ表アリ底モアレバ蓋モアルノデアアル檢察ノ任務ヲ行フニハ周密ナル



注意ヲ要スルコトヲ覺悟シナケレバナラナイ

### 第三節 探證上ノ注意

吾輩ハ前節ニ於テハ主トシテ各種ノ犯罪ニ就テ其ノ證明方法ヲ研究シタノデア  
ルガ本節ニ於テハ證據方法其ノモノ、方面ヨリ注意スベキ事項ヲ述ベテ見ヤウ  
ト思フ吾人ハ犯罪ヲ立證スルニハ其ノ犯サレタル日時場所竝ニ犯罪ヲ構成スル  
所ノ所爲ニ對スル證憑ヲ蒐集シナケレバナラナイノデアアルガ凡ソ吾人が一定ノ  
事實ヲ立證スルニハ或ル事實ノ存在ヲ肯定スル證據ト之レヲ否定スル證據ヲ集  
ムルヨリ外ニ道ハナイ例ヘバ吾人が某甲ナリトシテ捕ヘタル犯人ガ自分ハ乙某  
ナリトシテ人違ヲ主張シタ場合ニ吾人ハ其ノ者ノ某甲ニ相違ナキコトヲ立證ス  
ルニハ某甲ナルコトヲ肯定スル所ノ積極的ノ證據ト乙某ナルコトヲ否定スル所  
ノ消極的證據トヲ提供スル外ナイノデアアル檢察事務ニ服スル者ハ此ノ二様ノ證  
據ヲ集ムルコトニ力ヲ致サナケレバナラナイ併シ茲ニ最モ注意ヲ要スルコトハ  
證據ヲ蒐集スルニハ其ノ分量ノ多カラシムコトヲ期スルヨリハ寧ロ一定ノ證據ガ  
幾何ノ信憑力ヲ有スルカヲ冷靜ニ評價シ其ノ力弱キヲ認メタルトキハ之レヲ補

フ爲メニ更ニ證憑ヲ集ムヘク既ニ其ノ力強キモノナル確信ヲ得タ以上ハ寧ロ蛇  
足ヲ添ヘテ徒ラニ煩雜ヲ來スコトヲ避ケナケレバナラナイ例ヘバ茲ニ一ツノ竊  
盜事件ガアツテ犯人ハ既ニ捕ヘラレ贓品モ悉ク發見サレ被害者モ其ノ贓品ハ被  
害品ニ相違ナキコトヲ證シ犯人モ亦自己ノ竊取シタルニ相違ナキコトヲ自白シ  
タトスレバ此ノ事件ノ證憑ハ備ハツタモノト見テ此ノ上證憑ヲ集メル必要ハナ  
カラウ然ルニ若シ此ノ場合ニ尙ホ被害者ノ家族ニ就イテ贓品ガ果シテ被害者ノ  
物ナリヤ否ヤヲ糺スコト、シタナラバ之レハ單ニ此カル取調ノ必要ガナイト云  
フニ止マラズ或ハ其ノ家族ハ贓品ノ中或ル物件ハ自分ニ見覺ナシト證言シタ場  
合ニハ既ニ明確ナル事案ニ對シテ徒ラニ疑點ヲ惹起シ其ノ見覺ナシト云フニハ  
或ル理由ノ存スルコト例ヘバ其ノ證言ヲ爲シタル家族ノ不在中ニ買入レタル品  
ナリシコト等ヲ證スルノ必要起リ濫リニ事實ヲ煩雜ナラシムルノ弊ガアル反之  
犯人ハ被害者ヨリ竊取シタルニ相違ナシト自白スルニ拘ハラズ贓品中ノ或ル物  
ノミハ被害者ニ於テ見覺ナシト斷言スルトキハ更ニ被害者ノ家族等ニ就イテ一  
々糺シ或ハ其ノ物件ハ家族ノ一人ノ特有物ナリシ爲メ偶々被害者ガ知ラザリシ  
モノナルコトヲ發見スル場合モアルデアラウシ又時ニ依リテハ被害者方ノ何人



モ其ノ物件ヲ認識セザルコトガ判明シタ場合ニハ更ニ犯人ヲ糺シ實ハ其ノ物件  
ハ他ノ被害者方ヨリ竊取シタルコトヲ自首シ餘罪發覺ノ端緒トナルコトガアル  
デアラウ此カル場合ニハ事實ハ益々擴張發展スルノデアアルカラ證據調ノ範圍ノ  
廣クナルコトモ亦免カレナイ所デアアル  
證據ヲ其ノ方法ニ基イテ區別スルト左ノ五種ニナル

- 一 被告人ノ供述
- 二 證人(又ハ參考人)ノ供述即チ證言
- 三 鑑定人ノ意見即チ鑑定
- 四 實況見分若クハ檢證
- 五 物證

吾輩ハ以下此ノ五點ニ就イテ逐次探證上ノ心得ヲ述ベテ見タイノデアアル

### 第一款 被告人ノ供述

被告人トハ犯罪嫌疑者ノ謂デアアル或ル罪ヲ犯シタルモノト目指サレタ人ヲ云フ  
ノデアアル此ノ者ノ申立ツル所ハ片言雙語ト雖モ決シテ忽カセニ聞イテハナラナ  
イ被告人ノ供述ハ問題トナツテ居ル犯罪事件ノ檢察上最モ重要ナル關係ヲ有ス

ベキモノナルコトハ申スマデモナイコトデアアル被告人ハ往々ニシテ犯罪事實ヲ  
自己ノ行爲不行爲ニ基クモノナルコトヲ供述スル場合ガアル而シテ此ノ供述ガ  
檢察ノ職ニ在ル者ノ問查ヲ受ケテ初メテ爲サレタル場合ニハ此ノ供述ヲ稱シテ  
被告人ノ自白ト云ヒ又未ダ推問ヲ受ケザルニ犯人自カラ進ンデ檢察官署ニ申立  
ツル場合ヲ特ニ自首ト云ウテ居ル其ノ犯罪事實ノ自認タル點ニ於テハ全ク同一  
デアアル茲ニ一言注意シテ置ク必要ノアルノハ刑法第四十二條第一項ニ刑ヲ輕減  
スルコトヲ得ト規定シテ居ル場合ノ自首ノコトデアアル此ノ場合ノ自首ハ犯罪ガ  
未ダ檢察官署ニ發覺セザル以前ニ爲サル、コトヲ要スルノデアアル檢察官署デ犯  
罪ノアルコトヲ認知シタ後ニ於ケル自首ハ刑ノ輕減ノ事由トスルコトハ出來ナ  
イノデアアル被告人ノ自首自白ハ其ノ犯罪事件ノ有力ナ證據トナル場合ガ多イニ  
ハ違ナイガ吾人ハ決シテ輕々シク其ノ自首自白ヲ信用シテハナラナイ吾人ハ之  
レヲ信ズル前ニ先ヅ其ノ自首自白ガ果シテ眞實デアアルカド、カ之レヲ傍證ニ照  
シテ鑑別シテ見ナケレバナラナイ檢察上ノ失敗ハ往々ニシテ此ノ自首自白ノ妄  
信ニ因ル場合ガ少クナイト云フコトヲ記憶シナケレバナラナイ抑モ自己ノ罪惡  
ヲ隱蔽シヤウトスルノハ人情ノ通弊デアラウ然ルニ自カラ進ンデ罪惡ヲ敢テシ



タコトヲ陳述スルニハ何等カノ理由ガ無ケレバナライ吾人ノ經驗ニ依レバ其ノ理由ノ重モナルモノハ大略七種ノ外ニ出デナイヤウデアアル逐次左ニ説明スルコトニスル

- (一) 自己ノ所爲ニ係ルコトヲ認定セラルベキ證據ノ歷然タルモノアル爲メ犯罪隠蔽ノ不能ナルコトヲ自覺シタルニ由ル場合例へバ彼ノ現行犯ノ場合ノ如キハ犯人ハ如何ニ剛情ノモノナリトモ自白シナイモノハ稀デアアル
- (二) 悔悟ノ情切ナル爲メ之レガ懺悔ヲ爲ス主旨ニ出ヅル場合此ノ場合ハ自首ニ於テ多ク實見スル所デアツテ其ノ供述ハ着々事實ト符合スルモノデアアル
- (三) 他人ノ罪責ヲ身ニ引受ケテ其ノ罪ヲ免カレシメント欲スルニ由ル場合例へハ殺傷罪等ノ場合ニ於テ子ガ犯人タル父ニ代リ又ハ乾兒ガ罪ヲ犯シタル親分ニ代ツテ自首スルガ如キハ其ノ適例デアアル此ノ種ノ自首ハ明カニ犯人隱避罪ヲ構成スルモノデアアル
- (四) 他ニ一層重キ犯罪アルガ爲メニ虛構若クハ實在ノ比較的輕キ犯罪ニ依テ處刑ヲ受ケ重キ犯罪ニ對スル檢察官ノ視線ヲ避ケントスル場合例へバ殺人等ノ大罪ヲ犯シタル後官ノ詮議嚴重ナル爲メ故ラニ竊盜橫領等ノ罪ヲ自首シテ自ら

身ヲ獄ニ投ジ一時官ノ視線外ニ脱セントスルガ如キハ即チ是レデアアル

- (五) 精神病ノ爲メ妄想ニ因リ他人ノ犯罪又ハ架空ノ犯罪ヲ自己ノ所爲ナルガ如ク感シタルニ由ル場合之レハ甚ダ信ジ難イヤウニ思フ人モアルカモ知レヌガ往々事實トシテ表ハレル所デアアル殊ニ殺人放火等ノ如キ重罪事件ニ就テ其ノ例ヲ見ルコトガ多イ
- (六) 衣食ニ窮シ寧ロ囹圄ノ人トナツテ饑餓ノ痛苦ヨリ脱セント欲シテ他人ノ犯罪若クハ架空ノ犯罪ヲ己レノ所爲ナルガ如ク主張スル場合之レ亦間々アルコトデアアル

- (七) 他ノ犯罪ノ爲ニ入獄シ居ルモノ獄中ノ生活ニ飽キ取調ベノ爲メ時々獄外ニ引出サレ釋ヲ散スルノ機會ヲ得ンコトヲ豫期スルカ又ハ他ノ慕シヨキ監獄ニ移サレンコトヲ欲スルカ又ハ逃走ノ機會ヲ見出サンガ爲メニ自首ヲ爲ス場合此ノ種ノ自首ハ屢バ起ルコトデアツテ多クハ之レ亦重大ナル事件ニ對スル自首ヲ爲スノガ常デアアル

要之吾人ハ被告人ノ自首自白ニ接シタル時ニハ一應以上ノ場合ヲ聯想シテ慎重事ニ當リ其供述ノ眞偽ヲ事實ニ徴シテ判定スルコトニ留意シナケレバナライ



刑事訴訟法第九十四條ニ依レバ豫審判事ハ被告人ヲ訊問スルニ當リ恐嚇又ハ詐言ヲ用フベカラズト規定シテ居ル之レハ獨リ豫審判事ノミノ守ルベキ義務タルニ止マラズ檢察事務ニ當ルモノモ當ニ守ルベキノ條規デアアル吾人ハ必シモ犯人ヨリ自白ノ言ヲ聽クヲ要シナイ自白ヲ強要スルガ如キハ搜查ノ最モ拙ナルモノト謂フベキデアアル蓋シ自白ニアラザル被告人ノ供述モ亦一ノ證據力ヲ持ツカラデアアル否或ル場合ニハ自白ヨリモ更ニ一層被告人ノ爲メニ不利益ナル證據トナル場合モアル例ヘバ被告人ハ自己ノ甲某ニアラズシテ乙某ナルコトヲ主張スル場合ニ反ツテ本人ノ乙某ニアラザルコトヲ認定スルニ足ルベキ確證例ヘバ現ニ乙某ハ他ニ一人存在スルガ如キ事實ノ立證ヲ得タル場合ニハ被告人ガ自己ノ氏名ヲ否認スルト云フ事實ハ聽テ餘罪ノ發覺ヲ恐ル、カ又ハ前科ヲ包藏センガ爲メノ所爲デアルト云フ推定ノ材料ニ供セラル、コトニナル果シテ然ラバ被告人ノ此ノ否認ハ本人ニ取リテハ甲某ナルコトヲ自認スル場合ヨリモ更ニ不利益ナル推定ヲ受クヘキ證據ヲ提供シタモノト云フベキデアアル故ニ自白ヲ強ユルコトハ害アツタ益ノナイコトデアルト云ウテ宜敷シイ併シナガラ被告人ヲ訊問スルニ當テ其ノ發問方法ノ如何ニ依リテ或ハ眞實ヲ語ラシムルニ遲速ノ差ヲ生ズル

コトガアルト云フコトハ忘レテハナラナイ例ヘバ盜犯ニ對シテ何々ヲ盜ンダ事實ガ有ルカ「ト訊ネレバ事實ヲ否認スル場合デアツテモ何故ニ竊盜ナドヲ働クカ」ト問ヒ掛ケレバ實ハドモ生活ニ困ツタモノデスカラト云フ答ニ依ツテ犯罪ヲ自認スルコトガアルモノデアアル之レハ一種ノ心理作用トデモ云フベキデアラウカ訊問ノ巧拙ト云フコトハ良ク相手方ノ心ノ琴線ニ觸レルヤウナ問ヲ發スルト否トニ在ルノデアアル之レ等ノ點モ亦考量ヲ要スルコト、思フ兎ニ角犯人ガ自白スルト否トハ彼ノ取捨ニ任セテ宜敷イ要ハ傍證ヲ確實ニ蒐集スルニ在ル今之レヲ賭博事件ニ就イテ説明シテ見レバ犯人ガ賭博ヲ爲シタリト自陳シタ場合ニハ其ノ日時場所方法賭シタル物件ノ如何娛樂ニ過ギザルモノト認ムベキカ抑モ亦常習的ノモノト認ムベキカノ情況ニ就イテ詳細之レヲ訊ネ之レヲ他ノ犯人ノ供述ニ對照シ之レヲ證人ノ見聞ニ徴シ將タ又之レヲ證據品ニ鑑ミ並ニ犯人ノ素行ト比較シ其ノ眞僞ヲ討究スベク若シ又犯人ガ犯罪事實ヲ否認スルナラバ如何ナル趣旨ニ於テ之レヲ否認スルヤ其ノ爭點ハ何レニ在ルカ換言スレバ犯人ハ賭博ノ現場ニ居リシコトヲ否認スルノデアアルカ現場ニ在リタルコトハ之レヲ認ムルモ賭博行爲ニ參加セシコトヲナシト云フニ在ルカ若シ前者ニ在リトスレバ犯罪



當時被告人ハ何處ニ如何ナルコトヲ爲シ居リシカ及ビ其ノ事實ハ如何ニシテ之レヲ證明シ得ベキカラ確定スベク若シ又後者ニ在リトスレバ何時ヨリ何時マデ現場ニ居リタルカ又現場ニ赴キタル事由及ビ現場ニ於テ如何ナル事實ヲ見聞シタリヤ現場ニ赴キタル目的ハ如何ニ之レヲ實行シタルヤ其ノ結果ハ如何ナリシカ就ニ之レ等ノ主張ハ如何ナル方法ヲ以テ證據立テントスルカラ追窮シ後ニ至リテ供述ヲ二三ニシ得ザルヤウ言質ヲ取ツテ置カネバナラヌ而シテ吾人ハ此ノ犯人ノ辯解ノ眞偽ヲ事實ニ徴シテ審査スレバ事相ハ忽チ判明スルモノデアアル吾人ハ犯人ニ對シ如何程有力ナル罪證ヲ握ツテ居ル場合デアツテモ若シ犯人ガ辯解スル事ガアツタラバ夫レニ對シテハ是非取調ベテ見ナケレバナラナイ而シテ其ノ辯解ヲ斥クルニ足ル丈ノ證左ヲ得ルマデハ油斷シテハナラヌ何故ニ此ノ注意ヲ爲スカト云フニ往々ニシテ訴フルモノト訴ヘラル、者ト共ニ惡イ場合ガアツテ訴ヘラレタモノ、辯解ニモ亦半面ノ眞理ヲ含ムコトガアルカラデアアル一例ヲ舉ゲテ見ルニ茲ニ一ノ告訴人ガアツテ其ノ者ハ甲某ノ申込ミニ依リ代金千圓前拂ノ上甲某ヨリ商品ヲ買取ラントシテ注文ヲシタガ甲某ハ其ノ代金ヲ受領シナガラ少シモ商品ヲ送ツテモ來ズ又代金ヲモ返サナイノハ千圓詐取シタノデア

ルト主張シ甲某自筆ノ千圓ノ領收證ヲ提出シタ場合ニ甲某ハ其ノ領收證ヲ爭ハズ代金ハ受取ツタガ此ノ方ヨリモ商品ハ確カニ全部引渡シタノデアアル併シナガラ其ノ引渡ノ際ニ受取ヲ徴シナカツタノハ手落ちデアツタト辯解スルコトガアル此ノ場合ニ兎ニ角商品ヲ引渡シタコトヲ辯解シテ居ル以上ハ例ヘ甲某ハ有力ナ證據ヲ持タズ又平素信用ノ薄イ人間デアツテ嘘ヲ吐クノダラウト思ハル、場合デモ十分ニ商品引渡ノ事實有無ヲ調査シテ見ナケレバナラナイ此カル場合ニ周密ナル注意ヲ以テ捜査シテ見ルト時ニ或ハ告訴人ハ商品ノ半ヲ引渡サントガ残ノ半ノ引渡ヲ履行シナイ爲メニ憤リノ餘リ千圓全部ヲ返還セヨト迫リ甲某ハ又其ノ要求ノ不當ナルヲ怒リ最早全部ノ商品ヲ送リタルモノナレバ返金ノ請求ニ應ジ難シト云ウ挨拶ヲシタ爲メ終ニ告訴沙汰ニナツタノデアアルト云フ様ナ事實ヲ發見スルモノデアアル人ハ感情ノ動物デアアル爭ヲ爲シツ、アル當事者ノ供述ハ間々此ノ様ナコトガアルモノデアアル從テ犯人ガ極力辯解スル場合ニハ假令偽ナラント思ハル、場合デアツテモ何等カ恃ム所ガアツテ云ウノカモ知レヌカラ一應取調ベテ見ナケレバナラナイ

吾人ハ被告人ヲ取調ブルニ先立ツテハ其ノ犯罪當時ニ於ケル動靜ハ勿論其ノ前



後ニ於ケル狀況態度如何ヲモ内偵シ置ク必要ガアル而シテ特ニ注目スベキ事實ガアツタナラバ被告人ヲ取調ブルニ當ツテ其ノ點ニ對スル説明ヲ求ムルコトハ甚ダ大切ナル事柄デアル例ヘバ人ハ犯罪後ニ於テハ大抵冷靜ニシテ居ラル、モノデハナイ多クハ發覺ヲ防クベキ何等カノ手段ヲ講ズルモノデ共犯人アル場合ニハ屢バ會合シテ密議ヲ擬ラストカ一時姿ヲ隠シテ事ノ成行ヲ窺ツテ居ルトカ或ハ又法律家ノ門ヲ叩イテ竊カニ研究スルトカ云フヤウナコトヲスルモノデアル而シテ是レ等ノ事實ハ犯人ノ意思ノ善惡ヲ推測スル上ニハ大ナル參考トナルベキハ見易キ所デアル

## 第二款 證 言

前款ニ於テ被告人ノ供述ハ其ノ肯定的ナルト否定的ナルトニ論ナク總テ證據トシテ效力アルモノナルコトヲ説明シタ從テ此ノ供述モ亦或ル意味ニ於テハ一ツノ證言デアル併シナガラ證言ト云フ詞ハ普通被告人ヲ外ニシテ立言スルコトガ例ニナツテ居ル故ニ證言トハ廣ク定義ヲ下ストキハ或ル事實ヲ見聞シタルコトアルベシト思料セラレタル被告人以外ノ總テノ人ノ供述ト云フコトニナル特ニ思料セラレタルト云フ文字ヲ用フル夫レハ何故カト云ヘバ或ル事實ハ何某ニ依

テ證明スルト云フ申立ニ依ツテ其ノ何某ヲ喚問シテ見ルト必シモ申立テノ通り其ノ事實ヲ見聞シテ居ラヌ場合モアル併シ喚問セント決定シタ當時ニハ其ノ人ハ其ノ事實ヲ知レルモノト假定セラレテ居ルカラデアアル從テ證言ニハ或ル事實ノ一部若クハ全部ニ對シテ肯定的ナルモノモアレハ又否定的ナルモノモアル譯デアアル而シテ此ノ如ク或ル事實ノ存否ニ付キ見聞ヲ述ブル所ノ人ヲ證人トイフテ居ル併シ刑事訴訟法ノ上ニ於テ證人ト稱シテ居ルノハ少シク其ノ範圍ガ狹イ然ラバ如何ナル人ヲ證人ト云フカト云フニ裁判所ハ或ルモノニ對シテハ證言ヲ爲スニ先チテ

「良心ニ從ヒ眞實ヲ述ベ何事ヲモ默秘セズ又何事ヲモ附加セザルコトヲ誓フ」ト云フ宣誓書ニ署名捺印セシムルノデアアル若シ此ノ宣誓ヲ爲シタルニモ拘ハラズ知ツテ居ルコトヲ秘密ニシタリ無イコトヲ有リト申立テタリ有ルコトヲ無イト言ヒ切ルト偽證罪トシテ處罰セラル、コトニナル此ノ如ク眞實ヲ告グルコトヲ強制セラルベキ人ヲ特ニ證人ト唱ヘ此ノ種ノ強制ヲ受ケザルモノハ之レヲ事實參考人ト呼ンデ居ル如何ナル者ガ證人タリ如何ナル人ガ事實參考人タルハキカハ追テ説クコトニスル



人或ハ宣誓ヲ用キタルガ故ニ其ノ言ヲ眞實ト推定シ參考人ノ供述ナルガ故ニ虛偽ト見做スベキモノ、如ク考ヘルナラハ夫レハ甚シイ間違デアル今日ノ訴訟法ハ自由探證主義ヲ採ツテ居ルノデアル從テ三歳ノ童兒ノ申立デモ心證ヲ形ヅクルニ足ルモノデアレバ採ツテ以テ證據ニ供スルコトガ出來ルシ犯人ノ親兄弟夫婦子孫ノ供述デモ信ズルニ足ルベキモノハ證據トシテ採用スルニ何等缺クル所ハナイノデアル又反之被告人ト何等ノ關係ナキ人が宣誓ノ上ニ爲シタル證言デアツテモ信ズルコトガ出來ナケレバ被告人ノ利不利ニ拘ハラズ一向之レヲ眼中ニ置カナクテ宜シイ抑モ訴訟法ガ證人ト參考人トノ區別ヲ設ケタ譯ハ被告事件ニ就イテ證言ヲ爲スモノト被告人トノ身分上職業上等ノ關係ヨリ其ノ者ニ對シテ被告人ノ利害ニ拘ハラズ眞實ノ供述ヲ爲スコトヲ強ヒ又ハ供述ヲ辭スル能ハズト爲スコトガ人情ニ適セズ義理ニ合ハズ又ハ苛酷ニ失スルモノデハナカラウカドトカヲ斟酌シタニ過ギナイ從テ檢察事務ニ從フ者ハ專ラ眞實ヲ語ラシムルコトニ意ヲ注グベキデハアルガ一面訴訟手續上宣誓ヲ命ズ可キモノデアアルカドトカ被告人ト如何ナル關係ヲ有スルカト云フコト丈ハ一應問查シテ置クノヲ便利トスル

然ラバ證人ト參考人トヲ區別スベキ標準ハ何デアルカ之レハ刑事訴訟法學ニ於テ研究スベキ問題デアツテ今茲ニ詳論スベキ限リデナイガ一ト通リ刑事訴訟法ノ規定スル所ヲ綜合シテ略説スレバ事實參考人トスヘキモノハ同法第百二十三條第百二十四條ノ規定スル所ニ依レバ

- 一 刑事訴訟ニ附帶シ若クハ民事訴訟ニ依ツテ損害ノ賠償又ハ贓物ノ返還ヲ目的トスル請求訴訟ヲ提起シタル者從ツテ檢察ノ任ニ當ル者ガ證人ヲ問查スルニ當ツテハ既ニ係争物ニ付イテ民事訴訟ヲ提起シテアルカ又ハ是レヨリ附帶私訴若クハ民事訴訟ヲ提起セントスルヤ否ヤヲ明カニシナケレバナラヌ
- 二 前掲ノ訴訟ヲ提起シタル者ノ親屬及ビ刑事被告人ノ親屬但シ姻族ニ付テハ婚姻解銷後ト雖モ亦同シ
- 三 前掲ノ訴訟ヲ提起シタル者ノ後見人又ハ其ノ後見ヲ受クル者及ビ刑事被告人ノ後見人又ハ其ノ後見ヲ受クルモノ
- 四 前掲ノ訴訟ヲ提起シタル者ノ雇人又ハ同居人及ビ被告人ノ雇人及同居人



- 五 重罪事件又ハ懲役ノ刑ニ該ルベキ事件ニ付キ公判ニ付セラレタル者
  - 六 現ニ供述ヲ爲スベキ事件ニ付キ曾テ訴ヲ受ケ其ノ證憑十分ナラザルニ因リ豫審免訴ノ言渡ヲ受ケタルモノ
  - 七 十六歳未満ノ者
  - 八 知覺精神ノ不十分ナル者
  - 九 瘖啞者
  - 十 公權ヲ剝奪セラレ又ハ之レヲ停止セラレタル者
- 等デアアル從テ其ノ他ノ者ハ證人トシテ供述ヲ爲サシムルニ差支ナイノデアアル證言ト云フモノハナカナカ正確ヲ期スルコトハ難イモノデアアル若シ證人が自己ノ見聞シタコトニ間違ガナク又其ノ記憶亦明確デアツテ且其ノ見聞ヲ記憶ノ儘ニ語ルナラバ此カル證言ハ確實ナル證言デアツテ其ノ信憑力ハ少シモ間然スル所ガナイモノト言フベキデアアル併シ此カル完全ナル證言ハ常ニ得ラル、モノデナイ夫レハ何故カト云フニ證人ハ往々ニシテ被告人又ハ被害者ト身分上社交上愛憎恩怨ノ關係ヲ有シテ居ル爲メニ或ハ被告人ヲ曲庇シタリ又ハ之レヲ陷害シタリスル爲メニ自カラ正確ニ見聞シ確實ニ記憶スル事實ヲ默秘シタリ又ハ嘗テ

見聞シタコトノナイ事柄ヲ恰モ親シク見聞シタ様ニ供述スルコトガアル此カル場合ニ其ノ證言ノ眞偽ヲ觀破スルコトハ固ヨリ困難デアアルガ被告人ナリ被害者ナリト證人トハ如何云フ關係ガアルカヲ斟酌シ傍證ニ對照シテ精細ニ調査シテ見レバ證言ノ眞偽ヲ判定スルコトハ左ノミ困難ナ問題デハナイ況ンヤ刑事訴訟法上證人トシテ取調ヲ受クベキ地位ニ在ル者ハ偽證ノ制裁ヲ受クル危險ガアルカラ一時ハ偽リヲ言ウテモ少シク嚴密ニ取調ベヲスレバ結局虛偽ハ虛偽トシテ訂正シ不心得ヲ反省スルモノデアアルカラ眞實ヲ見出スコトハ比較的容易デアル其處デ被告人ナリ被害者ナリト證人トノ關係上稍モスレバ偽證ヲ爲ス處ガアルト見タナラバ豫メ證人ニ對シテ虛偽ノ申立ヲシナイヤウニ注意ヲシテ偽證罪ノ發生ヲ未發ニ防グコトヲ期シナケレバナラナイ

然シ證人が事實ト背馳シタ證言ヲ爲スコトハ必シモ故意ニ出ヅルモノト云ヘナイ場合ガアル例ヘバ證人が事實ヲ見聞シタ當時ニ於テ業ニ既ニ認識ヲ誤ツテ居タ場合ニハ勢イ其ノ證言ハ事實ニ反セザルヲ得ナイ又見聞當時ニ於ケル事實ノ認識ハ少シモ間違ツテ居ラナカツタノデアアルガ記憶カラ脱シタニ拘ハラズ當時ノ事情ヨリ推測シテ此クアリシナラント想像シタルコトヲ聽テ事實トシテ證言



スル爲メニ往々事相ヲ謬ラシムル結果ニ陥ルコトモアル檢察事務ニ從フモノガ眞實ヲ發見スル上ニ於テ最モ危険ヲ感ジ困難ヲ覺エルノハ即チ此ノ種ノ善意ノ偽證ニ接シタ場合デアアル

今假リニ一ノ電車ガ御茶ノ水橋カラ明治大學ノ前ヲ通過シテ駿河臺下停留場ニ停車スベク神保町小川町間ヲ通過スル電車線路ヲ横斷シツ、アル際ニ偶々其電車ガ過ツテ人ヲ轢殺シタ事件ガアツタトシテ其ノ當時ノ光景ヲ目撃シタ人々ニ就キ證言ヲ徵スル場合ヲ想像シテ見ヤウ云フマデモナク其ノ犯罪ノ行ハレタ現場ハ諸君ノ知ラル、通り隨分雜鬧ノ場所デアアル今人ヲ轢殺シタ電車ハ表神保町ヲ横斷シ錦町ノ西側ヲ觸レテ神田橋ノ方ヘ行カウトシテ居ルノデアアルシ九段三崎町方面カラハ三田行電車モ來レバ龜澤町行電車モ來ル又反對ニ錦町方面ヨリハ御茶水ヘ行カントスル電車モ來レバ巢鴨行新宿行青山行ノ電車モ來ルノデアアル然カルニ吾人ガ電車ニ轢殺セラレタ旨ノ報告ヲ受ケテ現場ニ臨ンダ場合ニ其ノ現場ニ居合ハセテ被害現況ヲ目撃シタリト云ウテ居ル證人ヲ調べテ見ルト其ノ證人ハ實際明治大學ノ方カラ錦町ノ方ヘ進行シタ電車ガ人ヲ轢イタ刹那ノ光景ヲ見タノデハナクテ其ノ電車ガ人ヲ轢イテ之レヲ右側ニ跳ネ飛バシタ處ヘ反

對ノ方向カラ電車ガ來タ光景ノミヲ見テ應テ加害電車ハ其ノ反對ノ方向カラ來タ電車其ノモノデアツタヤウニ供述スル場合モアラウ又或ハ被害者ノ横ハツテ居ル慘狀ヲ見之レト同時ニ龜澤町行電車又ハ新宿行青山行等ノ電車ガ今シモ現場ヲ過去リタルバカリデアルト云フ事實ヲ見テ直チニ其ノ龜澤町行又ハ青山行新宿行電車ガ加害車デアルト速斷シ其旨ヲ證言スル場合モアラウ此カル觀察違ヲシテ居ル證人ハ何レモ確信ヲ以テ良心ニ耻ヅル所ナク此ノ證言ヲ爲シテ居ルノデアルカラ吾人ハ稍モスルト之レガ爲メニ事相ヲ錯マラル、虞ガアル之レ等ノ證言ハ事實ノ真相ノ上カラ云ヘバーツノ偽證デアアル唯夫レガ善意デ申立テラレテ居ルト云フ迄デアアル吾人ハ此ノ善意ノ偽證ニ誤マラレナイ爲メニハ各證人ガ事實ヲ見聞シタル當時其ノ人ノ在リタル位置周圍ノ狀況等例ヘバ證人ハ何レノ方向ヨリ何レノ地ニ向ツテ進行中ナリシカ又何レノ方向ニ行ク電車ニ乗込マントシテ待合ハセシカ又ハ證人ハ何ノ目的ヲ以テ何レノ場處ニ居合ハセシカ被害者ハ果シテ何レノ方向ヨリ何レニ向ツテ歩行中轢カレシモノカ被害當時信號係ハ居リシヤ否ヤ居リシトスレバ如何ナル信號ヲ爲シツ、アリシカ加害電車ハ非常信號ヲ行ヒタルヤ否ヤト云ウヤウナ點ヲ仔細ニ調べテ見テ證言ノ眞偽ヲ試



メス外ハナイノデアル之レ等善意ノ偽證ハ證言者ニ於テ確信ヲ以テ申述ヘラレテ居ル丈ケニ吾人ハ兎角心證ヲ動カサレ易イモノデアアル從ツテ之レヲ排斥スルニハ充分ナル確證ヲ提供シナケレバナラナイ之レ即チ惡意ノ偽證ヨリモ恐ルベシト云フ所以ナノデアアル

人ノ見聞ハ其ノ人ノ性質ニ依リ將タ職業ニ依リ異同アルコトハ免カレ難イ所デアアル粗大ナル氣性ノ者ノ觀察ト綿密ナル性格ノ人ノ觀察トハ著シイ相違ガアラウ又證言ヲ徵セントスル事項ニ關係アル職業ノ人ト此カル事項ニ沒交渉ノ商買ノ者トハ事實ノ認識上甚シイ差ガアルデアラウ加之人ノ心理情態ノ如何ハ事物ヲ認識スルニ當ツテ至大ノ關係ヲ持ツモノデアアル例ヘハ暴行脅迫ヲ受ケタ爲メ恐怖シ居ル際ノ如キニアツテハ甚シク事物ノ觀察ヲ錯ルモノデ彼ノ強盜ガ脅迫ノ用ニ供スル爲メ玩具ノピストル又ハ鐵葉ノ劍ヲ示シタ場合ニ其ノ物ヲ眞實ノ兇器ト見ルニ至ルノデアアル故ニ此カル心理狀態ニ在ツタ人ヨリ證言ヲ徵スルニハ注意ヲ要スルシ又其ノ證言ノ價值ヲ定ムルニハ十分ニ斟酌ヲ加ヘナケレバナラナイ

法律上カラ云フト十六歳未滿ノ少年ハ證人資格ガナイコトニナツテ居ルガ之レ

ハ宣誓ヲ用キナイト云フマデノコトデ吾人ノ實驗スル所ニ依ルト少年ノ證言ハ案外ニ正直デアツテ事物ノ觀察モ亦正確ナルモノデアアル蓋シ中年以上ノ人ハ各自既ニ諸般ノ現象ニ遭遇シテ之レガ觀察ニ慣レテ居ル丈ニ又却テ日常ノ事物ニ注意ヲ拂ハナイヤウニナルガ少年ニ在ツテハ其ノ見聞スル所日々ニ新シイカラ一々好奇ノ念ヲ以テ觀察シ智識ヲ博メヤウトシテ居ルカラデアラウ例ヘバ我々中年者ハ日々電車ノ往來ヲ見飽キテ居ルカラ一ノ電車ガ通過シテモ少シモ意ニ留メナイノデアアルガ少年ハ概シテ之レヲ輕々ニ看過シナイ例ヘバ車體ノ形狀ニ變ツタ所ガアルト直チニ奇異ニ感ズル車體ノ色ハ空色デアアルカ樺色デアアルカ番號ハ何番デアアルカ運轉臺ニ運轉手ガ二人乗ツテ居ルノハ妙デアアル車掌ハ胸間ニ賞牌ヲ下ゲテ居タ滿員デナイノニ滿員札ガ下ガツテ居ルノハ可笑シイト云ウヤウニ突嗟ノ間ニ種々ナル觀察ヲ爲スノガ常デアアル此ノ如キ鋭敏ナル觀察者タル少年ハ偶發的ノ出來事ノ證人トシテ頗ル有力ナル證人デアアル少年ハ敏捷ナル觀察者デハアルガ推理ノ力ニ至ツテハ終ニ大人ニハ及バナイ併シ此ノ點ガ又一面ニ於テ大人ニ比シテ間違ガナイ所デアアル彼ハ自己ノ見聞ヲ其ノ儘ニ説明スルコトハ出來ルガ其ノ見聞ヲ基礎トシテ推理シタル想像談ヲ爲ス



危険ガナイカラデアル又少年ハ偶々他人ノ教唆ニ依リ又ハ自己ノ發意ニ依ツテ  
 偽言ヲ爲サウトシテモ推理力ニ乏シイ從テ前後ノ矛盾ヲ避ケルコトガ出來ナイ  
 カラ證言中必ズ真相ノ一端ヲ暴露スルニ至ルモノデアル  
 證人ノ調査ハ成ル可ク迅速ニ之レヲ行ハナケレバナライ何トナレバ時日ヲ經  
 過スルコトガ久イト事實ヲ遺忘スル虞ガアルシ又假リニ遺忘シナイ迄モ重要ナ  
 ル證人ガ居所ヲ轉ジタ爲メニ證人ノ所在ヲ發見スルコトカ出來ナイヤウニナル  
 コトモ起ツテ來ルシ時ニ或ハ證人ガ死亡シテ了ウコトモアル被ノ殺傷事件ニ於  
 ケル被害者ハ其事件ニ於テハ最モ重要ナル證人デアアルカラ被害者ニシテ苟モ生  
 命ノアル間ハ最モ急速ニ出來得ル丈ノ訊問ヲシテ要點ニ對スル證言ヲ徵シテ置  
 カナケレバナライ此カル事件ニ在ツテハ被害者ノ臨終ニ聞キ得タル片言雙語  
 ガ犯罪ヲ檢舉スル唯一ノ手掛リトナリ又ハ其ノ罪案ヲ斷スル無二ノ證據トナル  
 コトハ決シテ珍シクナイ

### 第三款 鑑定

鑑定人ト云フノハ或ル事項ニ就イテ普通人ニ優ツタ學識智能ヲ有スルガ爲メ其  
 ノ事項ニ關係アル刑事事件ニ關シテ捜査官若クハ裁判所ヨリ其ノ事項ニ對スル

意見ヲ徵センガ爲メニ喚問セラル、人ヲ指スノデアアル而シテ鑑定トハ鑑定人ト  
 シテ喚問セラレタル者ガ鑑定ヲ命ゼラレタル事項ニ對シテ口頭又ハ書面ヲ以テ  
 陳述スル所ノ意見ヲ云フノデアアル

抑モ捜査官又ハ裁判官ニシテ圓滿ナル智識ヲ具備シ百般ノ技能ニ長シテ居タナ  
 ラバ鑑定ナル制度ハ毫モ其ノ必要ヲ認メナイ譯デアアル併シ此ウ云フコトハ實際  
 ニ於テ望ムコトガ出來ナイカラ止ムヲ得ズ此ノ制度ヲ設ケ或ル特段ノ智識ヲ有  
 スル者デナケレバ解釋出來ナイ事項ニ關シテハ鑑定ニ依テ補足シ斷罪ノ助ケト  
 爲スノ止ムナキニ至ツタノデアアル吾人ガ鑑定ニ待ツ所ノモノハ單ニ判斷ノ資料  
 ヲ得ントスルノニ在ツテ罪案自體ハ決シテ之レヲ鑑定人ニ求ムベキモノデハナ  
 イ吾人ハ常ニ此ノ旨ヲ體シテ鑑定ヲ利用スベキデアアル例ヘバ醫師ガ其ノ業務上  
 ノ過失ニ因ツテ人ヲ殺傷シタリト云フ被告事件ニ於テ若シ吾人ガ醫學上ノ智識  
 ヲモ兼ネ有シテ居タナラバ其ノ醫師ニ過失アリヤ否ヤハ鑑定ノ助ケヲ借リナク  
 テモ判斷出來ル譯デアアル併シ醫學上ノ智識ガ乏シイ爲メニ止ムヲ得ズ鑑定ノ力  
 ヲ借リルトシテモ吾人ハ鑑定人ニ就キ被告タル醫師カ被害者タル患者ニ對シ  
 テ施シタル治療行為カ患者ノ不健康狀態(傷害)若クハ死亡ノ原因タリシヤ否ヤ[若



シ其ノ原因タリシモノトスレバ其ノ治療行爲ハ醫學上通常用フベカリシ手段ナリシヤ否ヤ其ノ治療行爲以外ニ他ニ施スヘキ適當ナル方法存セザリシヤ否ヤ等ノ意見ヲ徵スルコトハ適當デアラウケレドモ若シ其ノ治療行爲ニ過失アリヤ否ヤ若クハ殺傷ガ其ノ過失ニ原因スルヤ否ヤノ意見ヲ徵スルコトニナルト鑑定ノ制度ヲ設ケタ必要ノ程度ヲ超越スルコトニナリ捜査官裁判官ハ自己ノ職責ヲ全然鑑定人ニ譲ツテシマウヤウナ結果ニ陥ルデアラウ更ニ一例ヲ設ケテ説明スレバ茲ニ文書偽造ノ被告事件ガアツテ其ノ罪體ヲ爲ス所ノ文書ガ被告人ノ手記ニ係ルヤ否ヤヲ知ランカ爲メニ被告人ノ手記シタルモノト偽造文書ノ筆蹟トヲ對照シテ筆蹟ノ鑑定ヲ爲サシムルニ當ツテ雙方ノ文書ニ表ハレタル筆蹟ノ異同ヲ鑑別セヨト命ズルハ相當デアアルガ偽造文書ハ被告ノ作成シタルモノナリヤ否ヤヲ判斷セシムルコトハ不當ナル處置ト云ハナケレバナラナイ吾人ガ鑑定ヲ利用スル時分ニハ常ニ此ノ點ニ注意シナケレバナラナイ

鑑定人ハ夫レノ或ル専門ノ智識技能ヲ有スルモノデアルカラ各自其ノ智識技能ニ付自負スル所ガアルト同時ニ往々ニシテ其ノ智能ノ深遠ナルコトヲ術フノ弊害ガナイトハ言ヘナイ殊ニ學者ノ如キニ至ルト徒ラニ空理ニ馳セ間々僻論奇

說ヲ唱ヘテ自カラ出色アリト爲ス者ガ少クナイ吾人ハ鑑定人ヲ撰定スルニ當テハ此カル私心アル人ハ之レヲ避ケ公平且ツ誠實ナル者ヲ撰マナケレバナラナイ又鑑定人ノ一ノ弊害トシテハ時ニ鑑定ヲ命ジタル人ノ意ヲ迎ヘントスル者ノアルコトデアアル鑑定ヲ以テ一ノ職業トシテ居ル者ノ間ニ殊ニ此ノ弊ヲ見ル故ニ吾人ガ鑑定ヲ命ズル時分ニハ成ルベク鑑定事項以外ノ事實ヲ鑑定人ニ語ラナイヤウニシナケレバナラナイ吾人ガ其ノ鑑定ヲ要スル事業ニ付テ如何ニ觀察ヲ下シテ居ルカヲ知ラシメナイヤウ注意スベキデアアル或ハ鑑定人ニ對シテ一件記録全部ノ閱覽ヲ許シタリ事件進行ノ經過ヲ開示タリ又ハ鑑定ヲ命ジツ、アル事項ニ對スル自家ノ臆測ヲ語ツタリスルコトハ少シモ益ガナイノミナラズ反ツテ鑑定ヲ曲ゲサセタリ錯ラシタリスル虞ガアルカラ深ク慎シマナケレバナラナイ吾人ガ鑑定ヲ利用スベキ事項ニハ何等ノ制限ガナイ例ヘバ物品ノ價格ヲ知ランガ爲メニ夫レ等ノ物品ヲ取扱フ所ノ商人ヲ鑑定人トシテ喚問スルコトモ出來ル農事ニ關シテ農夫ノ意見ヲ徵シ工業ニ關シテ職工ノ見解ヲ聽クモ悉ク鑑定デアアル鑑定ノ種類ハ鑑定ヲ要スベキ事項ノ異ルニ從ツテ異ナルノデ實ニ千差萬別デアアル殊ニ學問ノ進歩業務ノ分科ニ伴ツテ鑑定ノ利用ハ追々擴張スルコトデアラ



少目下我國デ最モ頻繁ニ行ハレテ居ルノハ醫師ノ鑑定デアラウ此ノ點ニ付テハ  
 裁判醫學又ハ法醫學ノ名稱ノ下ニ種々ノ著述ガアルカラ宜シク參照スベキデア  
 ル唯吾人ハ我國ニ於テハ檢察ノ任ニ在ル人々ガ殺傷事件ニ付テ餘リ多ク醫師ノ  
 鑑定ニ依頼シテ居リハシナイカト疑ツテ居ル今茲ニ他殺ノ疑アル死體ガアツタ  
 トヌレバ其ノ死因ノ如何ヲ知り若クハ創傷ノ有無部位方向用器等ヲ闡明スルコ  
 トハ必要ナコトデ之レ等ノ事項ヲ明カニスルニハ醫師ノ鑑定ニ待ツ外ナカラウ  
 併シ之レガ爲メニ直チニ死體ヲ醫師ニ委ネテ了ツテハ憾ヲ後日ニ遺スコトガナ  
 イトハ云ヘナイ夫レハ何故カト云フニ例ヘバ死體ニ附着セル一本ノ毛一點ノ埃  
 ハ死因ヲ確ムル上ニ於テハ殆ト何等關スル所ガナイカラ醫師ノ方デハ殆ト存在  
 スラ認メナイデ終ニ解剖ノ終了ト共ニ葬リ去ラレルデアラウ此カル場合ニ檢察  
 ノ任ニ在ル人ニ於テ一本ノ毛一點ノ埃デモ輕々ニ看過セズ苟モ怪ムベキモノガ  
 アツタナラバ之レヲ顯微鏡學者ノ手ニ託シテ毛ハ男子ノ毛カ女子ノ毛カ埃ハ如  
 何ナル性質ノ物デアルカヲ鑑定セシムルト其ノ毛ハ死者ノ身體ニ生ジテ居タ毛  
 デナク年齢何歳位ノ男子ノ毛デ營養佳良ナル勞働ヲ爲ス者ノ毛デアルトカ又ハ  
 埃ハ死體ノ發見セラレタ田舎ノ土地ニ於テ見ルコトノ出來ナイ埃デ都會ノ然カ

モ或ル地域ニ特有ノ塵埃デアルト云フヤウナコトガ分ツテ捜査上多數ノ端緒ヲ  
 得ラル、デアラウ故ニ吾人ハ輕々シク醫師ニノミ依頼セズ死體ヲ醫師ニ託スル  
 前ニ別ニ捜査ノ端緒ヲ死體其ノ者ヨリ見出スヤウニ勉メナケレバナラナイ  
 顯微鏡學者ニ依ル鑑定ハ犯罪ノ檢察上頗ル有效ナルモノデアル而シテ之レニ依  
 テ檢舉ノ目的ヲ達シタ實例ハ決シテ少クナイ例ヘバ殺人嫌疑者ノ衣類ニ附着セ  
 ル微細ナル汚點ヲ鏡檢シタラ夫ガ血痕デアツタトカ又ハ被害者ガ絞殺サレタ場  
 合ニ脱糞シタ其ノ糞便ト同一成分ノ糞便ノ飛沫デアツタトカ云フヤウナ場合モ  
 アリ或ハ又加害嫌疑者ノ所有ニ係ル刀劍等ニ血液ガ附着シテ居ハセヌカト云フ  
 ノデ仔細ニ鏡檢シテ見ルト血液ハ少シモ發見シナカツタガ草ノ葉ノ破片ガ存在  
 シタ其處デ斬殺死體ノ存在シタ附近ヲ綿密ニ搜索シテ見タラ程遠カラヌ處ニ草  
 葉ヲ以テ血ヲ拭ヒ棄テタモノガアツテ初メテ事實ガ明瞭ニナツタヤウナ場合モ  
 アリ吾人ハ鏡檢法ノ利用益々汎カランコトヲ望ムモノデア  
 吾人ハ此ノ他種々ノ點ニ於テ鑑定ヲ利用シ得ベキ場合ガアル毒藥劇藥等ノ問題  
 ニ付テハ化學者ノ鑑定ヲ求ムベク熱度音響力等ノ疑問ヲ解釋スル必要ニ遭遇シ  
 タラバ物理學者ニ鑑定セシムベク彈丸ニ關スル疑義アラバ之レヲ銃砲家ニ質ス



ベク動物植物礦物カ事件ニ關係ヲ有スルナラバ之レ等ノ專門家ノ意見ヲ徵シナケレバナラナイ

筆蹟鑑定家ナルモノハ歐米諸國ニモ存在シ之レヲ利用スルコトハ我國ニ於ケルト同一デアアルガ人或ハ之レヲ排斥シテ筆蹟鑑定ハ學術上ノ根據ヲ有セザル一ノ臆測ニ過ギナイト云フモノモアル現今我國ニ行ハレテ居ルモノモ亦同一ノ非難ヲ免カレナイガ人ニ依リ筆趣ヲ異ニシ男女ニ依リ筆意ヲ異ニシ又年齢ニ依リ筆力ヲ異ニスルコトハ否定スベカラザル事實デアアル以上ハ多數ノ筆蹟ニ接シテ鑑識ヲ養ハレタ人ノ意見ハ鑑定トシテ全ク價值ナシトハ言ヘヌデアラウ

#### 第四款 檢 證

檢證或ハ實況見分ト云フノハ裁判官又ハ檢察官ガ或ル事物ノ存否ヲ確ムル爲メ目的タル事物ニ直接シテ之レヲ檢査スルコトヲ指スノデアアル換言スレハ視聽嗅味觸ノ五感ニ依ツテ事物ニ直接シテ或ル事實若クハ物體ノ存在スルヤ否ヤヲ取調ブルノデアアル而シテ之レヲ或ハ檢證ト云ヒ或ハ實況見分ト名ツケルノハ裁判所ガ爲ス場合ト捜査官ガ爲ス場合トニ依ツテ名稱ヲ異ニスルマデ、處分ノ内容ニ至ツテハ差別ハナイノデアアル但シ現行犯事件ニ付テ捜査官ガ假豫審處分トシ

テ爲ス場合ニハ矢張り檢證ト云フテ居ル

此ノ處分ハ前ニ言ウタ通り五感ニ依ツテ實査スルモノデ名ハ見分ト云ウデアアルガ必ズシモ眼ヲ視ルコトバカリガ見分ハナイ物ノ内部ガ空虚デアアルカ實塞シテ居ルカヲ知ル爲メニ之レヲ擊ツテ其ノ音響ヲ聽イタリ物ノ辛酸苦甘ヲ試ミンガ爲メニ之レヲ口味ニ徵スルトカ兇器ノ利鈍ヲ確メ又ハ物ノ冷熱ヲ驗センガ爲メニ之レ等ノ物件ニ接觸シテ見ルヤウナコトハ何レモ實況見分ナノデアアル檢證ハ本來公判ニ於テ爲スベキモノデアラウ今日ノ刑事訴訟法ハ直接審理主義ヲ採ツテ居ルノデアアルカラ若シ被告事件ニ關係アル物件ニ直接シテ審査スル必要ノ生ジタ場合ニハ其ノ物件ヲ押收シ裁判所ニ於テ審査檢證スヘキモノデアアル而シテ其ノ物件ヲ法廷ニ運ブコトガ出來ナイカ又ハ之レヲ押收スルコトガ甚ダ不便デアアル場合ニハ其ノ物ノ所在ニ臨ミ其ノ物ニ直接シテ檢證シナケレバナラナイ然ルニ一ノ犯罪ガ發覺シテカラ裁判所ニ起訴セラル、迄ノ間ニハ多少ノ日時ヲ費スコトハ免カレナイ處デアアルカラ或ハ之レガ爲メニ犯罪ニ關係アル必要ナル證據物件カ滅失シタリ又ハ變更スルコトガナイトモ限ラヌ其處デ捜査官ハ便宜上其ノ證據物件ヲ領置シテ證據ノ保全ヲ計ルノデアアルガ領置ノ手續ニ出ヅ



ルコトガ不能デアル場合ニハ其ノ物ニ就イテ實況見分書檢證調書等ヲ作成シテ見分ノ結果ヲ明カニシ證據ヲ保全シテ置クノデアアル  
 捜査官ガ檢證ヲ爲ス目的ハ起訴以前ニ於テ湮滅セントスル證據物件ノ證據力ヲ保全スルニ在ルモノデアアル以上ハ檢證ノ手續ハ最モ機敏ニ行フヲ要スルト同時ニ後日ニ於テ遺憾ナキ様周密ナル觀察ヲ遂ゲ一々之レヲ書面ニ記載シ遺漏ナキコトヲ期セナケレバナライナイ實況見分書ニハ被告人ニ利益トナルヘキ事實モ不利益ニ歸スベキ事實モ共ニ公平ニ記載シ苟モ裁判所カ事件ヲ判斷スルニ付テ參考トナルベキ點ハ細大漏サズ其ノ要領ヲ明カニシ此ノ書面ヲ讀ム者ヲシテ宛カモ其ノ現場ニ臨ムノ思ヲ爲サシムルコトヲ理想トスベキデアアル例ヘハ或ル殺人犯人カ瓦斯ヲ引用セル家屋ニ居住スル家人ヲ鑿殺センガ爲メ深夜家人ノ熟睡セラルニ乘シテ瓦斯管ヲ決シテ瓦斯ヲ漏洩セシメ終ニ家人ヲ窒息死ニ致シタト云フヤウナ事案ニ於テ兇變ヲ發見シタル者ノ告發ニ依リ現場ニ臨檢スルモノト假定セヨ此カル場合ニ吾人ガ被害者ノ家ニ於テ如何ナル燈火ヲ用キテ居ツタカ石油燈ヲ使用シテ居タカ電燈ヲ使ツテ居タカ抑モ又瓦斯燈ヲ用キテ居タカヲ明カニシテ置クコトハ事案ヲ斷スル上ニ於テ重切ナル關係ヲ有スルコトハ明カデアラ

ウ然ルニ臨檢者ハ家屋内ニ入ルニ先立チテ先門戸ヲ悉ク開放シ換氣法ヲ施シ然カモ如何ナル燈火ヲ用キテ居タカヲ確メズニ檢證ヲ終ツタトスレバ此ノ事案ノ前途ハ實ニ暗黒ナモノトナツテ了フデアラウ夫レデアルカラ吾人ハ臨檢ヲ爲ス時分ニハ常ニ五感ヲ銳敏ニ働カセ少シデモ奇異ニ感ジタ點ガアツタラハ之レガ解決ヲ得ルマデハ遑カニ現狀ヲ變ゼシメテハナライナイ今述べタ例ニ就イテ云ヘバ先ヅ發見者ノ發見當時ニ見聞シタル事實並ニ告發スル迄ニ現場ヲ變ジタルコトアリヤ否ヤヲ確メ次ニ臨檢シタル際ニ於ケル家屋ノ内外ノ光景ヲ仔細ニ觀察シ是等ノ手續ヲ終ツタ上ニ死體ノ模様ヲ檢査シ然ル後之レヲ鑑定ニ付スル等ノ手續ヲ探ルト云フヤウニ順序ヲ遂ウテ調査ヲ進メ之レ等ノ顛末ヲ記録ニ殘サナケレバナライナイ  
 又例ヘハ傷害事件ノ如キニ在ツテハ其ノ被害者ハ概シテ他人ノ救護ヲ受クルモノデアアルカラ臨檢當時ニハ犯罪ノ現場ニ居ラズシテ醫師ノ許ニ在ツテ時ニ或ハ不注意ナル手術ヲ受ケツ、呻吟シテ居ルヤウナコトガアル此カル場合ニ若シ其ノ被害者ガ他日死亡シタルトキニハ其ノ致命ノ原因ガ犯人ノ傷害行爲ニ基イテ居ツタノカ抑又傷害其ノモノハ比較的輕微ナモノデアツタガ醫師ノ手術中消毒



等不行届ナリシコトガ主因ヲ爲シタノデアアルカト云フガ如キ疑問ガ起ル場合モアル而シテ臨檢ノ當時被害者ノ被害ノ模様ノミヲ調査シ臨檢以前ニ於テ被害者ニ對シテ手當ヲ爲シタル醫師ノ手術ニ過失ガアリハセヌカドウカ其ノ邊ノ調査ヲ遺忘シテ在ツタトスレバ終ニ此ノ傷害事件ノ被告人ノ責任程度ハ正確ニ之レヲ斷定出來ナイコトニナルノデアラウ之レヲ要スルニ吾人ハ檢證ヲ爲スニ當ツテハ吾人ガ檢證ヲ爲サントスル目的ノ存在スル個所ニ他人ノ出入スルコトヲ嚴禁スルコトガ第一ノ要務デアアル恣ニ他人ヲシテ出入セシムレバ故意ニ若クハ無意ニ現況ヲ破壊セラレテシマウカラデアアル吾人ハ又之レト同時ニ愈ヨ檢證ヲ爲ス際ニハ現場ガ犯罪ニ關係アル事實ノ發見セラレタ前後ニ於テ如何ナル狀況ヲ呈シテ居ツタカラ明瞭ニシ苟モ檢證ニ遺漏ナキ様注意スベキモノデアアル

泰西法律家ノ格言ニ

*Qui, quid, ubi, quibus, auxiliis, cur, quomodo, quando.*

ト云フ語ガアル其レヲ直譯スルト

誰ガ、誰ヲ、何處デ、誰ト、何故ニ、如何ニシタカ、而シテ何時、

ト云フ意味デアアル吾人ガ犯罪ヲ捜査スルニハ常ニ右ノ格言ニ言ヒ表ハサレテ居

ル諸點ヲ明カニシテ行カナケレバナラナイノデアアルガ殊ニ檢證ヲ爲ス場合ニハ多ク混亂セル状態ニ在ルノデアアルカラ明確ニシテ置クベキ必要ノアル點ニ注意ノ届カナイヤウナコトガ起ツテ來ル其處デ吾人ハ右ノ格言ヲ暗記シテ之レヲ目安ニシテ總テノ點ニ付調査ヲ盡シタカドカヲ試ミルノハ有益ナコト、思フ右ノ格言ノ意味ヲ敷衍シテ見ルト犯人ハ誰デアラウカ、被害者ハ誰カ、犯罪ハ何處デ行ハレタノデアラウカ、共犯人ハアルマイカ、犯罪ノ原因ハ何デアラウカ、犯罪ノ方法ハ如何、犯罪ノ行ハレタ時期如何ト云フコトニ注意セヨト云フコトデアアル

檢察事務ニ従事スル者ガ檢證又ハ實況見分ヲ爲シタトキハ之レガ調書ヲ作成シナケレバナラヌガ調書ヲ作成スル時分ニハ檢證ノ目的物ノ存在スル場所ノ圖面ヲ調製シ圖面ノ要點ニハ、イ、ロ、ハ、ノ符合ヲ付シ之レヲ援用シテ檢證ノ結果ヲ説明スルノガ簡單明亮デアアル而シテ圖面ヲ作ルニハ最初現場ニ臨ンダ當時ニ於テ目撃シタル儘ヲ巨細ニ描寫スルヤウニシナケレバナラナイ殊ニ若シ臨檢ノ際足跡血痕等犯罪ト密接ナル關係ガアリサウニ思ハレタ形跡ノ存在ヲ認メタナラバ直チニ其ノ滅失ヲ防グ爲メニ箱ノ様ナモノヲ以テ之レヲ蔽ウテ置クノガ宜敷イサウシテ置カスト他ノ部分ヲ視察シテ居ル間ニ他人ノ爲メニ蹂躪セラレテシマウ



虞ガアルカラデア  
 犯罪ノ現場ヲ檢證スルニ當ツテハ單ニ其ノ現場ノミニ觀察ヲ止メズ廣ク其ノ附近ヲモ觀察スベキデアアル夫レハ何故カト云フニ犯罪者ハ一般ニ犯跡ヲ遺サナイヤウニ苦心スルモノデアツテ或ハ自己ノ足跡ヲ隠シ消シテ行クトカ地上ニ印シタ血痕ヲ拂拭スルトカ又ハ逃走ノ方向ヲ誤解セシメンガ爲メ現場ヨリ或ル距離ノ間背進シテ反對ノ足跡ヲ印シテ置クヤウナコトヲスルノハ決シテ稀デナイ然シ犯人ハ或ル距離迄落延ビルト其ノ注意ハ頓ニ薄ライデ種々ノ痕跡ヲ遺シテ顧ミナイヤウナコトガアルカラデアアル

檢證ノ際發見シタル足跡ヲ保全スルニハ若シ板間石畳ノ上等ニ留メラレタモノデアツタナラバ或ハ之レヲ寫眞器デ撮影スルトカ又ハ硝子板デ蔽ウテ其ノ上カラ輪廓ヲ筆寫シテモ可イ若シ地上又ハ積雪中ニ深ク印象セラレタル足跡デアツタナラバ石膏等ヲ水膠デ溶解シ之レヲ其ノ陷沒シテ居ル個所ヘ流シ込ミ之レヲ乾燥セシメテ足型ヲ取ルコトガ出來ル吾人ハ足跡ニ限ラズ總テ他日參考トナルベキ證據ヲ認メタナラバ臨機ノ處置ヲ以テ之レガ保全ヲ爲サナケレバナナイ

### 第五款 物 證

證據ノ最モ確實ナルモノハ物證デアアル特定ノ事物ニ對スル各人ノ觀察ハ必ズシモ一致シナイ從テ或ル事實ニ付テ各人ノ證言スル所ハ往々ニシテ區々ニ涉リ殆ト何レヲ信ジテ可ナルカニ惑フコトガアル之レニ反シテ物件自體ハ決シテ人ヲ欺カナイ故ニ吾人ハ苟モ直接間接ニ犯罪ト關係ヲ有スル物件ノ存在ヲ認メタ場合ニハ能ク限リ之レヲ領置若クハ押收シテ他日ノ參考ニ供スルコトヲ計ラナケレバナラヌ領置トハ物ヲ占有スル人カラ其ノ人ノ承諾ヲ得テ其ノ物ノ占有ヲ搜查官ニ移サシムルコトヲ云フノデアアル押收トハ其ノ占有者ノ承諾ノ有無ニ拘ハラズ法ノ強制ニ基キ占有ヲ官ニ遷スコトデアアル裁判所ハ常ニ他人ノ所持スル物件ヲ押收スルコトガ出來ルガ搜查官ハ現行犯罪事件ニ付假豫審ヲ爲ス場合ノ外ハ押收權ヲ有シナイノデアアル

吾人ハ犯罪ニ關係アル物件ヲ領置若クハ押收スルニ當ツテハ常ニ其ノ物件ガ領置若クハ押收セラレ、時果シテ何人ノ占有ニ在ツタカトイフコトヲ明カニシナケレバナラナイ之レハ外デハナイガ其ノ犯罪事件ヲ裁判スルニ當リ其ノ物件ノ處分ヲ爲ス上ニ於テ必要ナルノミナラズ其ノ物件ヲ何人ガ占有シテ居ツタカノ一點ガ犯罪ノ成立若クハ不成立ノ岐ル、要點ニナルコトモアルカラデアアル例ヘ



ハ或ル盜難品ガ竊盜犯人ノ手ヨリ押收セラレタ場合ニ於テ若シモ押收ノ當時之  
 レヲ逮捕告發調書等ニ明確ニシテ置カナイト他日犯人ガ其ノ物件ヲ所持シ居リ  
 タルコトヲ否認スルニ至ツタ時分事案ハ不必要ニ錯綜シテ來ラウ更ニ又  
 一例ヲ設ケレバ殺傷事件等ニ於テ血痕ノ附着シタ物件ガ被告人ノ所持品中ヨリ  
 發見セラレタ場合ニハ是レ一ノ重要ナル罪證タルニ相違ナカラウ然ルニ其ノ物  
 件ノ發見セラレタ場所所持人等ガ記録ノ上ニ明カニナツテ居ラヌト後日其ノ點  
 ニ付キ爭ヲ生ジタ場合ニハ最早證據トシテ殆ト其ノ效用ヲ喪失スルニ至ルコト  
 モ無イトハ云ヘナイ夫レデアルカラ吾人ハ證據物ヲ押收若クハ領置シタ時分ニ  
 ハ直チニ書類ノ上ニ明記シテ置クベキデアル例ヘバ證人ノ取調中證人ヨリ押收  
 領置スル場合ナラバ訊問調書又ハ聽取書中ニ押收領置ノ顛末ヲ摘記シ若シ又檢  
 證又ハ實況見分中證據物ヲ獲タノデアツタナラバ檢證調書又ハ實況見分書中ニ  
 其ノ旨ヲ記述シ或ハ又犯人ガ贓物ヲ携帶シテ居タ場合ナラバ逮捕告發調書中ニ  
 其ノ顛末ヲ記シテ押收ノ次第ヲ明カニシテ置カナケレバナラナイ  
 此ノ押收品領置品ノ出處由來ヲ明カニシテ置クコトハ兎角等閑ニナリ勝デア  
 カラ特ニ注意シタノデアアル蓋シ捜査官ハ隨時隨所ニ證據物ヲ蒐集スルモノニシ

テ蒐集者自身ハ之レガ發見ノ日時場所若クハ占有者ノ何人デアツタカヲ知悉シ  
 テ居ルシ又一面ニハ執務繁劇デアアル爲メニ押收領置ノ都度之レガ記述ヲ爲ス勞  
 ヲ省ク傾向ガアルカラデアラウ併シ吾人ハ吾人自身ノ爲メニ證據ヲ集メルノデ  
 ハナイ裁判官ノ心證ヲ助ケンガ爲メニスルノデアアルト云フコトヲ忘レテハナラ  
 ナイ吾人ノミ證據關係ヲ知悉シテモ人ニ會得サセルコトガ出來ナケレバ何程證  
 據ヲ集メテモ少シモ效用ヲ爲サナイデアラウ故ニ捜査官ハ苟モ物證ヲ獲タトキ  
 ハ其ノ自カラ直接ニ之レヲ得タルト他ノ者ノ手ヲ經テ間接ニ之レヲ得タルトニ  
 論ナク又事務ガ如何程繁忙デアツテモ常ニ其ノ物件ノ由テ來ル所ヲ究メ之レヲ  
 記載シテ置カナケレバナラナイ  
 吾人ハ先ニモ一言シタヤウニ證據物件ヲ蒐集スルニ當ツテハ極メテ細密ナル注  
 意ヲ拂ハナケレバナラヌ一見犯罪事件ニ關係ナサ、ウニ見ユル物件ガ實ハ甚ダ  
 重要ナ證據トナルカラデアアル例ヘバ盜犯ガ被害者ノ家宅ニ投棄シタマツチノ燃  
 殘、空箱、煙草ノ吸殻、紙屑若クハ遺留シタル履物手拭、犯罪供用ノ器具等ノ如キ何レ  
 モ些細ナヤウナ物ガ反ツテ最モ保存ノ必要アルモノデアアル嘗テ捜査官ガ強盜犯  
 事件ニ付キ被害者ノ家宅ヲ檢證シタ際其ノ邸内ヲ一巡シタ處ガ畑ノ一隅ニ人糞



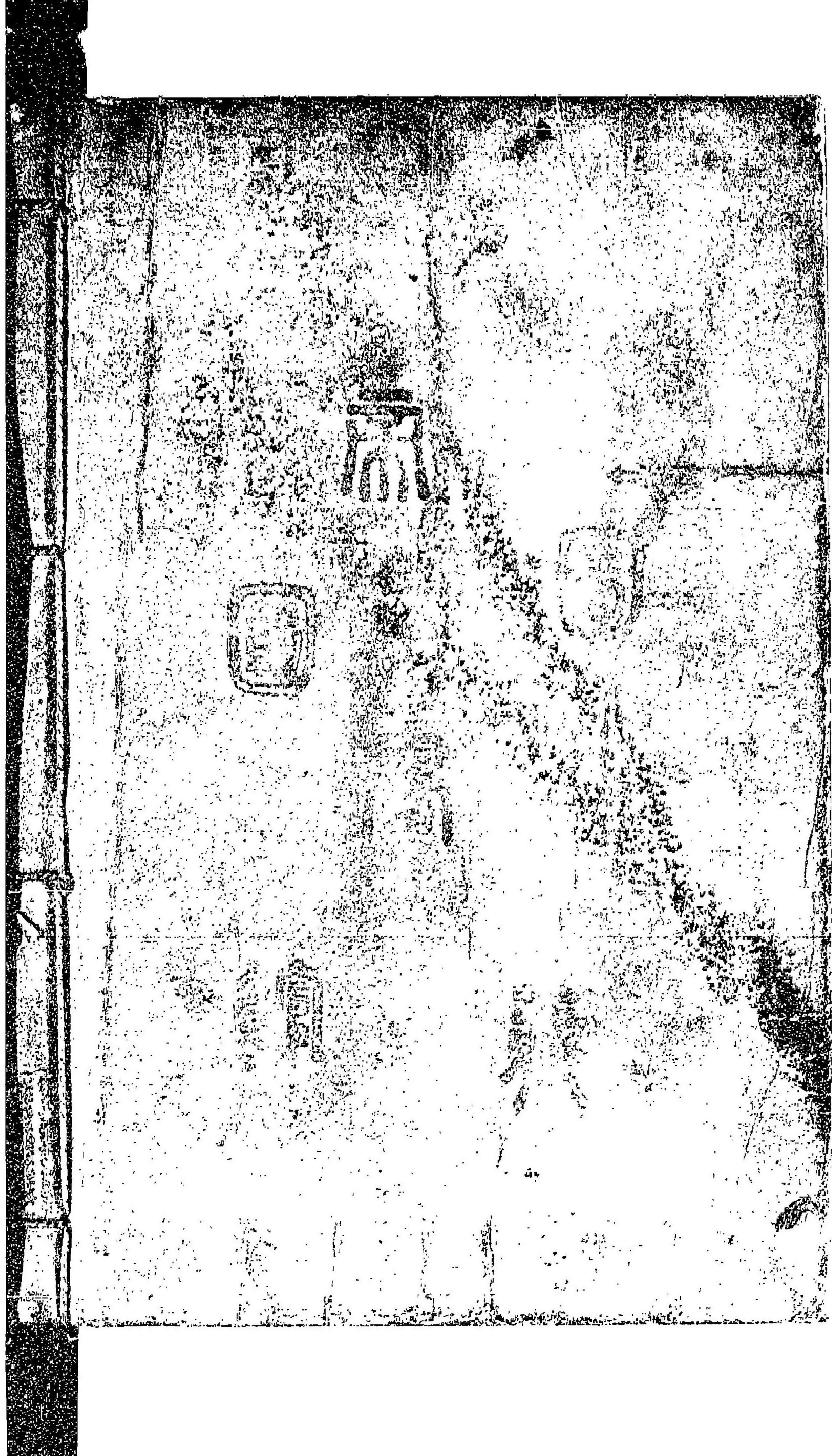
ト之レヲ拭フ爲メニ用キタ紙屑トヲ發見シタ其處デ其ノ紙屑ヲ調べテ見ルト或  
ル娼妓ヨリ贈リタル手紙ノ斷片デアルコトガ分ツタ其處デ之レヲ手掛リトシテ  
捜査シテ見タラ其ノ手紙ヲ書イタ娼妓モ手紙ヲ送ラレタ人モ判明シ結局其ノ者  
ガ犯人デアルコトガ立證サレタ實例ガアル一片ノ紙屑ト雖モ決シテ輕忽ニ看過  
シテハナラナイ

吾人ハ又證據物件ヲ取扱フルニハ必ズ其ノ現状ヲ變ゼシメナイヤウニ意ヲ用キ  
ナケレバナラヌ證據物其ノ物が罪體ヲ爲シテ居ルヤウナ場合ニハ特ニ之レガ滅  
失毀損ヲ防ガナケレバナラヌ例ヘバ糶糠ノ著シク附着セル樹ヲ營業ノ場所ニ置  
クコトハ命令ノ禁ズル所デアル然ルニ此カル違犯罪ノ證據トシテ糶糠ノ多量ニ  
附着シタ樹ヲ領置シタ處ガ之レヲ取扱ニ注意シナカツタ爲メ何時シカ糶糠ガ無  
クナツテ了ツタヤウナコトガアル此カル案件ニ於テ若シモ犯人ガ樹ニ糶糠ノ附  
着セル事實ナシト抗辯シタナラバ如何ニシテ此ノ犯罪ヲ立證スルコトガ出來ヤ  
ウ吾人ハ證據物ノ取扱ニ付テハ細心ニ注意ヲ爲サナケレバナラス

### 犯罪檢察學 畢

キ  
03







53

明治大學 明治三十五年  
犯罪檢察學  
乙骨 半二

犯罪檢察學

036167-000-3

キ-53

犯罪檢察學

乙骨 半二/述

[M45?]

BBP-0834





キ  
53

明治大學 明治 大正五年 度  
法學部 第一學年 講義錄

犯罪檢察學

乙骨 幸二

明治大學